

玉野市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画 第2回検討委員会

令和7年7月4日

【参考】都市計画マスタープランと立地適正化計画について	2
議事①玉野市の都市機能の立地状況	5
議事②市民アンケート結果	14
議事③玉野市の将来像(都市マス)	34
議事④都市づくりの方針(立地適正化)	61

都市計画法

都市計画区域（県）

都市計画区域マスタープラン（県）
（整備、開発及び保全の方針）

即す

玉野市総合計画

即す

即す

区域区分（県）

都市計画マスタープラン
（市町村の都市計画に関する基本的な方針）

即す

市が定める都市計画

土地利用規制

（地域地区）

- 用途地域
- 風致地区
- 特別用途地区
- ……

都市施設

- 道路
- 都市公園・緑地
- 下水道、河川
- ……

市街地開発事業

- 土地区画整理事業
- 市街地再開発事業
- ……

地区計画 等

- ……

都市再生特別措置法

誘導手法

【社会背景】

- 人口減少・少子高齢化の急速な進行
- 市街地の拡散・市街地の低密度化
- 生活サービス機能の維持困難
- インフラ施設の維持管理負担
- 頻発化・激甚化する自然災害
- …

立地適正化計画（H26年創設）
（コンパクトシティ・プラス・ネットワーク
の推進）

立地適正化計画をはじめとする誘導策と
都市計画法に基づく土地利用規制や開発
許可を**一体的に運用**し、これまで以上に
「広義の都市計画制度」による都市づくり
を進めていくことが求められる。

第12版 都市計画運用指針

■都市計画マスタープランと立地適正化計画の関係

	都市計画マスタープラン	立地適正化計画
根 拠 法	都市計画法第18条の2	都市再生特別措置法第81条第1項
役 割	将来の都市構造や都市計画（土地利用、都市施設等）に関する基本方針	計画制度と財政・金融・税制等による支援措置とを結びつける役割
対象区域	都市計画区域または市町村全域	都市計画区域

《都市計画第18条の2》

市町村は、議会の議決を経て定められた当該市町村の建設に関する基本構想並びに都市計画区域の整備、開発及び保全の方針に即し、当該市町村の都市計画に関する基本的な方針（＝都市計画マスタープラン）を定めるものとする。

《都市再生特別措置法第81条第1項》

市町村は、単独で又は共同して、都市計画法第四条第二項に規定する都市計画区域内の区域について、都市再生基本方針に基づき、住宅及び都市機能増進施設（医療施設、福祉施設、商業施設その他の都市の居住者の共同の福祉又は利便のため必要な施設であって、都市機能の増進に著しく寄与するものをいう。以下同じ。）の立地の適正化を図るための計画（＝立地適正化計画）を作成することができる。

項 目	都市計画マスタープラン	立地適正化計画	備考
現況・課題編	■都市づくりに係る課題と論点 （人口、産業/経済、土地利用、都市基盤、交通・移動、防災）		第1回検討委員会
		■都市機能の立地状況	第2回検討委員会 （今回）
	■市民アンケート結果		
基本方針編	■将来都市像 （現計画の検証、上位計画、都市づくりの主要課題、理念、基本目標、将来都市構造）	■都市づくりの方針 （人口密度維持、都市機能の誘導、公共交通の充実）	
計画編	■全体構想 （土地利用、都市施設、都市環境、都市防災、他）	■誘導施設・都市機能誘導区域 ■居住誘導区域 ■防災指針	次回以降
	■地域別構想		
方策編	■実現化方策	■誘導施策 ■評価指標	

議事①玉野市の都市機能の立地状況

中国地方における大規模商業施設及び病院の数と人口との相関を示した図

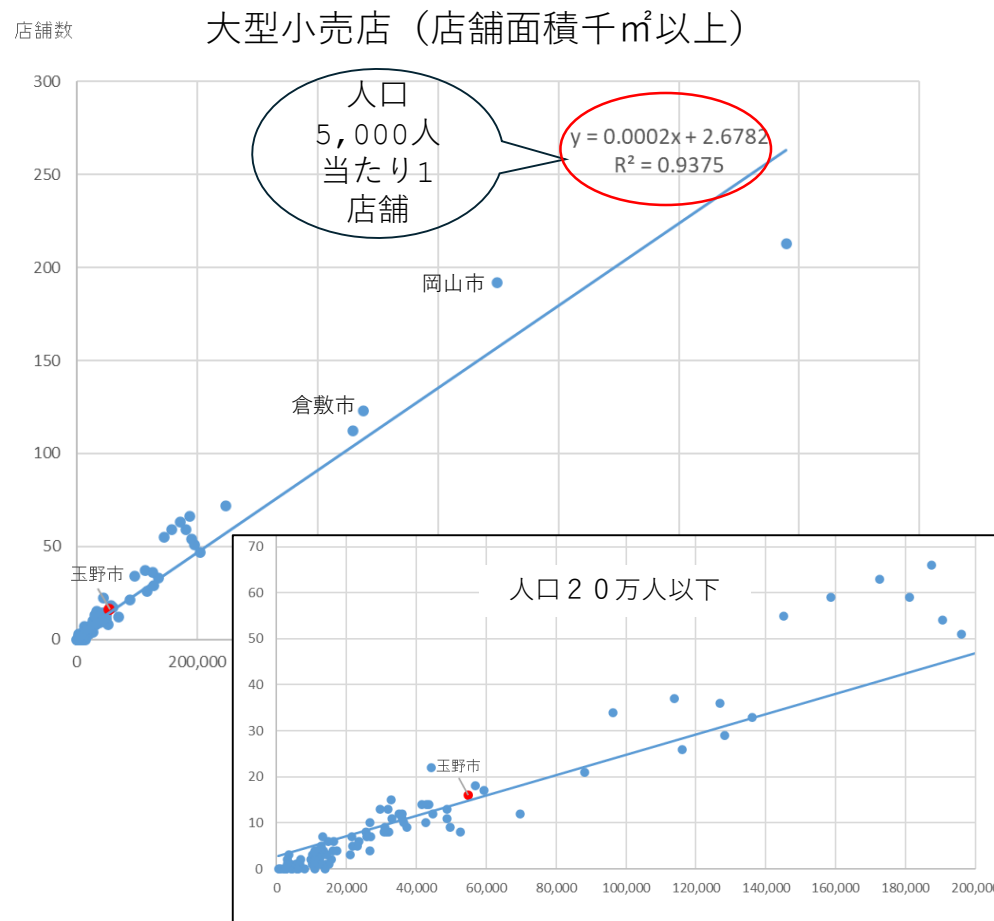
玉野市は、大型小売店、病院・診療所とも中国地方の平均的な施設数（人口と施設数のバランスがとれている状態）

相関係数から算出すると、**大型小売店は人口が5千人減少すると1店舗減少、病院・診療所は人口が千人減少すると1施設減少**が見込まれる

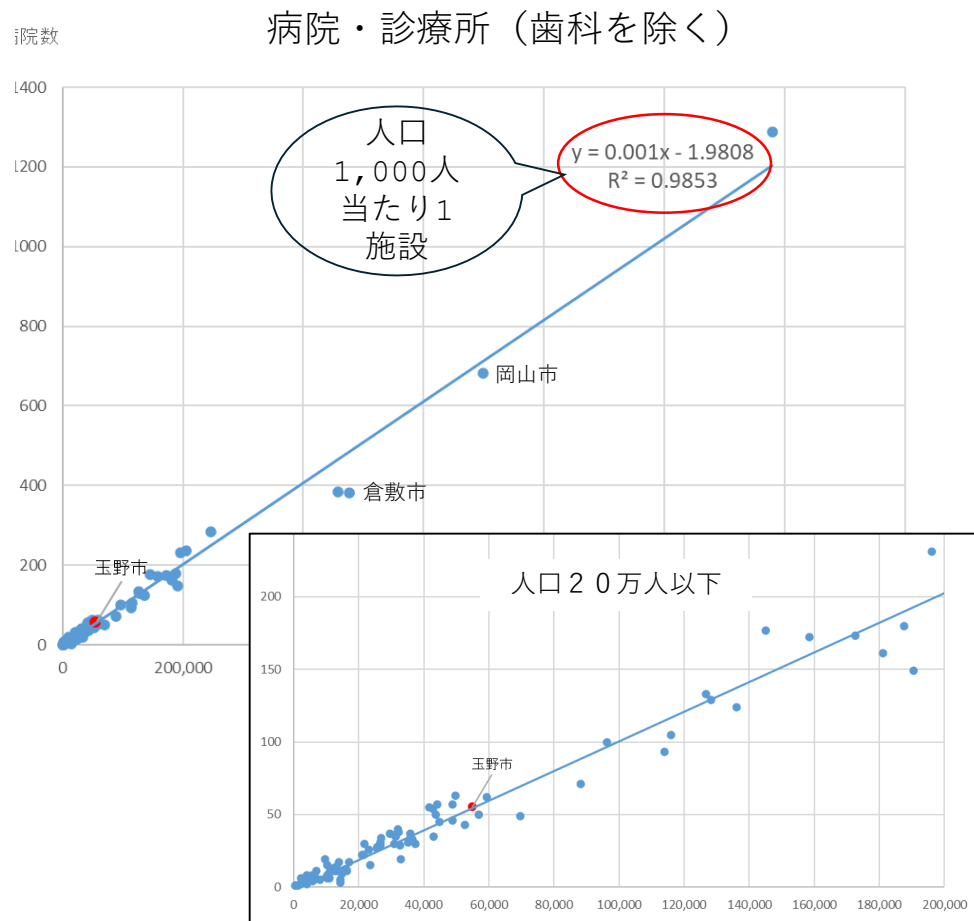
※大型小売店は、2015～2024で348店舗増（1,508→1,856、玉野市14→16）

病院・診療所は360減（7,407→7,047、玉野市63→55）

今後20年（25年）で人口が1.7万（2.1万）減少（P37参）した場合、大型小売店が3～4施設の減少（現16施設）、病院・診療所が17（21）施設の減少（現55施設）が見込まれる



出典：2025全国大型店舗総覧より作成



出典：令和5年医療施設（静態・動態）調査より作成

玉野市の都市機能の立地状況

対象とした都市機能と地域別立地数

着色した施設は利用者が地域に
限定されないなど、主要な施設

施設(大分類)	施設(小分類)	市全域		宇野・築港地域		田井地域		玉・奥玉地域		玉原地域		和田地域		日比・渋川地域		荘内地域		八浜地域		山田地域		東児地域	
		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)	
商業施設	大規模小売店舗(店舗面積千㎡超)	16	16	8	8	2	2	1	1	0	0	1	1	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0
	スーパーマーケット	4	4	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	コンビニ	19	16	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	5	3	3	2	0	0	1	1
	その他の小売店舗	10	9	2	2	1	1	3	3	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0
	(小計)	49	45	17	17	5	5	5	5	2	2	2	2	3	3	10	8	3	2	0	0	2	1
医療施設	病院(救急告示)	3	3	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病院	4	4	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	診療所	35	30	9	9	3	3	3	3	0	0	3	3	1	1	12	10	2	1	0	0	2	0
	歯科診療所	30	28	10	10	2	2	2	2	2	2	3	3	1	1	6	6	2	1	0	0	2	1
	調剤薬局	36	34	13	13	6	6	2	2	1	1	3	3	2	2	7	6	1	1	0	0	1	0
	(小計)	108	99	36	36	13	13	7	7	3	3	9	9	5	5	25	22	5	3	0	0	5	1
金融施設	銀行	6	6	3	3	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	信用金庫	5	4	3	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	JABANK	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
	郵便局	14	11	3	3	1	1	2	2	0	0	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	0
	(小計)	27	23	9	9	1	1	5	5	0	0	2	2	1	1	4	2	1	1	1	1	3	1
教育施設	専修学校	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高等学校	4	3	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	中学校	7	4	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0
	小学校	14	10	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	2	1	2	1	2	1
	(小計)	26	18	5	5	1	1	3	3	1	1	3	3	1	1	2	0	4	2	3	1	3	1
介護・福祉施設	総合保健福祉センター	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通所系施設	41	34	5	5	4	4	1	1	0	0	3	3	4	4	13	11	6	3	2	1	3	2
	入所系施設	36	23	7	7	2	2	1	1	5	3	1	1	2	2	8	3	3	1	3	2	4	1
	サービス付き高齢者向け住宅	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	訪問看護	4	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0
	相談・行政窓口	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(小計)	84	64	13	13	7	7	3	3	5	3	4	4	6	6	25	18	9	4	5	3	7	3
子育て施設	地域子育て支援拠点	4	3	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	幼稚園	6	4	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0
	保育所	6	4	2	2	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	認定こども園	5	4	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	0	0
	認可外保育施設	3	3	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	(小計)	24	18	4	4	3	3	2	2	3	3	2	2	2	1	4	0	3	2	1	1	0	0
行政施設	市役所	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市民サービスセンター・市民サービスコナ…連絡所	10	9	0	0	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1
	(小計)	11	10	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1
文化施設	図書館	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	博物館・美術館	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体育施設	2	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コミュニティハウス	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0
	公民館	13	11	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	2	2	1	1	2	1
	(小計)	21	16	3	3	1	1	2	2	2	1	1	1	5	3	2	1	2	2	1	1	2	1

主要な施設

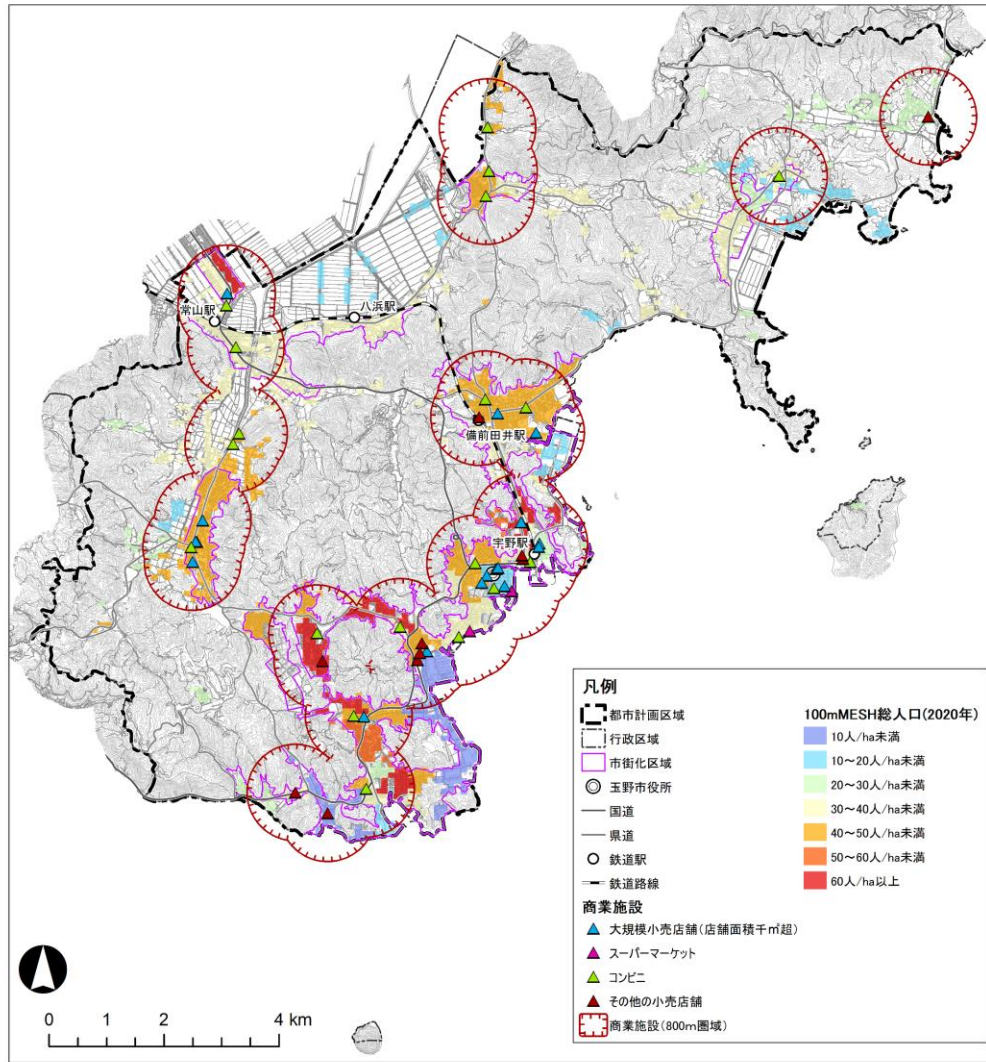


図 商業施設の徒歩圏と100mメッシュ人口

【パターン1】大型店舗、スーパー、コンビニ、その他の食料品店

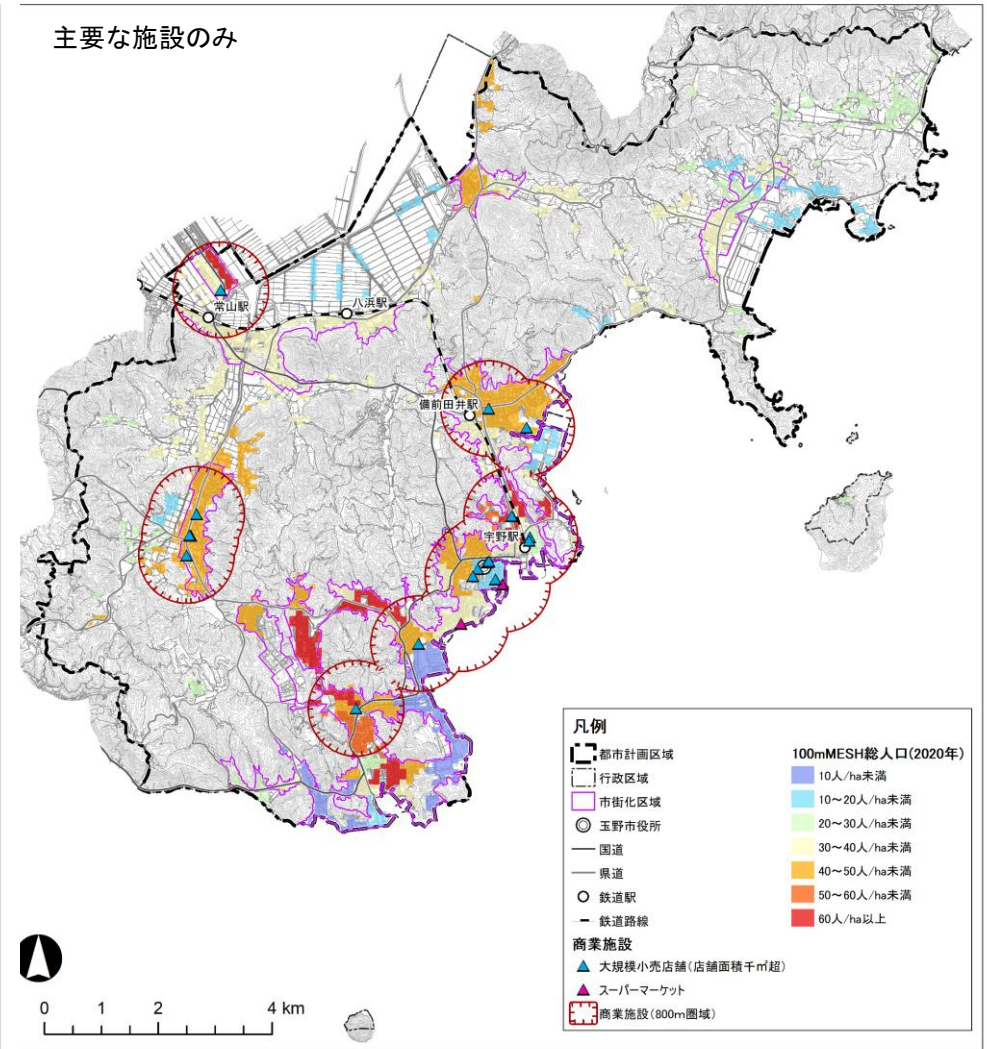


図 商業施設の徒歩圏と100mメッシュ人口

【パターン2】大型店舗、スーパー

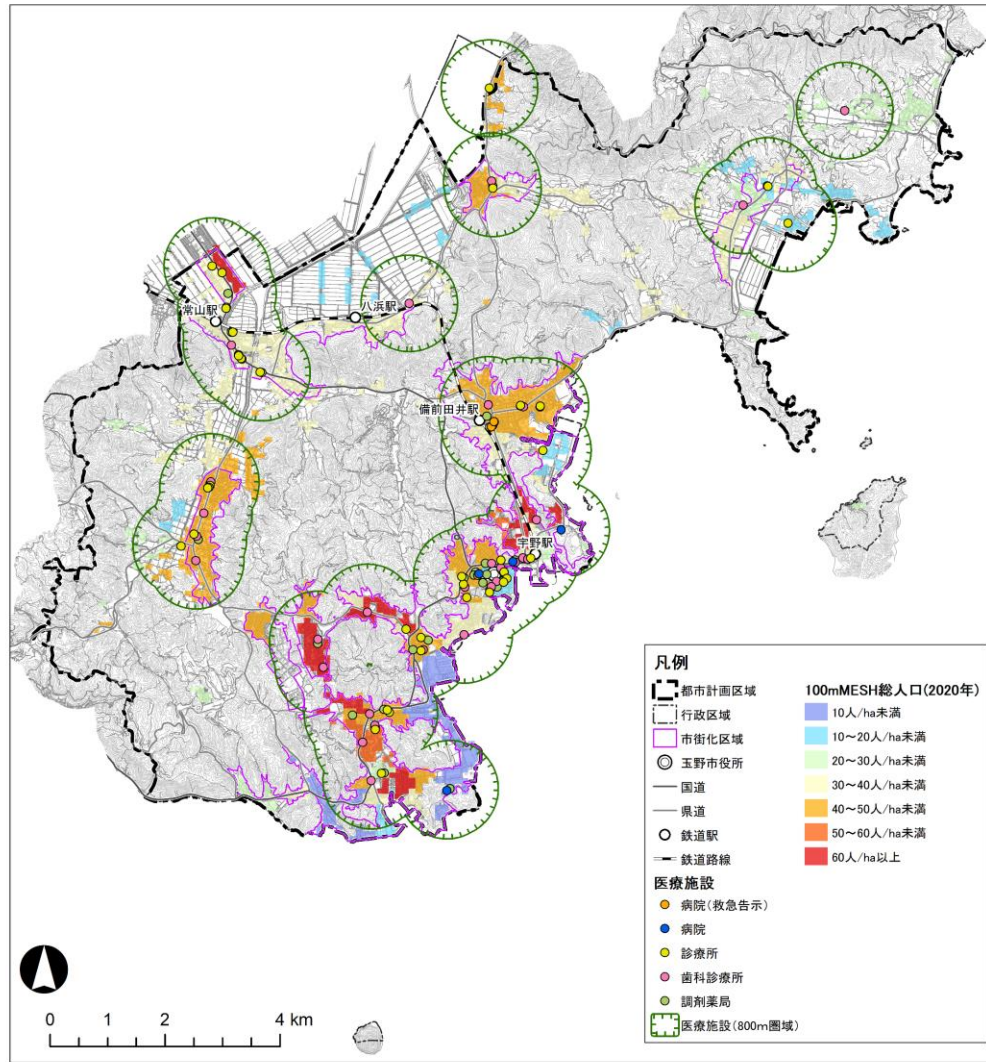


図 医療施設の徒歩圏と100mメッシュ人口

【パターン1】病院、診療所、歯科診療所、調剤薬局

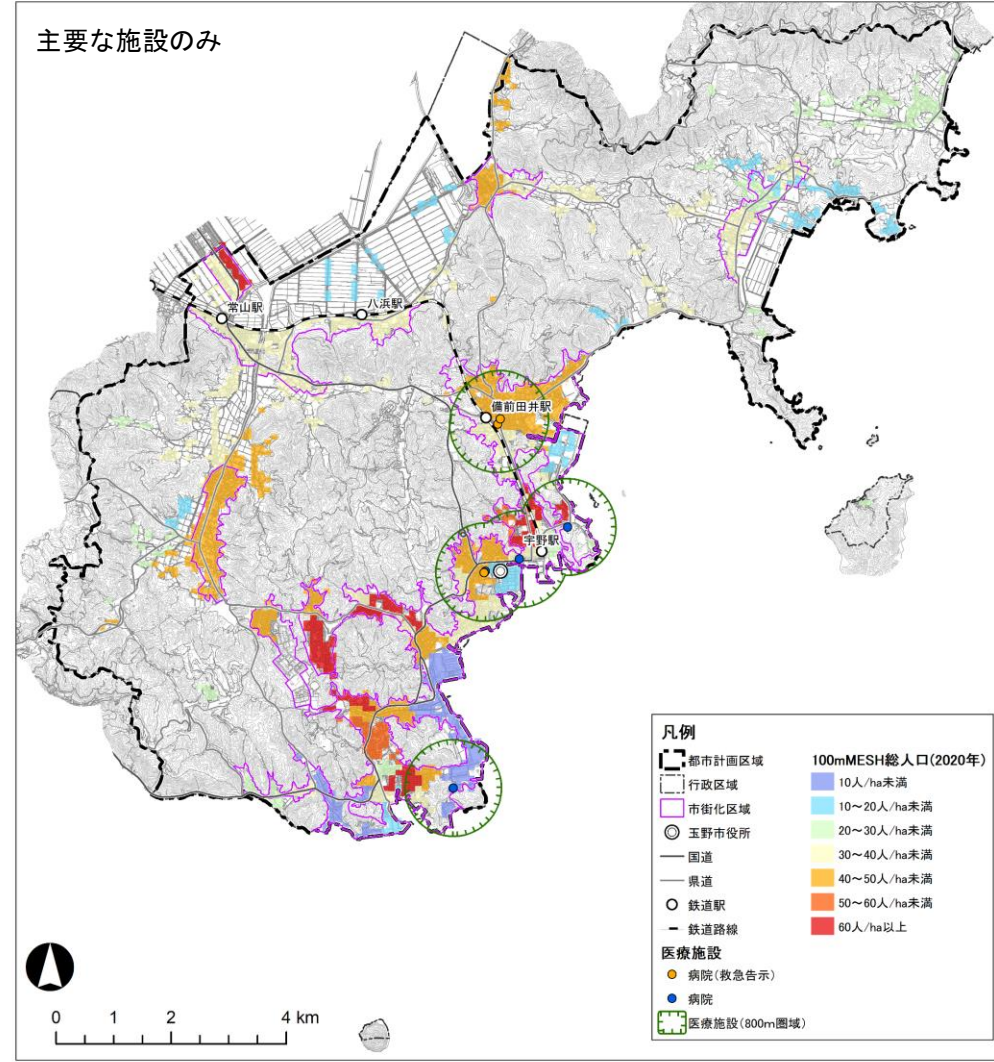


図 医療施設の徒歩圏と100mメッシュ人口

【パターン2】病院

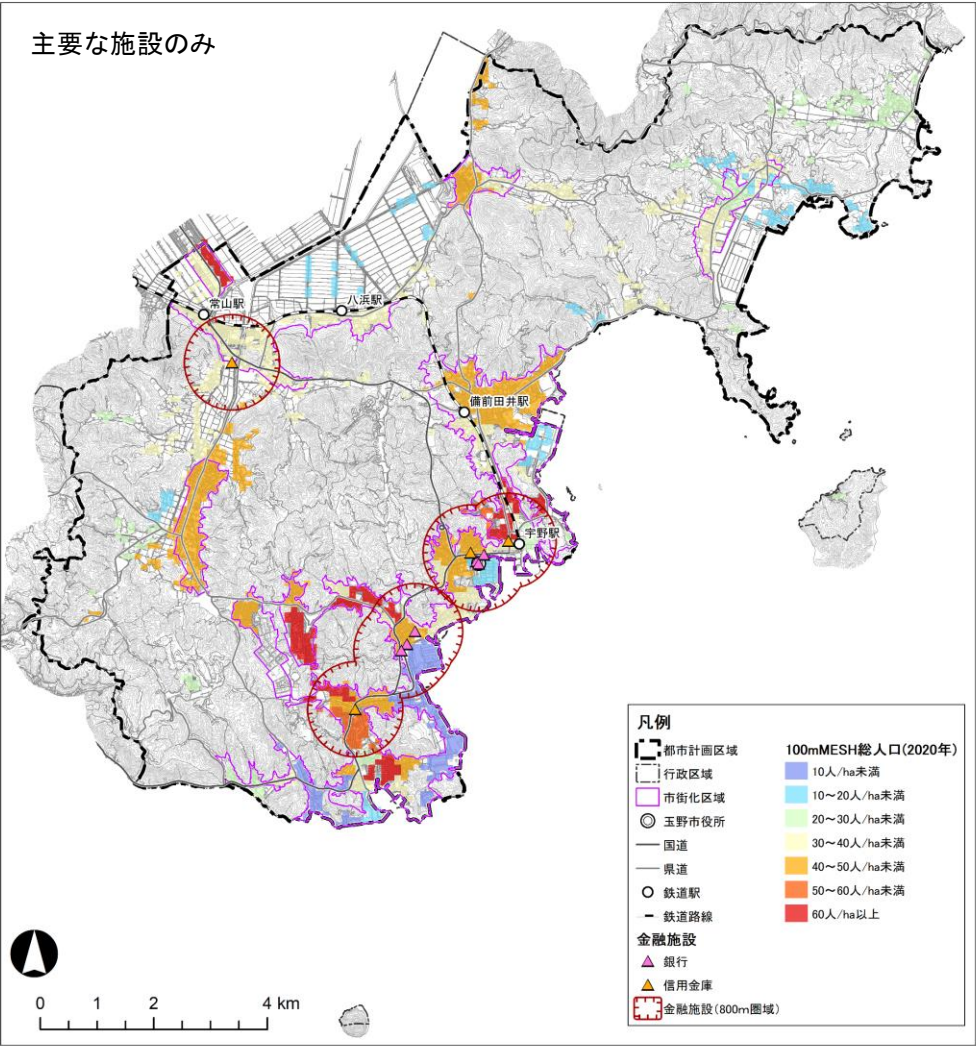
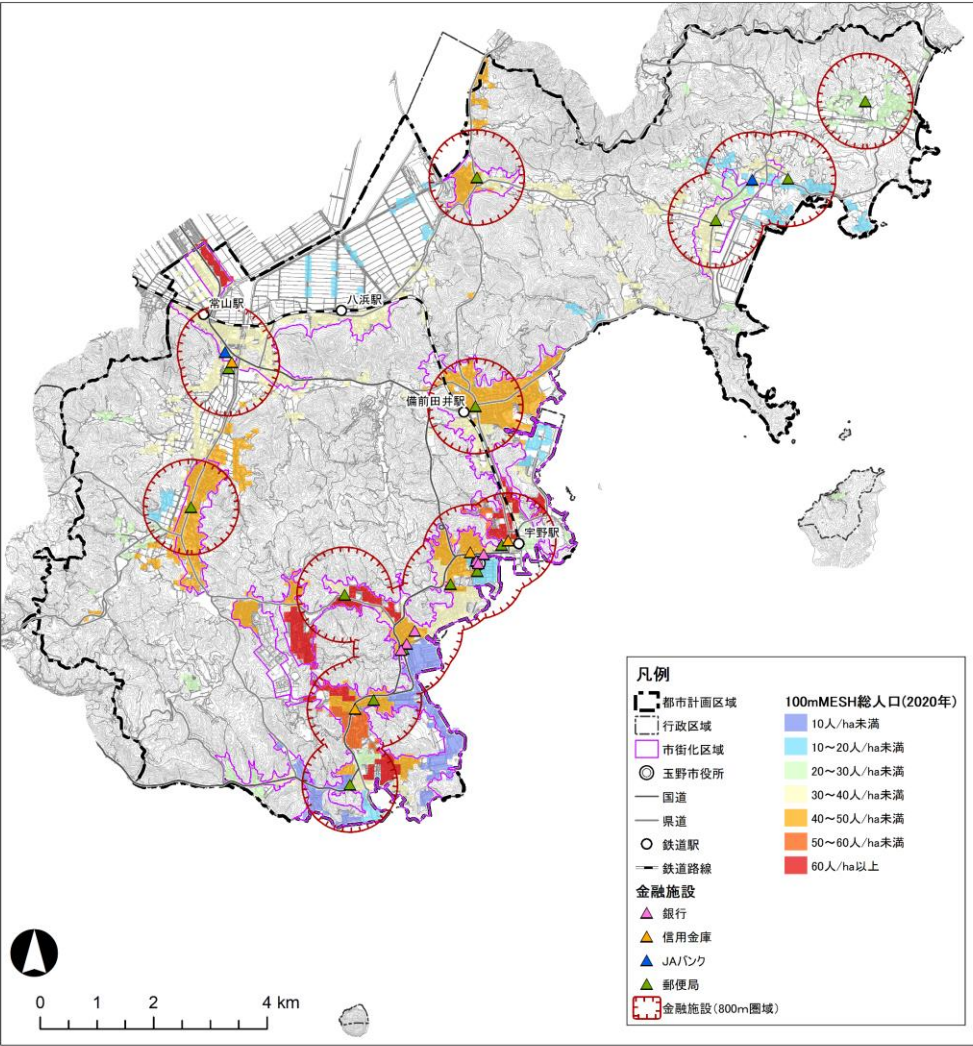


図 金融施設の徒歩圏と100mメッシュ人口

【パターン1】銀行、信用金庫、JAバンク、郵便局

図 金融施設の徒歩圏と100mメッシュ人口

【パターン2】銀行、信用金庫

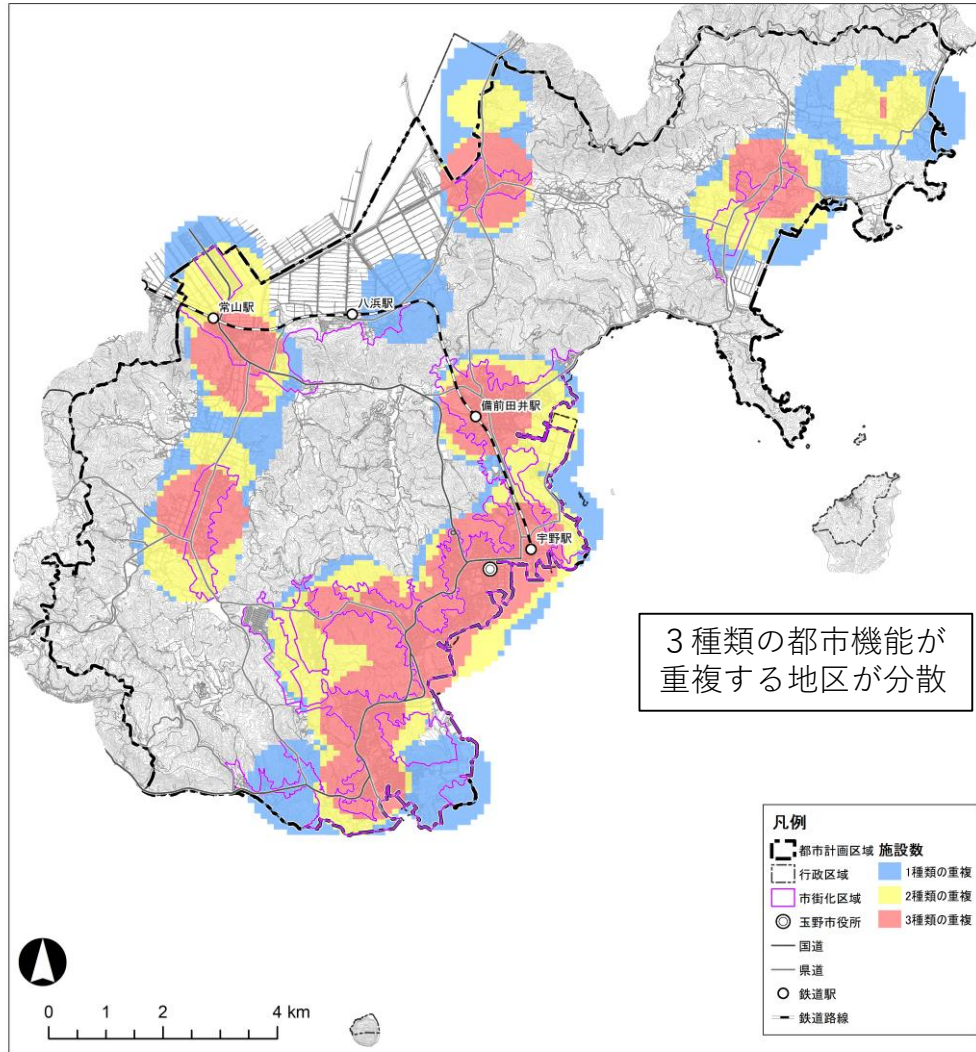


図 都市機能施設の拠点性

【パターン1】商業、医療、金融の3機能

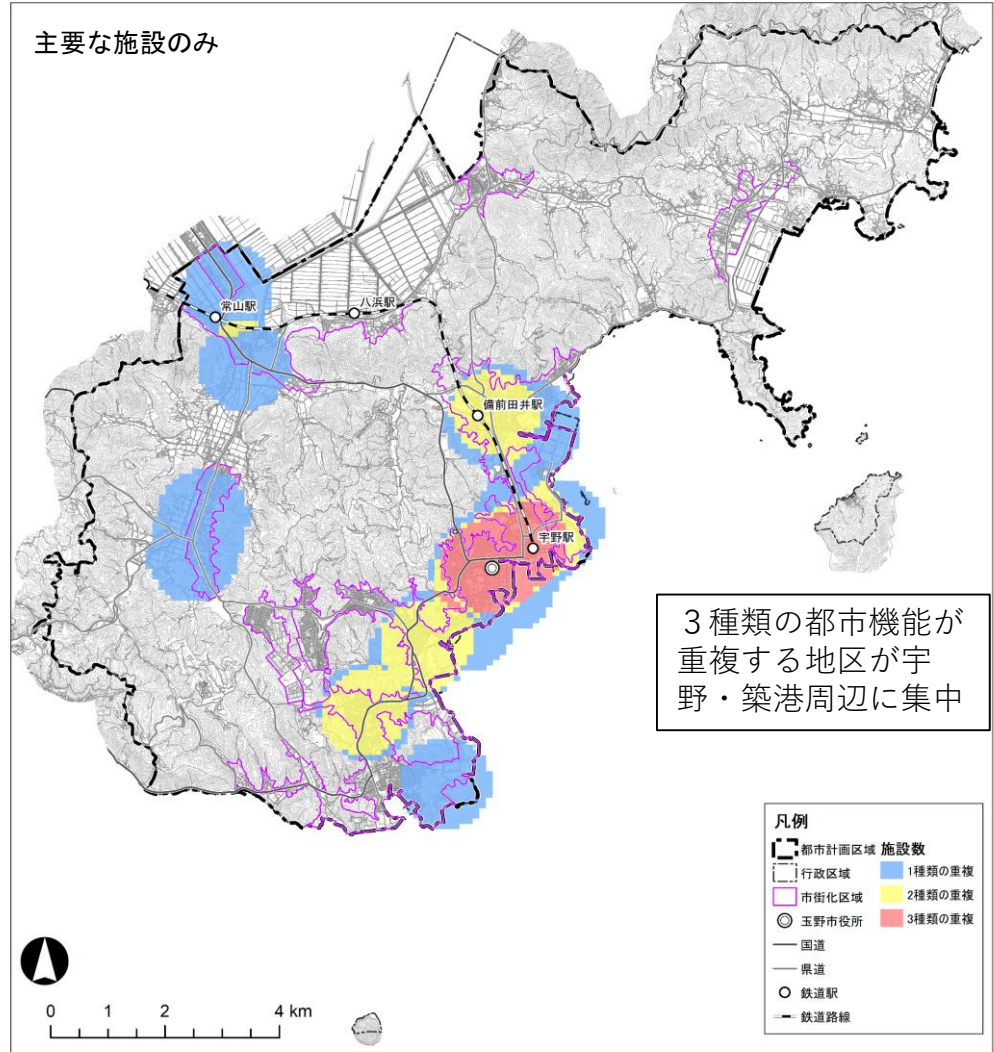
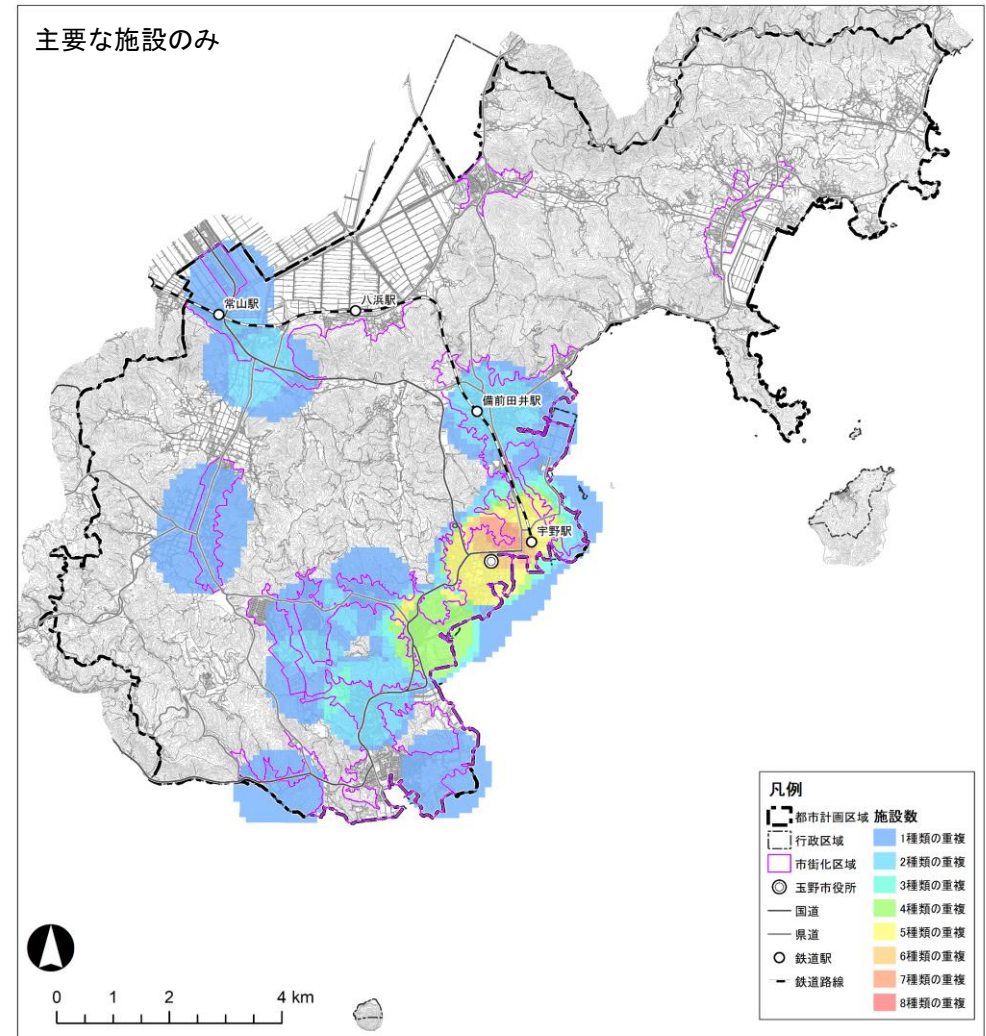
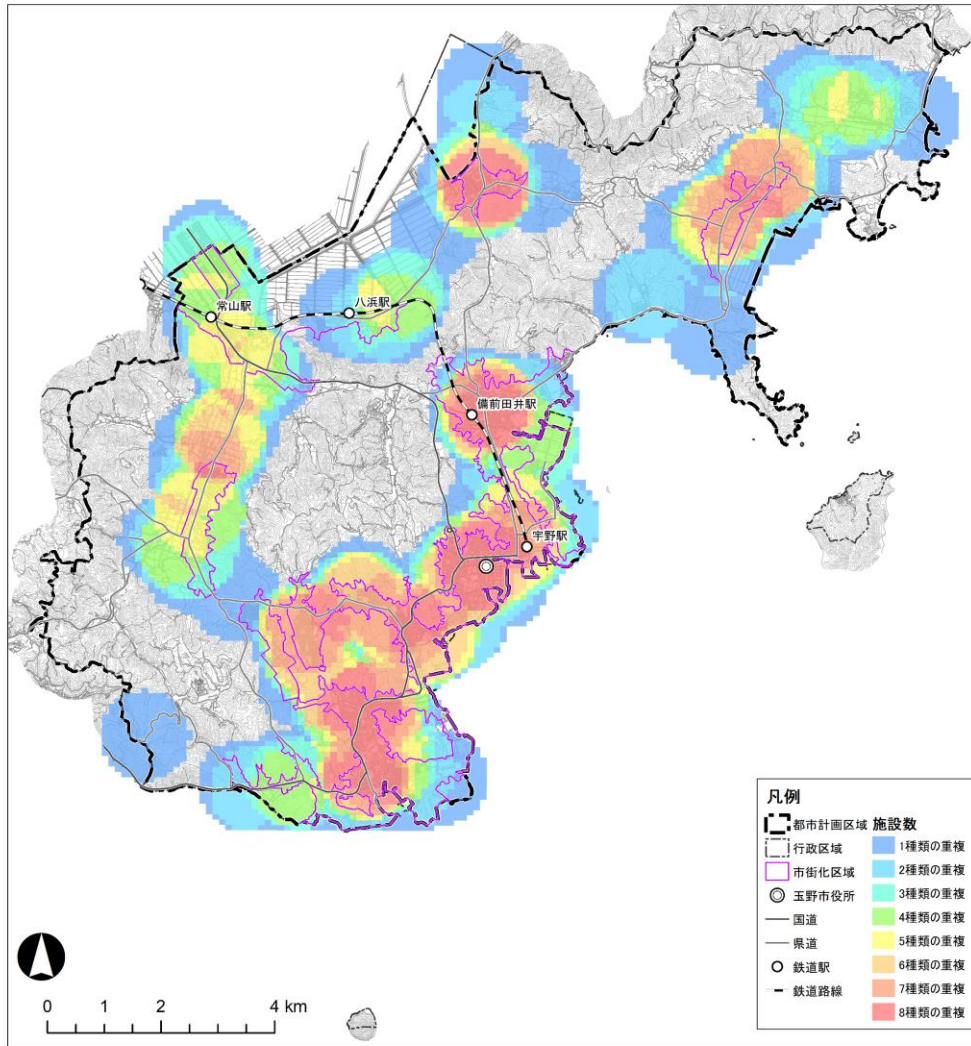


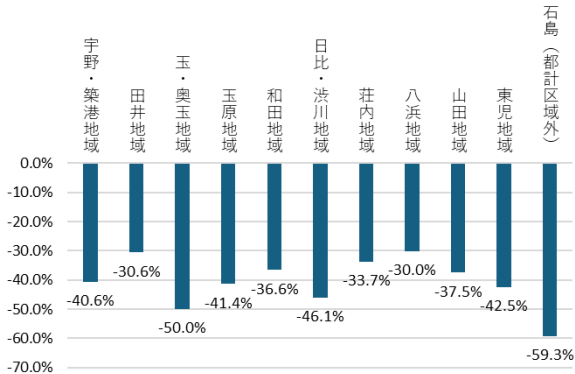
図 都市機能施設の拠点性

【パターン2】商業、医療、金融の3機能のうち主要な施設のみ
(大型店舗・スーパー、病院、銀行・信用金庫)



玉野市の都市機能の立地状況

地域別・機能別人口カバー率



地域別人口減少率 (2020→2045)

小規模施設を含むパターン1は、各地域で一定の人口をカバー(サービスを提供)しているが、主要な機能のみのパターン2では、宇野・築港以外の圏域は機能が限定的。一方、公共交通は各地域をカバーしている。(表最下段)

人口減少下で市民生活を維持するために、どのような機能をどこで維持するか(できるか)を検討する必要がある。

主要な機能のみ

項目	内容	単位	宇野・築港地域	田井地域	玉・奥玉地域	玉原地域	和田地域	日比・渋川地域	荘内地域	八浜地域	山田地域	東児地域
医療施設 【パターン1】	医療施設	件	36	13	8	3	9	5	25	5	0	5
	現在人口カバー率	%	99.7%	95.1%	99.6%	75.1%	100.0%	79.9%	83.7%	67.2%	36.1%	63.9%
	将来人口カバー率	%	99.8%	95.0%	99.7%	74.1%	100.0%	82.8%	83.6%	67.5%	35.3%	64.5%
教育施設 【パターン1】	教育施設	件	5	1	3	1	3	1	2	4	3	3
	現在人口カバー率	%	97.9%	63.4%	93.6%	77.5%	99.0%	72.0%	23.7%	56.2%	76.2%	68.6%
	将来人口カバー率	%	98.2%	62.2%	94.0%	76.9%	99.1%	75.5%	24.2%	55.8%	77.1%	68.5%
金融施設 【パターン1】	金融施設	件	9	1	5	0	2	1	4	1	1	3
	現在人口カバー率	%	90.0%	63.1%	99.3%	4.3%	94.6%	57.8%	42.5%	29.8%	44.9%	76.7%
	将来人口カバー率	%	90.1%	62.5%	99.4%	4.0%	95.1%	61.4%	42.3%	29.7%	43.8%	79.1%
行政施設 【パターン1】	行政施設	件	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1
	現在人口カバー率	%	58.3%	66.8%	98.6%	78.8%	93.3%	65.3%	16.8%	29.8%	48.6%	43.2%
	将来人口カバー率	%	58.3%	66.4%	98.9%	77.8%	93.8%	69.5%	17.5%	29.7%	47.4%	44.6%
介護・福祉施設 【パターン1】	介護・福祉施設	件	13	7	4	5	4	6	25	9	5	7
	現在人口カバー率	%	99.3%	86.2%	99.4%	93.5%	100.0%	92.5%	86.9%	66.2%	88.1%	59.2%
	将来人口カバー率	%	99.3%	85.9%	99.6%	93.9%	100.0%	93.0%	87.0%	66.1%	89.3%	58.3%
子育て施設 【パターン1】	子育て施設	件	4	3	3	3	2	2	4	3	1	0
	現在人口カバー率	%	95.2%	80.1%	48.7%	79.6%	100.0%	85.2%	63.8%	60.4%	34.9%	23.0%
	将来人口カバー率	%	98.2%	62.2%	94.0%	76.9%	99.1%	75.5%	24.2%	55.8%	77.1%	68.5%
商業施設 【パターン1】	商業施設	件	17	5	5	2	2	3	10	3	0	2
	現在人口カバー率	%	99.7%	92.4%	93.3%	77.3%	100.0%	77.6%	79.6%	40.9%	0.0%	57.5%
	将来人口カバー率	%	99.8%	92.4%	93.4%	76.2%	100.0%	78.7%	79.4%	41.3%	0.0%	58.9%
文化施設 【パターン1】	文化施設	件	4	1	3	3	1	5	3	2	1	2
	現在人口カバー率	%	86.2%	66.3%	99.1%	80.7%	100.0%	98.8%	30.1%	51.5%	48.6%	59.7%
	将来人口カバー率	%	86.4%	66.0%	99.3%	79.8%	100.0%	99.0%	31.0%	51.1%	47.4%	61.6%
医療施設 【パターン2】	医療施設	件	4	2	1	0	0	1	0	0	0	0
	現在人口カバー率	%	88.8%	64.0%	49.0%	0.0%	0.0%	32.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	将来人口カバー率	%	88.2%	62.1%	49.5%	0.0%	0.0%	31.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育施設 【パターン2】	教育施設	件	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	現在人口カバー率	%	43.4%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	将来人口カバー率	%	44.3%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
金融施設 【パターン2】	金融施設	件	6	0	3	0	1	0	1	0	0	0
	現在人口カバー率	%	86.6%	0.0%	51.7%	0.0%	93.4%	0.6%	17.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	将来人口カバー率	%	86.6%	0.0%	52.3%	0.0%	94.0%	0.6%	18.0%	0.0%	0.0%	0.0%
行政施設 【パターン2】	行政施設	件	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	現在人口カバー率	%	56.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	将来人口カバー率	%	56.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
介護・福祉施設 【パターン2】	介護・福祉施設	件	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	現在人口カバー率	%	0.0%	0.0%	61.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	将来人口カバー率	%	0.0%	0.0%	61.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子育て施設 【パターン2】	子育て施設	件	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0
	現在人口カバー率	%	59.6%	0.0%	48.2%	79.6%	0.0%	0.0%	15.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	将来人口カバー率	%	61.5%	0.0%	48.5%	78.6%	0.0%	0.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%
商業施設 【パターン2】	商業施設	件	11	2	1	0	1	0	5	0	0	0
	現在人口カバー率	%	99.1%	87.3%	48.8%	0.0%	94.3%	0.0%	52.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	将来人口カバー率	%	99.2%	87.3%	49.3%	0.0%	94.9%	0.0%	51.2%	0.0%	0.0%	0.0%
文化施設 【パターン2】	文化施設	件	2	0	2	2	0	1	1	0	0	0
	現在人口カバー率	%	63.0%	0.0%	98.9%	42.9%	17.9%	16.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	将来人口カバー率	%	63.0%	0.0%	99.1%	42.7%	20.2%	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公共交通	現在人口カバー率	%	82.6%	96.2%	96.8%	92.3%	97.8%	89.6%	67.6%	68.3%	68.8%	67.2%
	将来人口カバー率	%	82.8%	96.2%	97.0%	92.7%	98.3%	90.2%	67.8%	68.2%	70.4%	66.7%

現在人口 (2020) 、将来人口 (2045年)

議事②市民アンケート結果

■ 市民アンケート実施概要

【目的】 玉野市都市計画マスタープランの改定及び玉野市立地適正化計画策定の基礎資料とするため、市民の生活実態並びに意向を把握する。

【対象者】 18歳以上の市民、2,000人（無作為抽出） ※ 1 1 / 8 発送

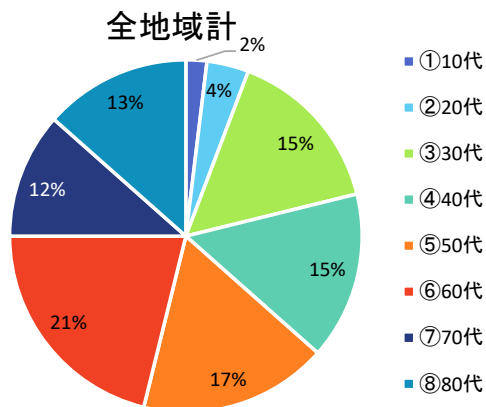
【回収数】 郵送による回収：574 ネットによる回答：294 計868（回収率43.4%）

【設問項目と目的】

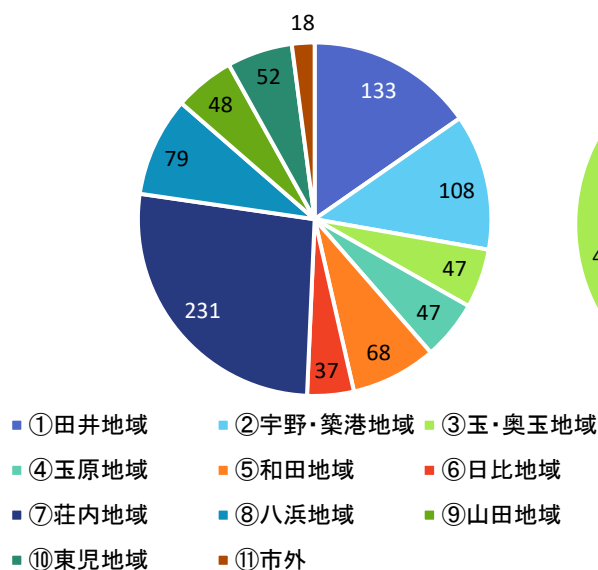
分 野	設問項目	目 的
属性の把握（あなた自身とご家族のこと）	問 1 年齢 問 2 居住地域 問 3-1 同居人数 問 3-2 同居人の年齢層 問 4 住宅の種類	クロス集計（年齢別、地域別、その他必要に応じて集計・分析）のためのデータ取得 ⇒同居の状況別に意向を把握し、施策等に反映（都市マス、立地双方）※特に30～50代子育て・介護担い手世代に着目予定 ⇒持ち家以外の人の意向を把握し、居住誘導区域・誘導施策（立地適正化計画）の検討材料として整理
お住まいの地域の環境について	問 5-1 居住意向 問 5-2 住み替える場合の場所 問 6 住む場所を選ぶ際に重視する点	居住誘導区域、居住誘導施策（立地適正化計画）等の検討材料として整理
日常生活について	問 7 日常生活で訪れる地域とその頻度 問 8 日常生活の徒歩圏について 問 9 中心拠点に将来にわたって必要な施設	⇒地域別に分析を行い、将来都市構造（拠点の位置づけ）（都市計画マスタープラン）、誘導施設・都市機能誘導区域（立地適正化計画）の検討材料として整理 ※パーソントリップ調査と併用して分析予定 ⇒居住及び都市機能誘導区域（立地適正化計画）検討の目安とする圏域を把握 ⇒誘導施設（立地適正化計画）の検討材料として整理
玉野市の現状（満足度・重要度）について	問 10 「生活圏の利便性」「生活基盤・産業基盤」「環境・景観」の現状の満足度と今後の重要度	都市づくりに係る施策、地域別の課題・施策（都市計画マスタープラン）の検討材料として整理 ※誘導施設（立地適正化計画）設定の検討材料としても活用
玉野市の将来について	問 11 人口減少・少子高齢化の進行により日常生活に影響すること 問 12 「コンパクトなまちづくり」で必要と考える取組み 問 13 市街地におけるハザードエリアでのまちづくりについて	⇒都市づくりの方向性（都市計画マスタープラン）、誘導施策（立地適正化計画）の検討材料として整理 ⇒防災に関する方針（都市計画マスタープラン）、居住誘導区域の設定及び防災指針（立地適正化計画）の検討材料として整理
地域の将来について	問 14 居住地域の将来に望むこと 問 15 居住地域のまちづくりへの参加意向	地域別構想（都市計画マスタープラン）の検討材料として整理
自由意見・要望	問 16 玉野市のまちづくりに対する意見・要望	参考意見・要望の把握（必要に応じて都市計画マスタープラン、立地適正化計画に反映）

■ 調査結果（単純集計）

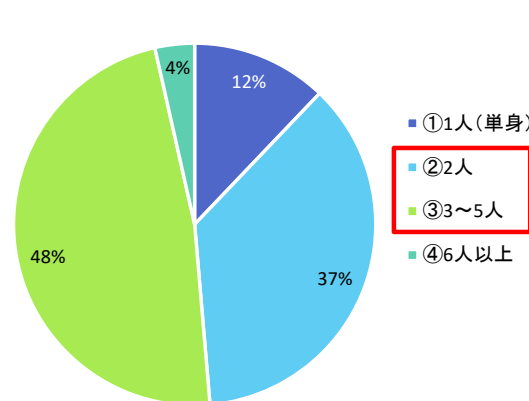
【問 1】 年齢



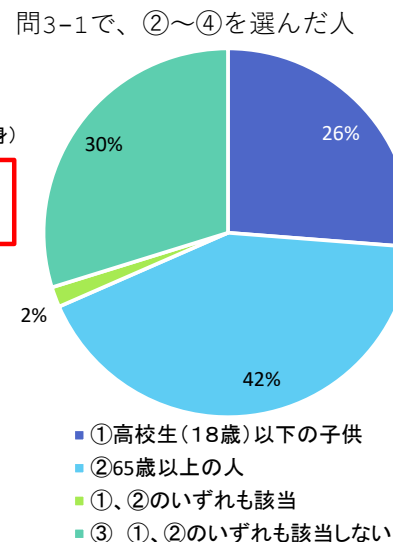
【問 2】 居住地



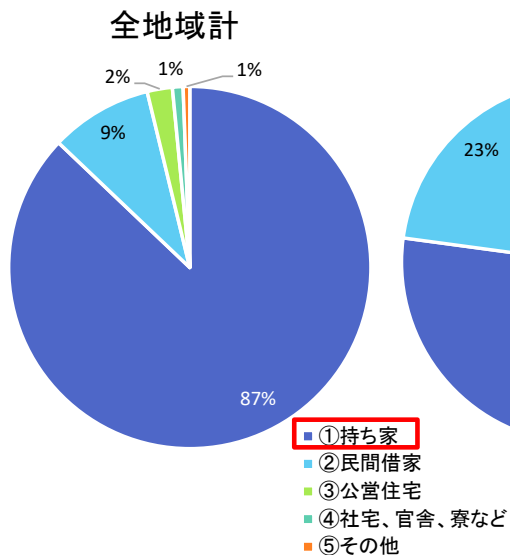
【問 3 - 1】 同居家族数



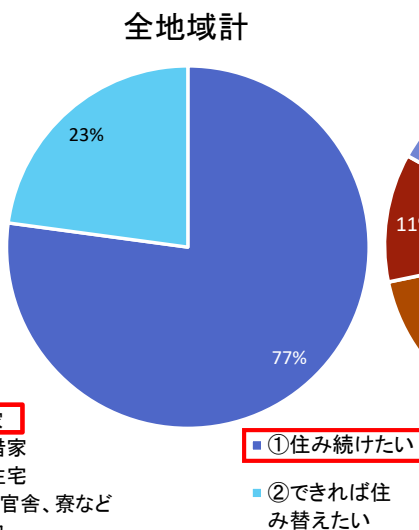
【問 3 - 2】 同居家族の年齢層



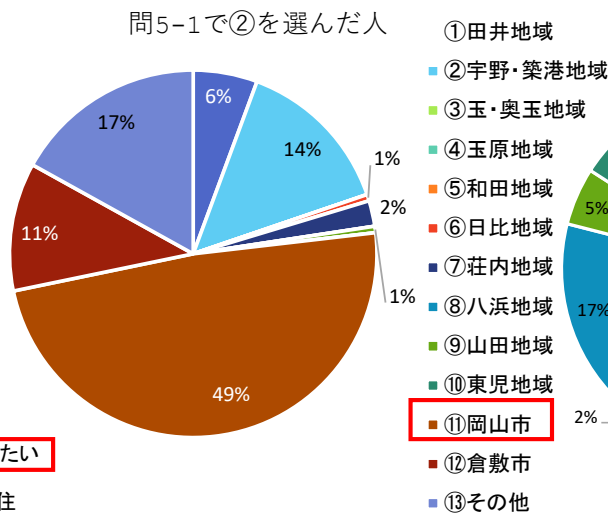
【問 4】 住宅



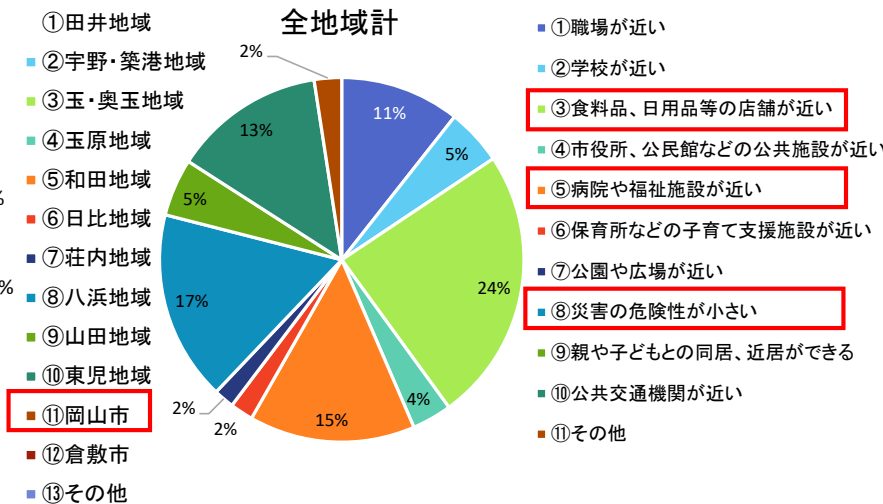
【問 5 - 1】 永住意向



【問 5 - 2】 住み替えたい地域



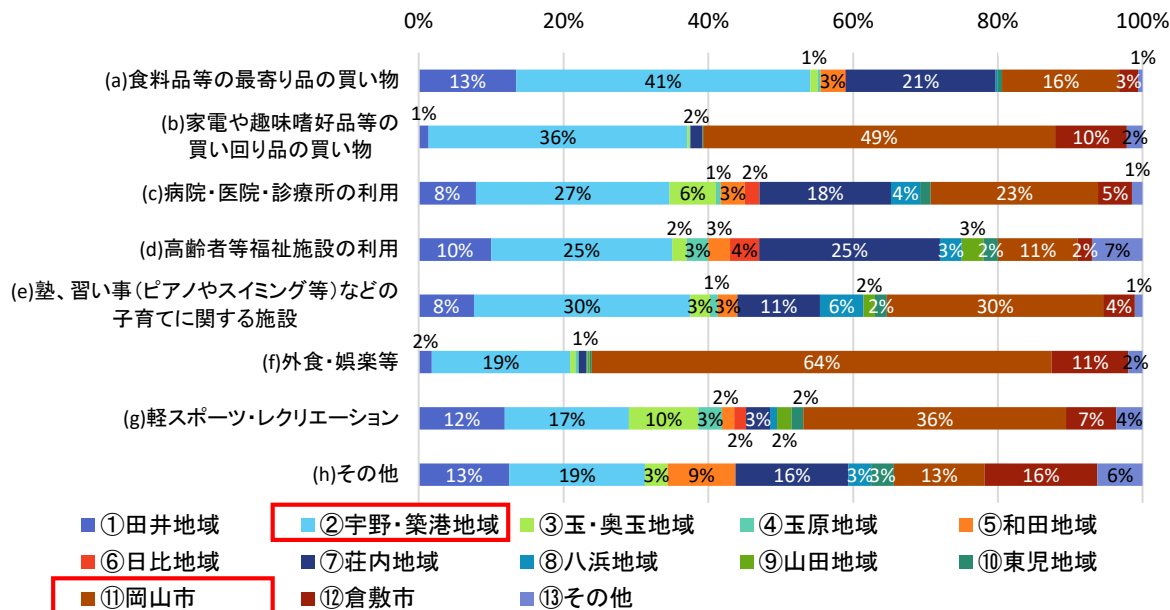
【問 6】 居住地選択で重視すること



■ 調査結果（単純集計）

【問 7 - 1】 日常生活において

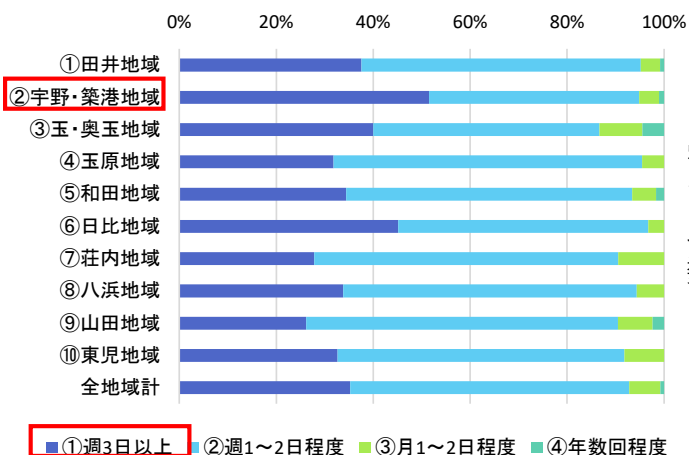
① 訪れる頻度が最も高い地域



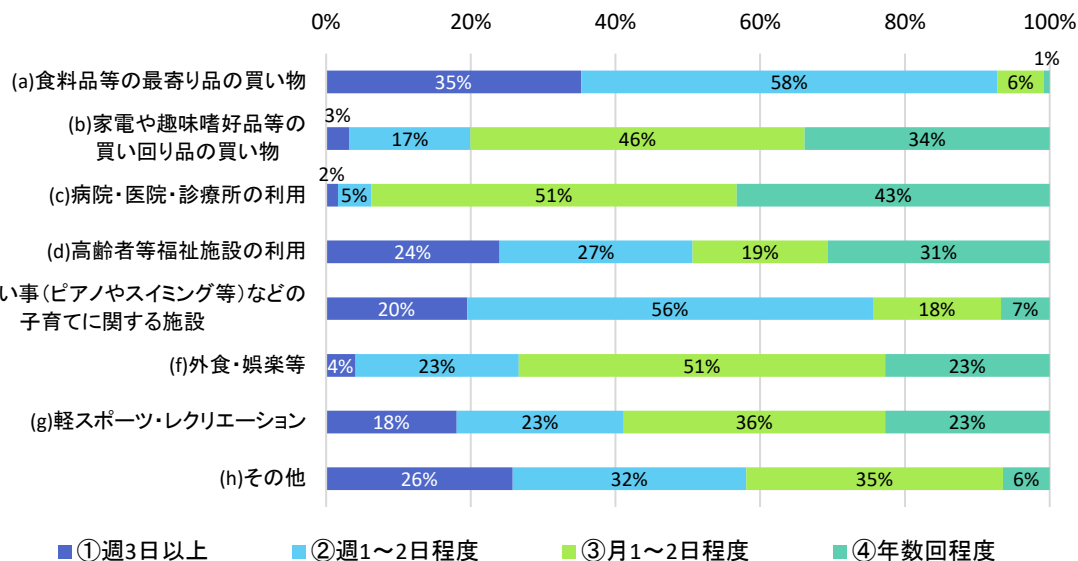
【問 7 - 2】 日常生活において

② 目的へ行く頻度

食料品等最寄り品の買い物頻度（地域別）

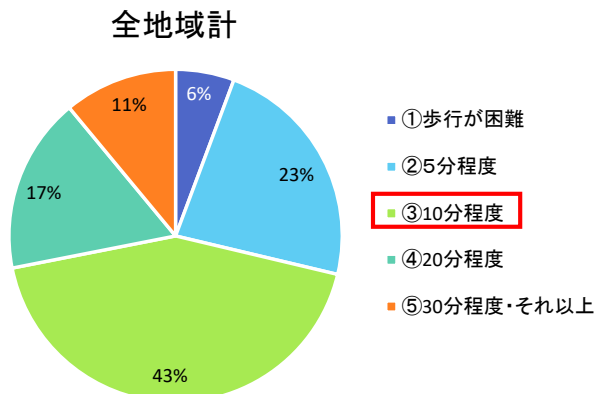


宇野・築港
では週3日
以上が約半
数

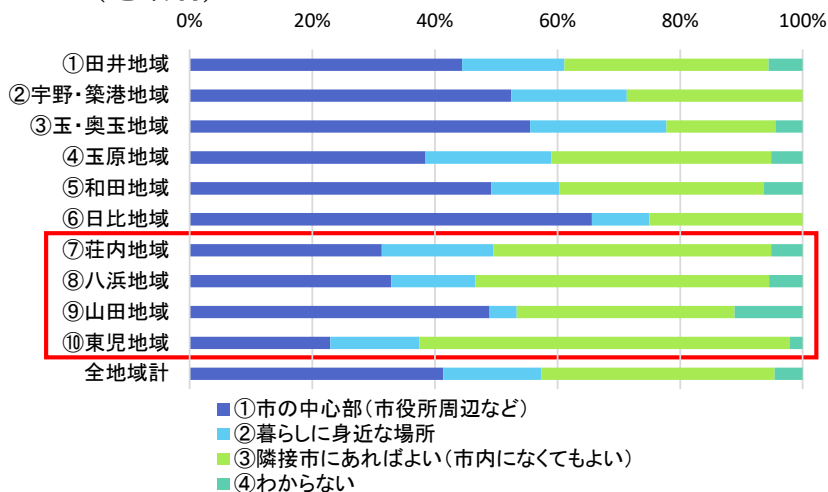


■ 調査結果（単純集計）

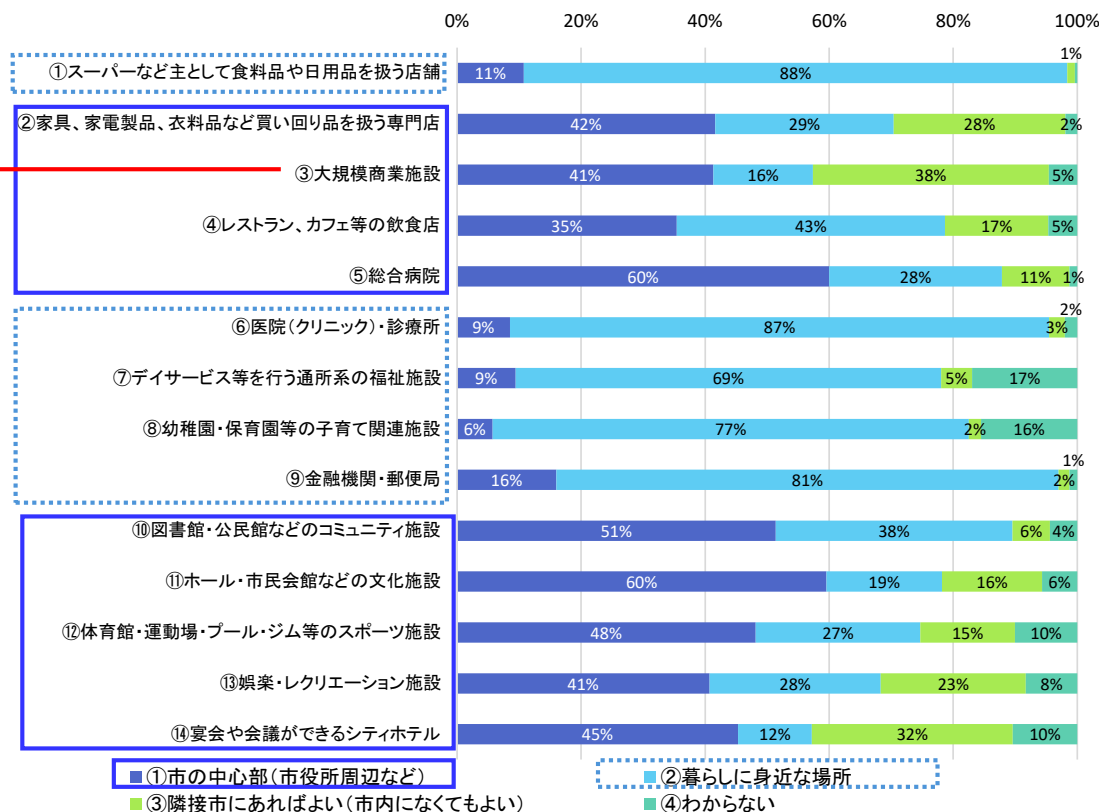
【問8】スーパー等に徒歩で行く限界時間



【問9】③大規模商業施設の望ましい立地場所（地域別）



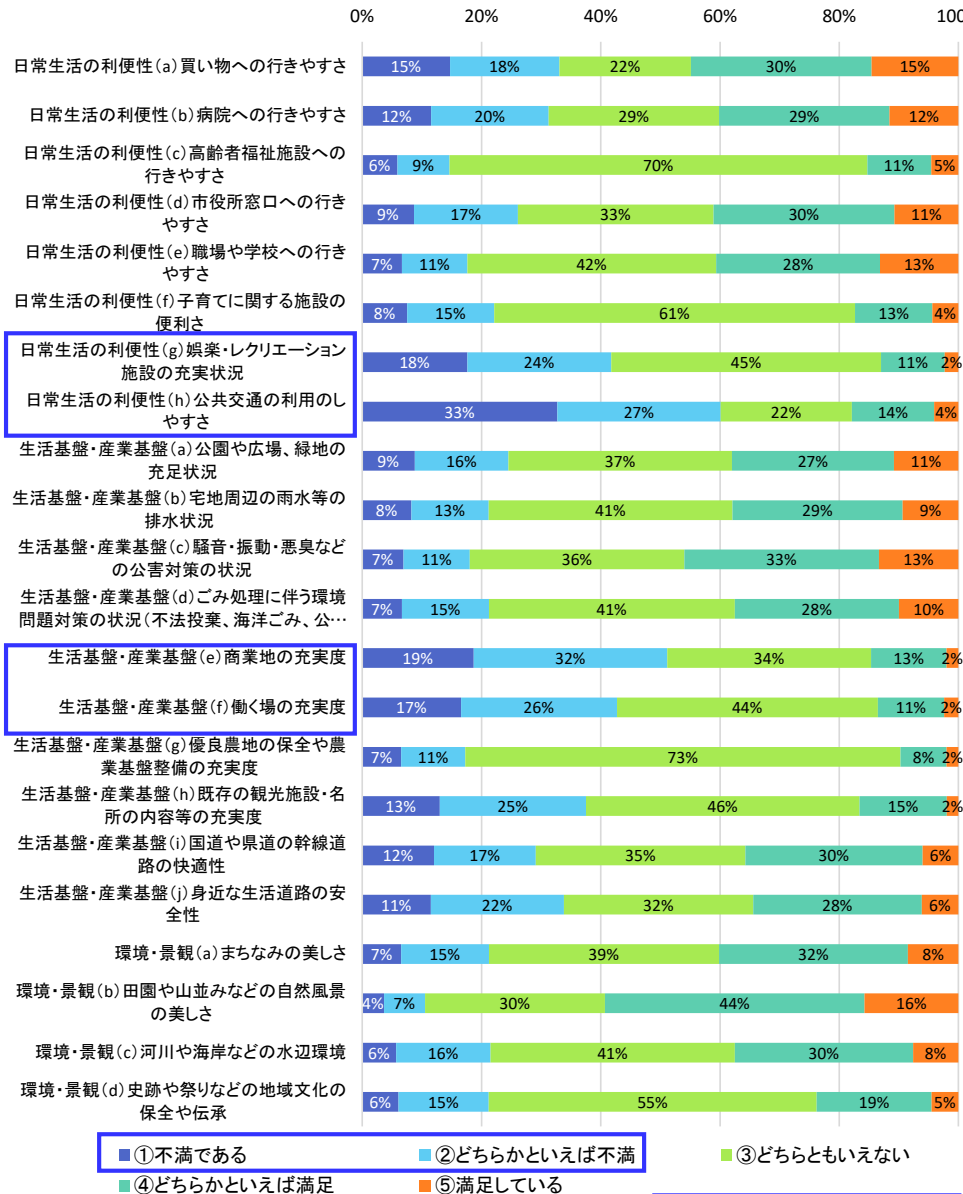
【問9】施設の望ましい立地場所



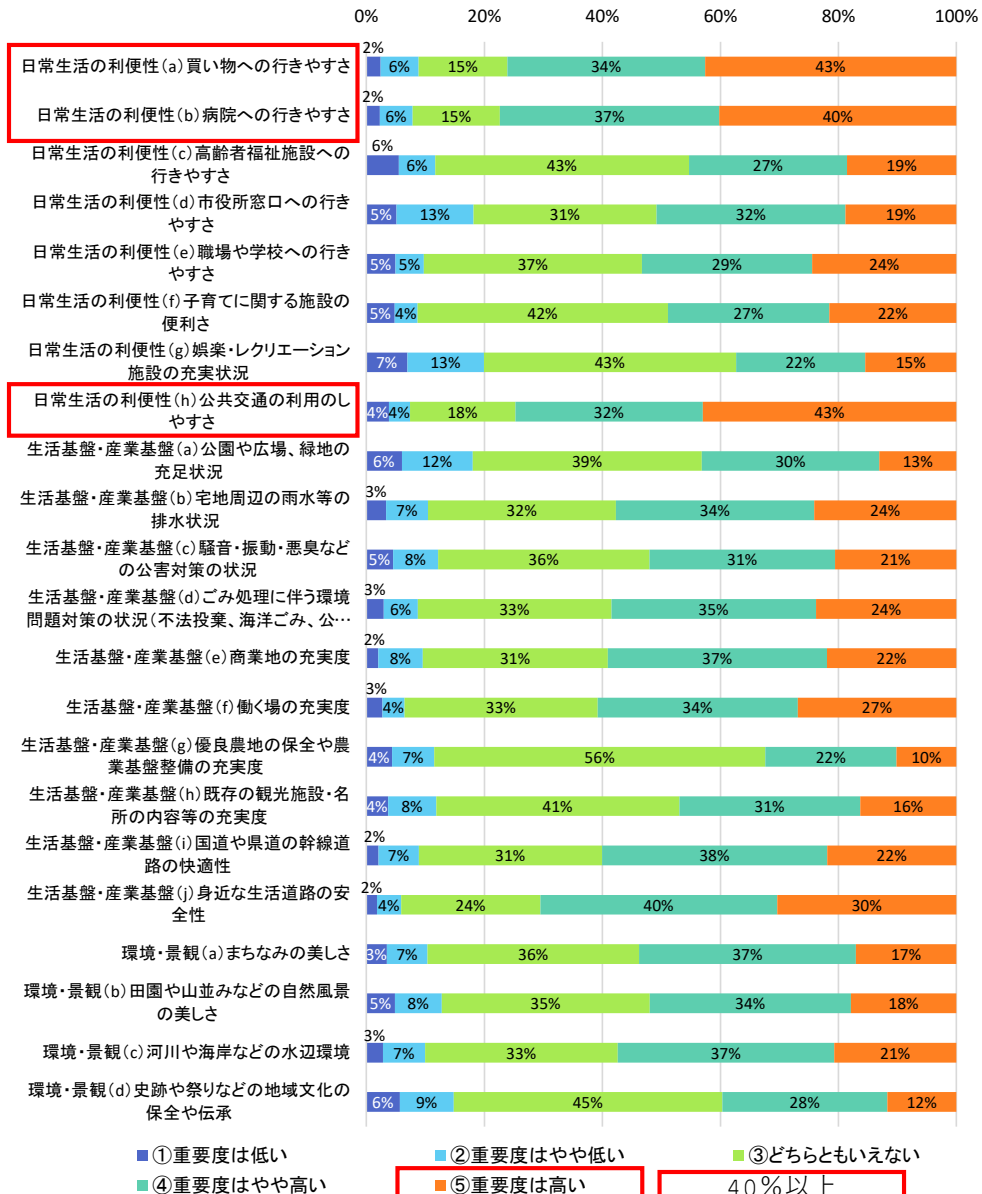
約半数が隣接市にあればよい（市内になくてもよい）と回答（山田地域は市の中心部と拮抗）

■調査結果（単純集計）

【問10-1】①現状での満足度

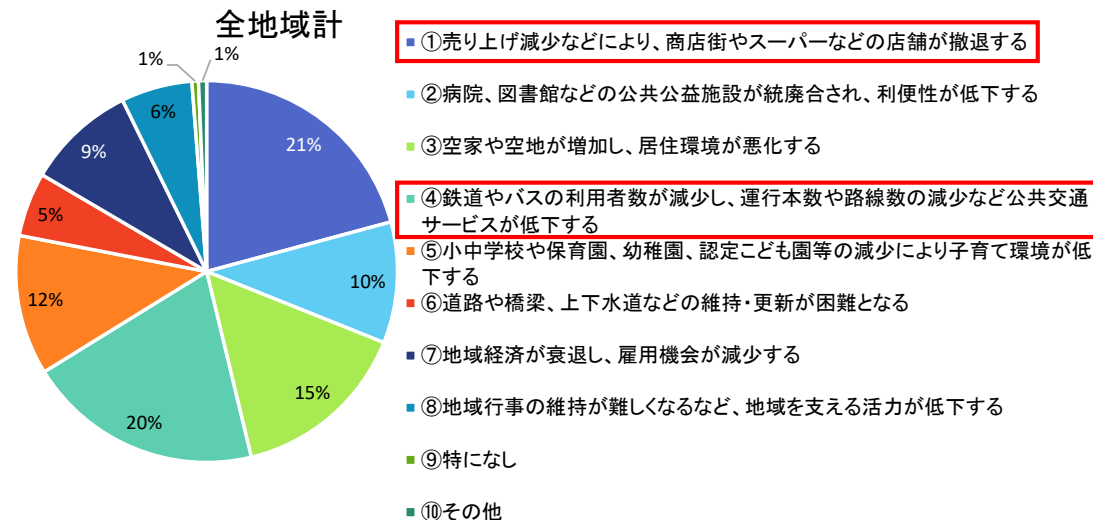


【問10-2】②今後取り組むことの重要度

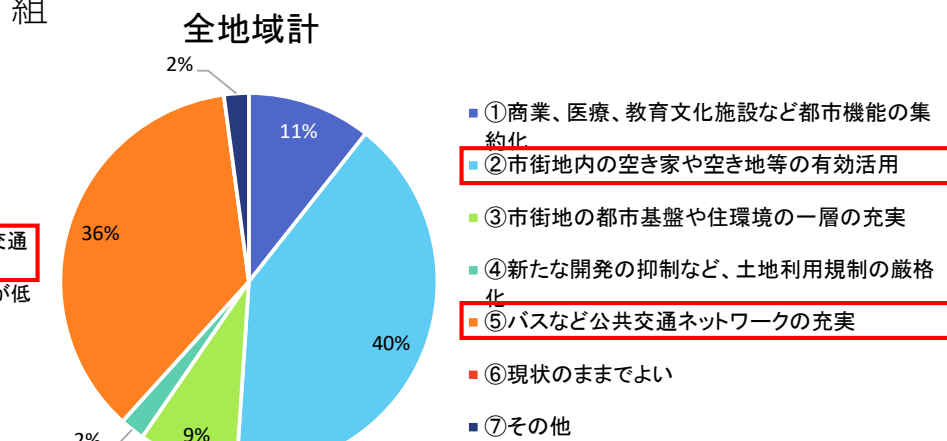


■ 調査結果（単純集計）

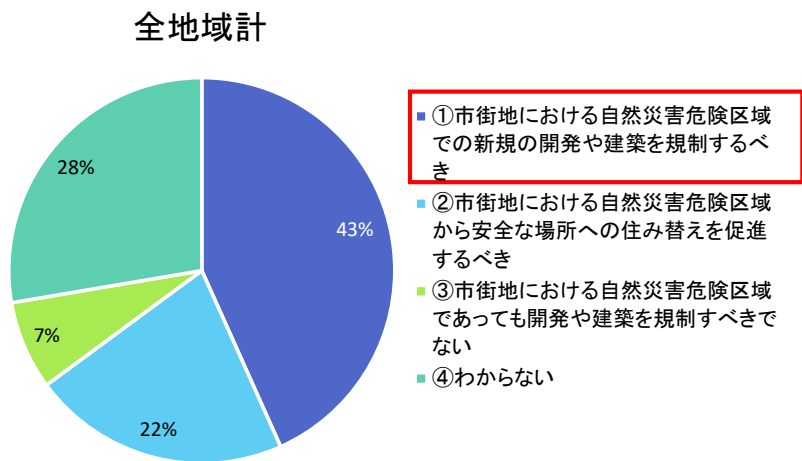
【問11】 人口減少・少子高齢化の進行により、玉野市において特に心配されること



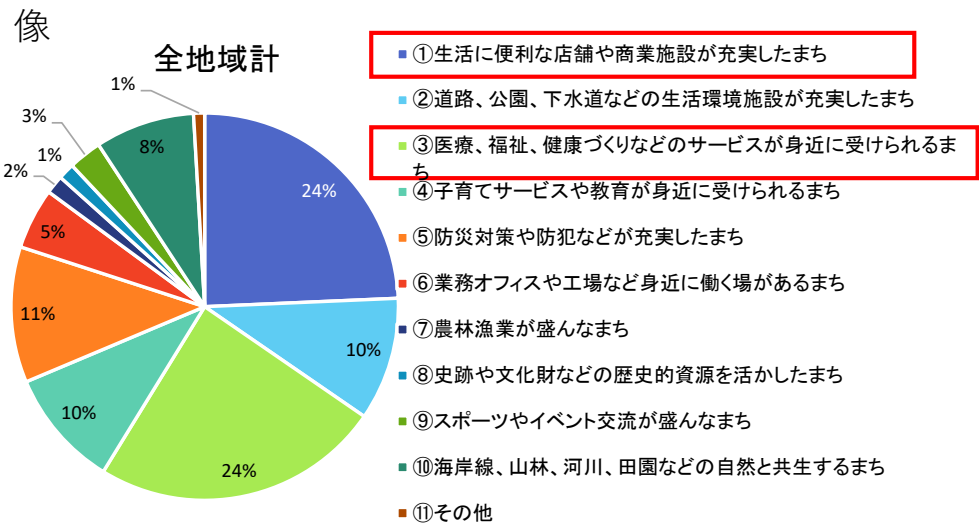
【問12】 問11を防ぐために最も重要な取組



【問13】 ハザードエリアでのまちづくり

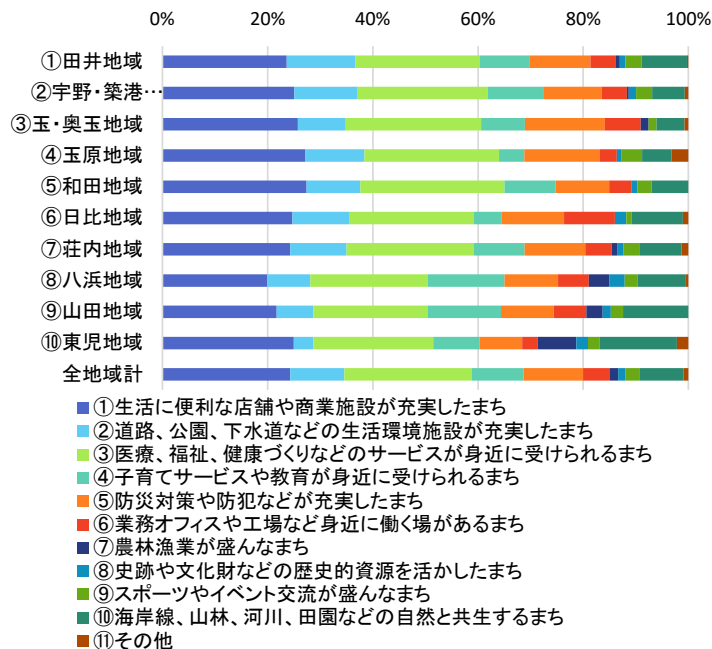


【問14】 自分が暮らしている地域の将来像

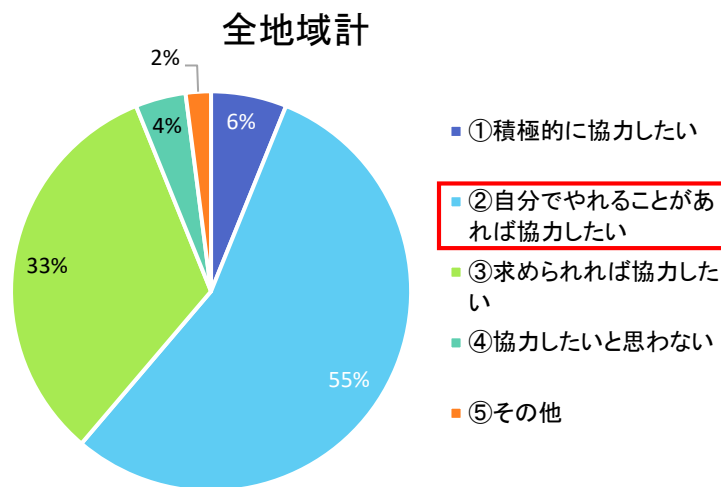


■ 調査結果（単純集計）

【問14】 自分が暮らしている地域の将来像（地域別）



【問15】 地域のまちづくりへの協力



（まとめ）

- ・日常生活において訪れる頻度が最も高い地域は、宇野・築港及び岡山市
 - ・日常生活において訪れる頻度が高い施設は、食料品等最寄り品、次いで、高齢者等福祉施設、塾・習い事など子育て関連施設
 - ・買い物等での徒歩限界時間は、10分程度
 - ・施設の望ましい立地場所が中心部の施設は、買回り品・大規模店舗、総合病院、文化・娯楽施設等。身近な場所に欲しい施設は日用品を扱う店舗、診療所、福祉施設、子育て施設、金融機関等
 - ・現状で不満度が高いものは、公共交通、娯楽・レク、商業地や働く場等
 - ・今後取り組む重要度が高いものは、日常生活の利便性（買い物、病院、高齢者福祉等への行きやすさや、公共交通の利用のしやすさ）
 - ・少子高齢化で心配されることは、店舗の撤退、公共交通サービスの低下等
 - ・それを防ぐために重要な取組は、空き地・空家等の有効活用、公共交通ネットワークの充実等
 - ・ハザードエリアでは、新規の開発や建築の抑制が必要
 - ・自分が暮らしている地域の将来像は、生活に便利な店舗等商業施設の充実、医療・福祉・健康づくりサービスの充実等
- ※東児地域、山田地域等は自然との共生が相対的に高い
- ・地域のまちづくりに対して、自分でやれることは協力する

問5-1できれば住替えたい：玉原5割、東児4割

問5-2住替えたい地域は岡山市がトップ（日比は倉敷、玉原や玉・奥玉は分散）

■ 調査結果（居住地別外出目的地）

【問 7 - 1】 日常生活において①訪れる頻度が最も高い地域

(a)食料品等の最寄り品の買い物

宇野・築港に集中、東部・北部は岡山市も多い、荘内は自地域が多い

居住地	①田井 地域	②宇野・ 築港地 域	③玉・奥 玉地域	④玉原 地域	⑤和田 地域	⑥日比 地域	⑦荘内 地域	⑧八浜 地域	⑨山田 地域	⑩東児 地域	⑪岡山 市	⑫倉敷 市	⑬その 他	総計
①田井地域	55%	41%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	0%	0%	100%
②宇野・築港地域	2%	91%	1%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	3%	0%	2%	100%
③玉・奥玉地域	2%	69%	11%	0%	0%	0%	7%	0%	0%	0%	2%	9%	0%	100%
④玉原地域	0%	43%	3%	3%	11%	0%	27%	0%	0%	0%	5%	8%	0%	100%
⑤和田地域	0%	63%	0%	0%	27%	0%	5%	0%	0%	0%	4%	2%	0%	100%
⑥日比地域	0%	48%	0%	0%	19%	0%	6%	0%	0%	0%	3%	23%	0%	100%
⑦荘内地域	4%	11%	0%	1%	0%	0%	64%	0%	0%	0%	15%	2%	1%	100%
⑧八浜地域	7%	27%	1%	0%	0%	0%	3%	3%	0%	1%	58%	0%	0%	100%
⑨山田地域	24%	43%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	100%
⑩東児地域	19%	27%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	46%	0%	0%	100%
全地域計	13%	41%	1%	0%	3%	0%	21%	0%	0%	1%	16%	3%	1%	100%

(b)家電や趣味嗜好品等の買い回り品の買い物

宇野・築港、岡山市に集中（日比は倉敷）

居住地	①田井 地域	②宇野・ 築港地 域	③玉・奥 玉地域	④玉原 地域	⑤和田 地域	⑥日比 地域	⑦荘内 地域	⑧八浜 地域	⑨山田 地域	⑩東児 地域	⑪岡山 市	⑫倉敷 市	⑬その 他	総計
①田井地域	4%	51%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	42%	2%	1%	100%
②宇野・築港地域	1%	56%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	35%	4%	3%	100%
③玉・奥玉地域	0%	49%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	32%	16%	3%	100%
④玉原地域	0%	41%	0%	0%	0%	0%	3%	0%	0%	0%	38%	16%	3%	100%
⑤和田地域	0%	53%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%	11%	4%	100%
⑥日比地域	0%	43%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	20%	37%	0%	100%
⑦荘内地域	0%	19%	0%	0%	0%	0%	5%	0%	0%	0%	56%	15%	3%	100%
⑧八浜地域	0%	21%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	74%	3%	0%	100%
⑨山田地域	2%	23%	0%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	63%	9%	0%	100%
⑩東児地域	4%	24%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	67%	2%	2%	100%
全地域計	1%	36%	0%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	49%	10%	2%	100%

■調査結果（居住地別外出目的地）

【問7-1】日常生活において①訪れる頻度が最も高い地域

(c)病院・医院・診療所の利用

宇野・築港に集中、東部・北部は岡山市も多い、荘内は自地域が多い

居住地	①田井地域	②宇野・築港地域	③玉・奥玉地域	④玉原地域	⑤和田地域	⑥日比地域	⑦荘内地域	⑧八浜地域	⑨山田地域	⑩東児地域	⑪岡山市	⑫倉敷市	⑬その他	総計
①田井地域	32%	33%	7%	1%	0%	0%	3%	3%	0%	0%	18%	2%	1%	100%
②宇野・築港地域	3%	71%	6%	0%	1%	0%	0%	1%	0%	0%	15%	1%	2%	100%
③玉・奥玉地域	2%	38%	21%	2%	2%	2%	5%	2%	0%	0%	14%	5%	5%	100%
④玉原地域	3%	33%	21%	3%	6%	3%	6%	3%	0%	0%	15%	6%	0%	100%
⑤和田地域	2%	32%	12%	3%	24%	10%	3%	0%	0%	0%	8%	3%	2%	100%
⑥日比地域	0%	20%	0%	0%	20%	20%	3%	0%	0%	0%	13%	17%	7%	100%
⑦荘内地域	2%	10%	5%	0%	0%	0%	55%	0%	0%	0%	18%	9%	0%	100%
⑧八浜地域	1%	8%	1%	0%	0%	0%	11%	28%	0%	1%	46%	0%	3%	100%
⑨山田地域	15%	13%	0%	0%	0%	0%	5%	10%	0%	0%	51%	3%	3%	100%
⑩東児地域	6%	15%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	21%	56%	2%	0%	100%
全地域計	8%	27%	6%	1%	3%	2%	18%	4%	0%	1%	23%	5%	1%	100%

(d)高齢者等福祉施設の利用

比較的自地域率が高い

居住地	①田井地域	②宇野・築港地域	③玉・奥玉地域	④玉原地域	⑤和田地域	⑥日比地域	⑦荘内地域	⑧八浜地域	⑨山田地域	⑩東児地域	⑪岡山市	⑫倉敷市	⑬その他	総計
①田井地域	46%	38%	0%	0%	0%	8%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
②宇野・築港地域	9%	57%	0%	4%	4%	0%	9%	0%	0%	0%	4%	4%	9%	100%
③玉・奥玉地域	0%	33%	33%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
④玉原地域	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	33%	0%	33%	100%
⑤和田地域	0%	17%	17%	0%	17%	17%	17%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	100%
⑥日比地域	0%	0%	0%	0%	25%	25%	0%	0%	0%	0%	25%	25%	0%	100%
⑦荘内地域	0%	7%	0%	7%	0%	4%	64%	4%	0%	0%	11%	0%	4%	100%
⑧八浜地域	8%	15%	0%	0%	0%	0%	8%	15%	0%	8%	31%	0%	15%	100%
⑨山田地域	25%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	25%	0%	0%	0%	100%
⑩東児地域	0%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	33%	0%	0%	100%
全地域計	10%	25%	2%	3%	3%	4%	25%	3%	3%	2%	11%	2%	7%	100%

■ 調査結果（居住地別外出目的地）

【問7-1】日常生活において①訪れる頻度が最も高い地域

(e)塾、習い事(ピアノやスイミング等)などの子育てに関する施設

宇野・築港に集中、東部・北部は岡山市も多い、荘内は自地域が多い

居住地	①田井地域	②宇野・築港地域	③玉・奥玉地域	④玉原地域	⑤和田地域	⑥日比地域	⑦荘内地域	⑧八浜地域	⑨山田地域	⑩東児地域	⑪岡山市	⑫倉敷市	⑬その他	総計
①田井地域	48%	28%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	0%	4%	12%	4%	0%	100%
②宇野・築港地域	0%	75%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	18%	0%	0%	100%
③玉・奥玉地域	0%	20%	20%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	40%	20%	0%	100%
④玉原地域	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	25%	0%	75%	0%	0%	100%
⑤和田地域	0%	43%	0%	0%	21%	0%	0%	0%	0%	0%	21%	7%	7%	100%
⑥日比地域	0%	0%	25%	0%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	25%	25%	0%	100%
⑦荘内地域	4%	21%	2%	0%	2%	0%	38%	0%	0%	0%	27%	7%	0%	100%
⑧八浜地域	0%	20%	0%	0%	0%	0%	0%	32%	0%	0%	48%	0%	0%	100%
⑨山田地域	0%	9%	0%	9%	0%	0%	0%	18%	9%	9%	36%	0%	9%	100%
⑩東児地域	0%	17%	0%	8%	0%	0%	0%	0%	8%	8%	58%	0%	0%	100%
全地域計	8%	30%	3%	1%	3%	0%	11%	6%	2%	2%	30%	4%	1%	100%

(f)外食・娯楽等

岡山市に集中（日比は倉敷）

居住地	①田井地域	②宇野・築港地域	③玉・奥玉地域	④玉原地域	⑤和田地域	⑥日比地域	⑦荘内地域	⑧八浜地域	⑨山田地域	⑩東児地域	⑪岡山市	⑫倉敷市	⑬その他	総計
①田井地域	6%	28%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	61%	5%	1%	100%
②宇野・築港地域	2%	31%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	59%	6%	1%	100%
③玉・奥玉地域	3%	23%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	57%	11%	0%	100%
④玉原地域	0%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	13%	3%	100%
⑤和田地域	0%	36%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	46%	12%	6%	100%
⑥日比地域	0%	30%	0%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	26%	41%	0%	100%
⑦荘内地域	1%	8%	1%	1%	0%	0%	4%	0%	0%	0%	65%	17%	3%	100%
⑧八浜地域	2%	9%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	82%	5%	0%	100%
⑨山田地域	0%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	0%	84%	0%	3%	100%
⑩東児地域	2%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	88%	0%	2%	100%
全地域計	2%	19%	1%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	64%	11%	2%	100%

■調査結果（居住地別外出目的地）

【問7-1】日常生活において①訪れる頻度が最も高い地域

(g)軽スポーツ・レクリエーション

岡山市に集中（日比は倉敷）、宇野・築港、玉・奥玉は自地域が多い

居住地	①田井地域	②宇野・築港地域	③玉・奥玉地域	④玉原地域	⑤和田地域	⑥日比地域	⑦荘内地域	⑧八浜地域	⑨山田地域	⑩東児地域	⑪岡山市	⑫倉敷市	⑬その他	総計
①田井地域	36%	22%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	31%	2%	4%	100%
②宇野・築港地域	10%	46%	10%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	24%	5%	2%	100%
③玉・奥玉地域	20%	10%	60%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	10%	0%	100%
④玉原地域	17%	8%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	0%	33%	0%	8%	100%
⑤和田地域	8%	17%	13%	8%	13%	13%	0%	0%	0%	0%	17%	4%	8%	100%
⑥日比地域	0%	8%	0%	8%	0%	8%	8%	0%	0%	0%	17%	50%	0%	100%
⑦荘内地域	2%	9%	10%	4%	1%	1%	10%	0%	1%	1%	47%	10%	4%	100%
⑧八浜地域	3%	10%	0%	10%	0%	0%	0%	10%	0%	0%	67%	0%	0%	100%
⑨山田地域	29%	10%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	19%	0%	33%	0%	5%	100%
⑩東児地域	6%	19%	13%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	19%	38%	6%	0%	100%
全地域計	12%	17%	10%	3%	2%	2%	3%	1%	2%	2%	36%	7%	4%	100%

(h)その他

居住地	①田井地域	②宇野・築港地域	③玉・奥玉地域	④玉原地域	⑤和田地域	⑥日比地域	⑦荘内地域	⑧八浜地域	⑨山田地域	⑩東児地域	⑪岡山市	⑫倉敷市	⑬その他	総計
①田井地域	25%	25%	0%	0%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	25%	0%	100%
②宇野・築港地域	0%	0%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	0%	0%	100%
③玉・奥玉地域	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%
④玉原地域	0%	33%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	100%
⑤和田地域	0%	0%	0%	0%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	0%	100%
⑥日比地域	67%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	100%
⑦荘内地域	0%	25%	0%	0%	8%	0%	33%	8%	0%	8%	8%	0%	8%	100%
⑧八浜地域	25%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	25%	25%	100%
⑨山田地域	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
⑩東児地域	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
全地域計	13%	19%	3%	0%	9%	0%	16%	3%	0%	3%	13%	16%	6%	100%

■ 調査結果（居住地別集計）

【問7-1】日常生活において①訪れる頻度が最も高い地域

①田井地域

目的地 目的	①田井 地域	②宇野・ 築港地 域	③玉・奥 玉地域	④玉原 地域	⑤和田 地域	⑥日比 地域	⑦荘内 地域	⑧八浜 地域	⑨山田 地域	⑩東児 地域	⑪岡山 市	⑫倉敷 市	⑬その 他	総計
(a)食料品等の最寄り品の買い物	55%	41%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	0%	0%	100%
(b)家電や趣味嗜好品等の買い回り品の買い物	4%	51%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	42%	2%	1%	100%
(c)病院・医院・診療所の利用	32%	33%	7%	1%	0%	0%	3%	3%	0%	0%	18%	2%	1%	100%
(d)高齢者等福祉施設の利用	46%	38%	0%	0%	0%	8%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
(e)塾、習い事（ピアノやスイミング等）などの子育てに関する施設	48%	28%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	0%	4%	12%	4%	0%	100%
(f)外食・娯楽等	6%	28%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	61%	5%	1%	100%
(g)軽スポーツ・レクリエーション	36%	22%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	31%	2%	4%	100%
(h)その他	25%	25%	0%	0%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	25%	0%	100%

②宇野・築港地域

目的地 目的	①田井 地域	②宇野・ 築港地 域	③玉・奥 玉地域	④玉原 地域	⑤和田 地域	⑥日比 地域	⑦荘内 地域	⑧八浜 地域	⑨山田 地域	⑩東児 地域	⑪岡山 市	⑫倉敷 市	⑬その 他	総計
(a)食料品等の最寄り品の買い物	2%	91%	1%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	3%	0%	2%	100%
(b)家電や趣味嗜好品等の買い回り品の買い物	1%	56%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	35%	4%	3%	100%
(c)病院・医院・診療所の利用	3%	71%	6%	0%	1%	0%	0%	1%	0%	0%	15%	1%	2%	100%
(d)高齢者等福祉施設の利用	9%	57%	0%	4%	4%	0%	9%	0%	0%	0%	4%	4%	9%	100%
(e)塾、習い事（ピアノやスイミング等）などの子育てに関する施設	0%	75%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	18%	0%	0%	100%
(f)外食・娯楽等	2%	31%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	59%	6%	1%	100%
(g)軽スポーツ・レクリエーション	10%	46%	10%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	24%	5%	2%	100%
(h)その他	0%	0%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	0%	0%	100%

③玉・奥玉地域

目的地 目的	①田井 地域	②宇野・ 築港地 域	③玉・奥 玉地域	④玉原 地域	⑤和田 地域	⑥日比 地域	⑦荘内 地域	⑧八浜 地域	⑨山田 地域	⑩東児 地域	⑪岡山 市	⑫倉敷 市	⑬その 他	総計
(a)食料品等の最寄り品の買い物	2%	69%	11%	0%	0%	0%	7%	0%	0%	0%	2%	9%	0%	100%
(b)家電や趣味嗜好品等の買い回り品の買い物	0%	49%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	32%	16%	3%	100%
(c)病院・医院・診療所の利用	2%	38%	21%	2%	2%	2%	5%	2%	0%	0%	14%	5%	5%	100%
(d)高齢者等福祉施設の利用	0%	33%	33%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
(e)塾、習い事（ピアノやスイミング等）などの子育てに関する施設	0%	20%	20%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	40%	20%	0%	100%
(f)外食・娯楽等	3%	23%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	57%	11%	0%	100%
(g)軽スポーツ・レクリエーション	20%	10%	60%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	10%	0%	100%
(h)その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%

■ 調査結果（居住地別集計）

【問 7 - 1】 日常生活において①訪れる頻度が最も高い地域

④玉原地域

目的地	①田井地域	②宇野・築港地域	③玉・奥玉地域	④玉原地域	⑤和田地域	⑥日比地域	⑦荘内地域	⑧八浜地域	⑨山田地域	⑩東児地域	⑪岡山市	⑫倉敷市	⑬その他	総計
(a)食料品等の最寄り品の買い物	0%	43%	3%	3%	11%	0%	27%	0%	0%	0%	5%	8%	0%	100%
(b)家電や趣味嗜好品等の買い回り品の買い物	0%	41%	0%	0%	0%	0%	3%	0%	0%	0%	38%	16%	3%	100%
(c)病院・医院・診療所の利用	3%	33%	21%	3%	6%	3%	6%	3%	0%	0%	15%	6%	0%	100%
(d)高齢者等福祉施設の利用	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	33%	0%	33%	100%
(e)塾、習い事（ピアノやスイミング等）などの子育てに関する施設	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	25%	0%	75%	0%	0%	100%
(f)外食・娯楽等	0%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	13%	3%	100%
(g)軽スポーツ・レクリエーション	17%	8%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	0%	33%	0%	8%	100%
(h)その他	0%	33%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	100%

⑤和田地域

目的地	①田井地域	②宇野・築港地域	③玉・奥玉地域	④玉原地域	⑤和田地域	⑥日比地域	⑦荘内地域	⑧八浜地域	⑨山田地域	⑩東児地域	⑪岡山市	⑫倉敷市	⑬その他	総計
(a)食料品等の最寄り品の買い物	0%	63%	0%	0%	27%	0%	5%	0%	0%	0%	4%	2%	0%	100%
(b)家電や趣味嗜好品等の買い回り品の買い物	0%	53%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%	11%	4%	100%
(c)病院・医院・診療所の利用	2%	32%	12%	3%	24%	10%	3%	0%	0%	0%	8%	3%	2%	100%
(d)高齢者等福祉施設の利用	0%	17%	17%	0%	17%	17%	17%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	100%
(e)塾、習い事（ピアノやスイミング等）などの子育てに関する施設	0%	43%	0%	0%	21%	0%	0%	0%	0%	0%	21%	7%	7%	100%
(f)外食・娯楽等	0%	36%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	46%	12%	6%	100%
(g)軽スポーツ・レクリエーション	8%	17%	13%	8%	13%	13%	0%	0%	0%	0%	17%	4%	8%	100%
(h)その他	0%	0%	0%	0%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	0%	100%

⑥日比地域

目的地	①田井地域	②宇野・築港地域	③玉・奥玉地域	④玉原地域	⑤和田地域	⑥日比地域	⑦荘内地域	⑧八浜地域	⑨山田地域	⑩東児地域	⑪岡山市	⑫倉敷市	⑬その他	総計
(a)食料品等の最寄り品の買い物	0%	48%	0%	0%	19%	0%	6%	0%	0%	0%	3%	23%	0%	100%
(b)家電や趣味嗜好品等の買い回り品の買い物	0%	43%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	20%	37%	0%	100%
(c)病院・医院・診療所の利用	0%	20%	0%	0%	20%	20%	3%	0%	0%	0%	13%	17%	7%	100%
(d)高齢者等福祉施設の利用	0%	0%	0%	0%	25%	25%	0%	0%	0%	0%	25%	25%	0%	100%
(e)塾、習い事（ピアノやスイミング等）などの子育てに関する施設	0%	0%	25%	0%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	25%	25%	0%	100%
(f)外食・娯楽等	0%	30%	0%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	26%	41%	0%	100%
(g)軽スポーツ・レクリエーション	0%	8%	0%	8%	0%	8%	8%	0%	0%	0%	17%	50%	0%	100%
(h)その他	67%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	100%

■ 調査結果（居住地別集計）

【問 7 - 1】 日常生活において①訪れる頻度が最も高い地域

⑦ 荘内地域

目的地 目的	①田井 地域	②宇野・ 築港地 域	③玉・奥 玉地域	④玉原 地域	⑤和田 地域	⑥日比 地域	⑦荘内 地域	⑧八浜 地域	⑨山田 地域	⑩東児 地域	⑪岡山 市	⑫倉敷 市	⑬その 他	総計
(a)食料品等の最寄り品の買い物	4%	12%	0%	1%	0%	0%	64%	0%	0%	0%	14%	2%	1%	100%
(b)家電や趣味嗜好品等の買い回り品の買い物	1%	18%	1%	1%	0%	0%	5%	0%	0%	0%	56%	16%	4%	100%
(c)病院・医院・診療所の利用	3%	11%	5%	0%	1%	1%	54%	0%	0%	0%	18%	10%	0%	100%
(d)高齢者等福祉施設の利用	0%	7%	0%	7%	0%	4%	63%	4%	0%	0%	11%	0%	4%	100%
(e)塾、習い事（ピアノやスイミング等）などの子育てに関する施設	4%	22%	2%	0%	2%	0%	39%	0%	0%	0%	24%	7%	0%	100%
(f)外食・娯楽等	0%	9%	0%	1%	0%	0%	4%	0%	0%	0%	65%	18%	3%	100%
(g)軽スポーツ・レクリエーション	2%	9%	10%	4%	1%	1%	9%	0%	1%	1%	46%	10%	4%	100%
(h)その他	0%	18%	0%	0%	9%	0%	36%	9%	0%	9%	9%	0%	9%	100%

⑧ 八浜地域

目的地 目的	①田井 地域	②宇野・ 築港地 域	③玉・奥 玉地域	④玉原 地域	⑤和田 地域	⑥日比 地域	⑦荘内 地域	⑧八浜 地域	⑨山田 地域	⑩東児 地域	⑪岡山 市	⑫倉敷 市	⑬その 他	総計
(a)食料品等の最寄り品の買い物	7%	29%	1%	0%	0%	0%	3%	3%	0%	1%	55%	0%	0%	100%
(b)家電や趣味嗜好品等の買い回り品の買い物	0%	22%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	72%	3%	0%	100%
(c)病院・医院・診療所の利用	1%	9%	1%	0%	0%	0%	12%	28%	0%	1%	44%	0%	3%	100%
(d)高齢者等福祉施設の利用	8%	17%	0%	0%	0%	0%	8%	8%	0%	8%	33%	0%	17%	100%
(e)塾、習い事（ピアノやスイミング等）などの子育てに関する施設	0%	21%	0%	0%	0%	0%	0%	29%	0%	0%	50%	0%	0%	100%
(f)外食・娯楽等	2%	10%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	80%	5%	0%	100%
(g)軽スポーツ・レクリエーション	4%	11%	0%	7%	0%	0%	0%	11%	0%	0%	67%	0%	0%	100%
(h)その他	33%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	100%

⑨ 山田地域

目的地 目的	①田井 地域	②宇野・ 築港地 域	③玉・奥 玉地域	④玉原 地域	⑤和田 地域	⑥日比 地域	⑦荘内 地域	⑧八浜 地域	⑨山田 地域	⑩東児 地域	⑪岡山 市	⑫倉敷 市	⑬その 他	総計
(a)食料品等の最寄り品の買い物	25%	45%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	30%	0%	0%	100%
(b)家電や趣味嗜好品等の買い回り品の買い物	2%	24%	0%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	61%	10%	0%	100%
(c)病院・医院・診療所の利用	16%	13%	0%	0%	0%	0%	5%	11%	0%	0%	50%	3%	3%	100%
(d)高齢者等福祉施設の利用	25%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	25%	0%	0%	0%	100%
(e)塾、習い事（ピアノやスイミング等）などの子育てに関する施設	0%	10%	0%	10%	0%	0%	0%	20%	0%	10%	40%	0%	10%	100%
(f)外食・娯楽等	0%	9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	0%	83%	0%	3%	100%
(g)軽スポーツ・レクリエーション	30%	10%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	20%	0%	30%	0%	5%	100%
(h)その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

■ 調査結果（居住地別集計）

【問 7 - 1】 日常生活において①訪れる頻度が最も高い地域

⑩東児地域

目的	目的地	①田井 地域	②宇野・ 築港地 域	③玉・奥 玉地域	④玉原 地域	⑤和田 地域	⑥日比 地域	⑦荘内 地域	⑧八浜 地域	⑨山田 地域	⑩東児 地域	⑪岡山 市	⑫倉敷 市	⑬その 他	総計
(a)食料品等の最寄り品の買い物		19%	27%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	46%	0%	0%	100%
(b)家電や趣味嗜好品等の買い回り品の買い物		4%	24%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	67%	2%	2%	100%
(c)病院・医院・診療所の利用		6%	15%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	21%	56%	2%	0%	100%
(d)高齢者等福祉施設の利用		0%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	33%	0%	0%	100%
(e)塾、習い事(ピアノやスイミング等)などの子育てに関する施設		0%	17%	0%	8%	0%	0%	0%	0%	8%	8%	58%	0%	0%	100%
(f)外食・娯楽等		2%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	88%	0%	2%	100%
(g)軽スポーツ・レクリエーション		6%	19%	13%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	19%	38%	6%	0%	100%
(h)その他		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%

■ 調査結果（全地域）

（集客人口/地域人口） ※%を人口換算し、地域人口で割った数値

項目	①田井地域	②宇野・築港地域	③玉・奥玉地域	④玉原地域	⑤和田地域	⑥日比地域	⑦荘内地域	⑧八浜地域	⑨山田地域	⑩東児地域	全地域
(a)食料品等の最寄り品の買い物	94%	318%	21%	6%	46%	2%	78%	2%	0%	11%	81%
(b)家電や趣味嗜好品等の買い回り品の買い物	9%	280%	5%	2%	0%	0%	6%	0%	0%	2%	39%
(c)病院・医院・診療所の利用	55%	209%	129%	10%	45%	33%	69%	38%	0%	25%	71%
(d)高齢者等福祉施設の利用	70%	196%	40%	46%	41%	65%	94%	28%	62%	33%	80%
(e)塾、習い事（ピアノやスイミング等）などの子育てに関する施設	53%	234%	55%	17%	37%	0%	43%	57%	33%	27%	65%
(f)外食・娯楽等	13%	149%	15%	7%	0%	0%	4%	1%	6%	5%	24%
(g)軽スポーツ・レクリエーション	83%	134%	193%	51%	22%	27%	12%	9%	41%	28%	53%
(h)その他	87%	147%	63%	0%	127%	0%	59%	30%	0%	52%	66%

- ・ 集客人口とは、アンケート問7-1の訪れる頻度が最も高い地域の比率（P22～25表の各地域の全地域計の%）を各地区の将来人口（下記地域別人口の予測）に掛けて算出したもの
- ・ 地域人口は、各地域の2045年推計人口（国土技術政策総合研究所 将来人口・世帯予測ツール（R2国調対応版）に基づく）

※田井地域の（a）の場合：集客人口＝都市計画区域の将来人口（35,418人）×13%（正確には13.45%）/地域将来人口（5,075人）＝94%

宇野・築港はすべての項目で地域外から集客（100%以上）している

宇野・築港は本市内で突出して集客が多く一極型の都市構造といえる

100%を下回る数値は地域外に流出（全地域の場合は市外（岡山市等）に流出

政令市である岡山市に隣接する本市では、岡山市を上手に使うことも必要

（参考）地域別人口の予測

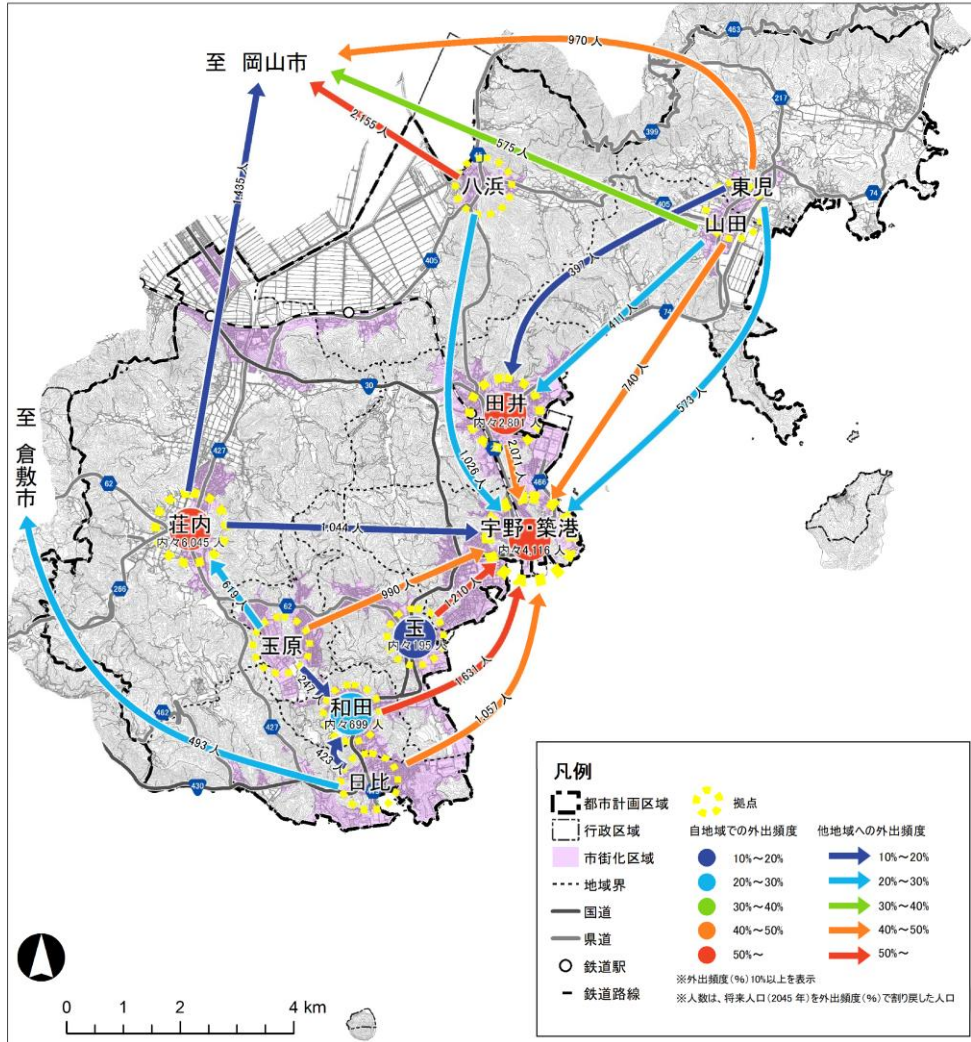
項目	単位	①田井地域	②宇野・築港地域	③玉・奥玉地域	④玉原地域	⑤和田地域	⑥日比地域	⑦荘内地域	⑧八浜地域	⑨山田地域	⑩東児地域	石島（都計区域外）
地区人口(2020)	人	7,313	7,611	3,511	3,905	4,119	4,050	14,172	5,353	2,760	3,683	54
将来地区人口(2045)	人	5,075	4,523	1,756	2,289	2,610	2,184	9,393	3,745	1,726	2,117	22
人口増減数(2045-2010)	人	-2,238	-3,088	-1,755	-1,616	-1,509	-1,866	-4,779	-1,608	-1,034	-1,566	-32
人口増減率(2045-2020)	%	-30.6%	-40.6%	-50.0%	-41.4%	-36.6%	-46.1%	-33.7%	-30.0%	-37.5%	-42.5%	-59.3%

出典：国勢調査、国土技術政策総合研究所 将来人口・世帯予測ツール（R2国調対応版）

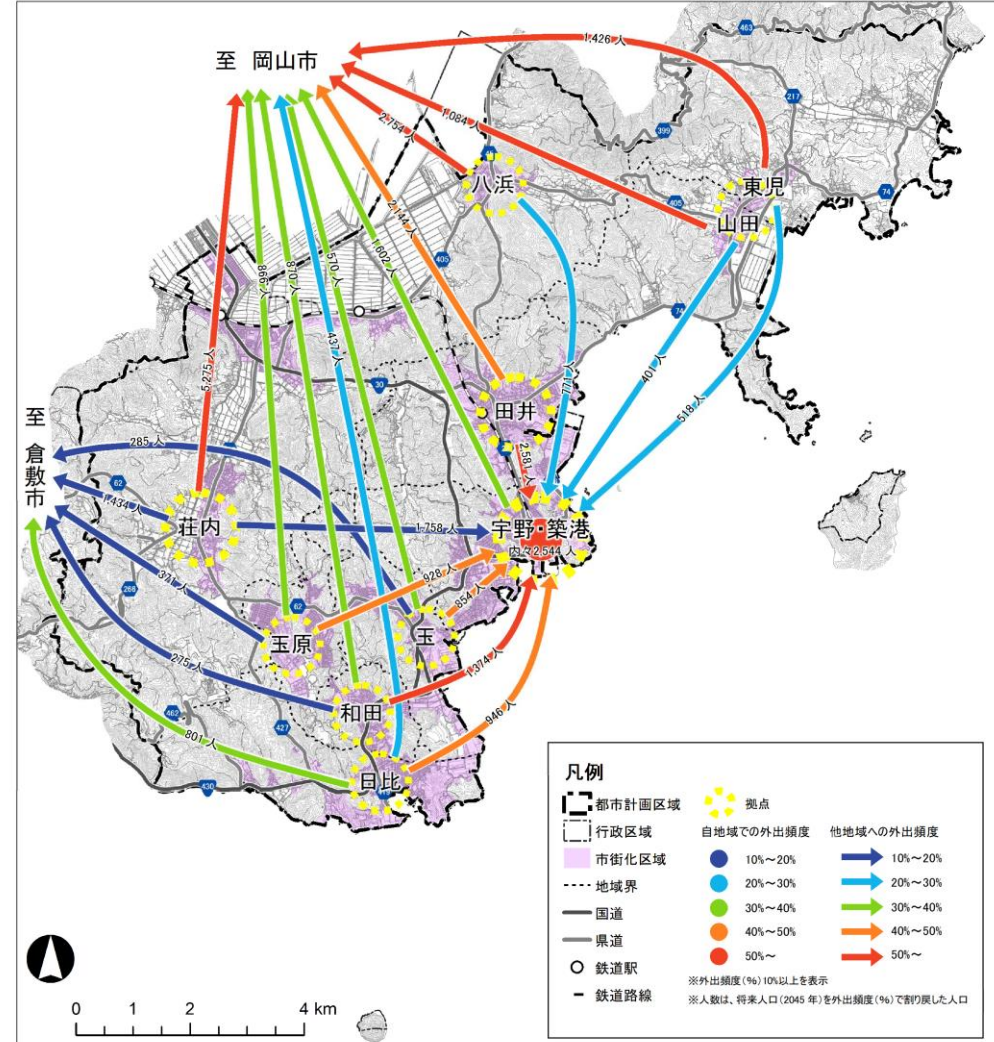
■ 調査結果（全地域）

（参考）【問 7-1】 自地域での外出頻度と他地域への外出頻度の図化

(a) 食料品等の最寄り品の買い物



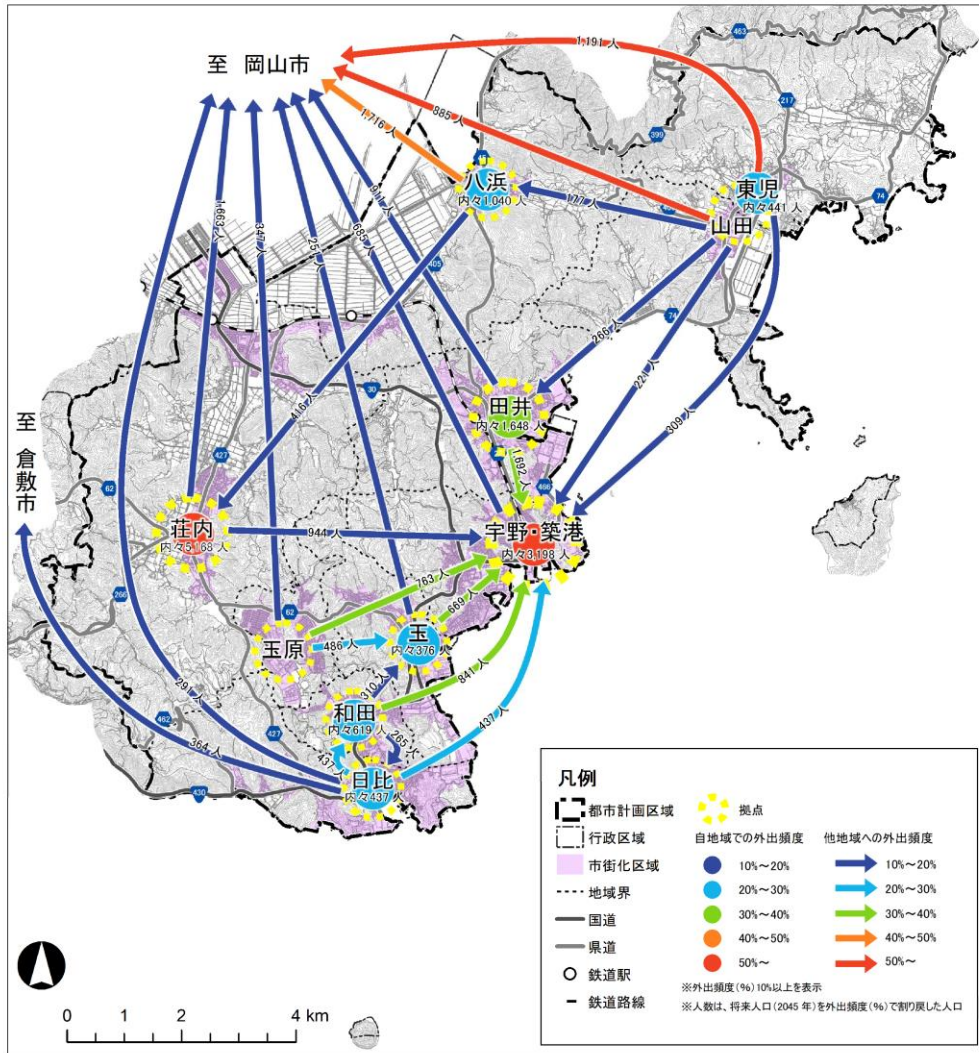
(b) 家電や趣味嗜好品等の買い回り品の買い物



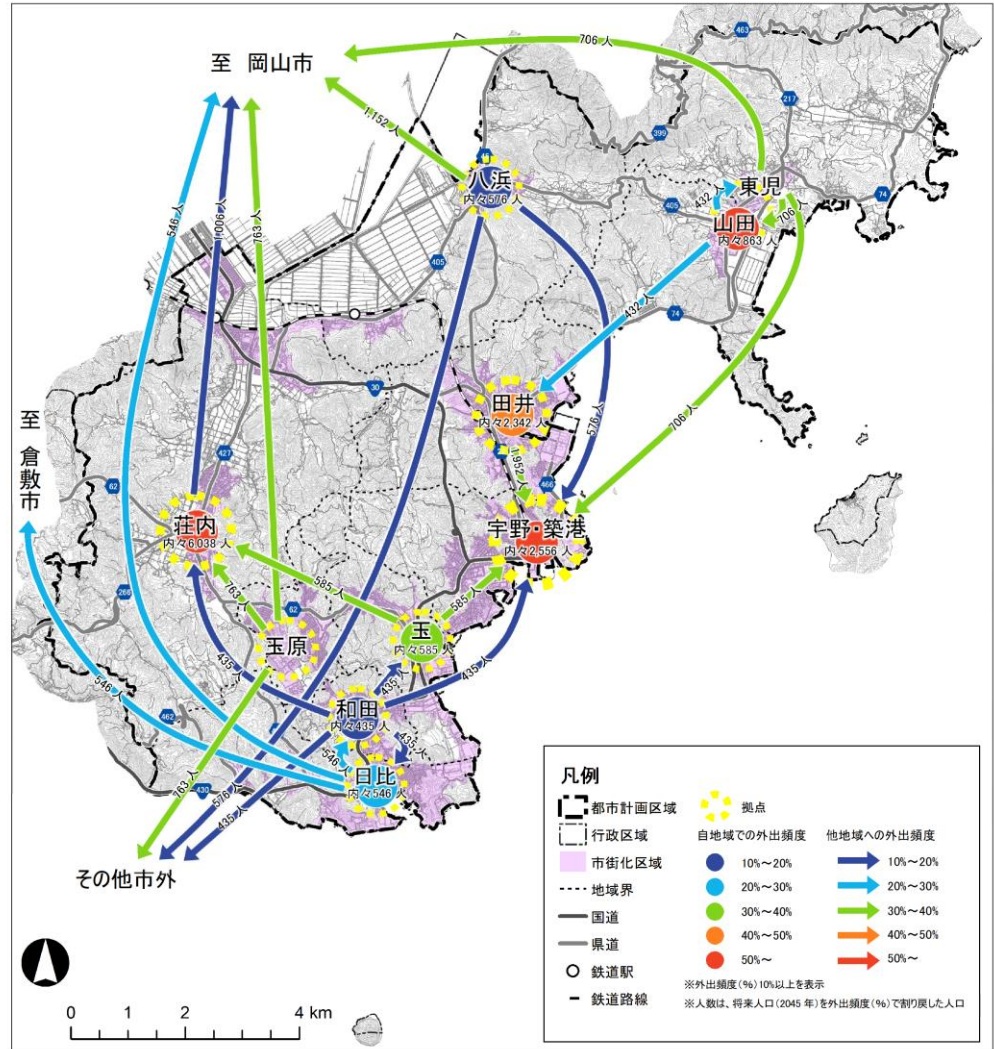
■ 調査結果（全地域）

（参考）【問 7-1】 自地域での外出頻度と他地域への外出頻度の図化

(c) 病院・医院・診療所の利用



(d) 高齢者等福祉施設の利用



参考 (パーソントリップ調査)

■買物

目的地 居住地	田井	宇野・ 築港	玉・奥玉	玉原	和田	日比・ 渋川	荘内	八浜	山田	東児	岡山市	倉敷市	その他 市外
田井	23.2%	33.7%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.8%	0.0%	0.0%	0.0%	28.9%	6.5%	0.0%
宇野・築港	5.2%	63.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.3%	3.0%	3.2%
玉・奥玉	10.0%	44.5%	13.2%	0.0%	1.7%	0.0%	12.3%	0.0%	0.0%	3.0%	12.3%	2.9%	0.0%
玉原	7.8%	32.8%	0.0%	11.7%	13.0%	0.0%	12.8%	0.0%	0.0%	0.0%	21.8%	0.0%	0.0%
和田	1.1%	19.4%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	48.8%	18.4%	2.7%
日比・渋川	0.0%	29.2%	1.1%	0.0%	11.7%	7.1%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	19.3%	24.3%	3.2%
荘内	4.9%	14.1%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.5%	0.4%	0.5%	0.0%	38.6%	17.5%	2.4%
八浜	8.3%	14.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	1.7%	0.0%	0.0%	65.6%	8.1%	0.0%
山田	11.4%	15.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	6.5%	0.0%	8.7%	54.8%	0.0%	0.0%
東児	5.8%	14.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.1%	62.3%	4.7%	0.0%
岡山市	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	88.3%	4.8%	6.3%
倉敷市	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	86.1%	6.7%
その他市外	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.2%	6.6%	84.1%

- ・買物の目的地は、宇野・築港及び岡山市が多く、市内では他に田井、和田、荘内が他地域からのトリップが多い
- ・宇野・築港へは当地区周辺の地域からのトリップが多く、市東部、西部は岡山市が多い

■通院

目的地 居住地	田井	宇野・ 築港	玉・奥玉	玉原	和田	日比・ 渋川	荘内	八浜	山田	東児	岡山市	倉敷市	その他 市外
田井	15.7%	50.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.8%	0.0%	0.0%	16.8%	0.0%	0.0%
宇野・築港	0.0%	21.7%	11.3%	0.0%	0.0%	0.0%	47.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	19.1%	0.0%
玉・奥玉	8.3%	0.0%	55.8%	0.0%	8.3%	0.0%	10.6%	0.0%	0.0%	0.0%	17.0%	0.0%	0.0%
玉原	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
和田	0.0%	23.3%	0.0%	0.0%	16.5%	31.7%	28.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
日比・渋川	0.0%	32.0%	0.0%	0.0%	13.8%	22.2%	11.2%	0.0%	0.0%	0.0%	20.7%	0.0%	0.0%
荘内	2.9%	9.3%	12.7%	0.0%	5.6%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	26.7%	0.0%	0.0%
八浜	0.0%	9.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.7%	13.3%	0.0%	0.0%	56.1%	0.0%	0.0%
山田	32.4%	67.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東児	10.6%	14.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.4%	0.0%	0.0%	20.9%	20.1%	19.8%	0.0%
岡山市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	95.3%	3.6%	0.9%
倉敷市	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.6%	92.4%	2.9%
その他市外	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	13.0%	7.3%	79.6%

- ・通院の目的地は宇野・築港、玉・奥玉、荘内、岡山市が多く、市内では他に田井、玉・奥玉、荘内が他地域からのトリップが多い
- ・宇野・築港へは同地域周辺の地域からのトリップが多く、市東部、北部は岡山市が多い

■私用 (買物・通院を除く)

目的地 居住地	田井	宇野・ 築港	玉・奥玉	玉原	和田	日比・ 渋川	荘内	八浜	山田	東児	岡山市	倉敷市	その他 市外
田井	15.1%	24.0%	2.8%	1.9%	0.9%	0.8%	4.6%	1.6%	9.8%	1.6%	23.6%	10.4%	2.9%
宇野・築港	13.0%	36.4%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	2.0%	0.0%	33.3%	3.2%	8.3%
玉・奥玉	0.0%	32.1%	17.4%	0.0%	0.0%	0.0%	4.6%	0.0%	6.4%	0.0%	30.0%	6.4%	3.1%
玉原	16.5%	15.9%	12.7%	8.2%	0.0%	0.0%	20.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.3%	0.0%
和田	7.6%	15.0%	4.7%	7.3%	12.6%	4.2%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.9%	8.4%	19.3%
日比・渋川	8.6%	3.8%	13.8%	0.0%	7.5%	2.8%	5.6%	0.0%	3.8%	0.0%	20.5%	24.5%	8.9%
荘内	5.2%	13.5%	1.3%	0.0%	3.3%	0.6%	22.6%	3.1%	0.0%	0.0%	26.7%	9.2%	14.3%
八浜	0.0%	7.8%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.0%	11.2%	0.0%	1.2%	46.9%	8.6%	13.4%
山田	15.6%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.1%	13.2%	3.9%	37.7%	0.0%	0.0%
東児	5.0%	16.1%	4.6%	0.0%	7.1%	0.0%	7.9%	0.0%	0.0%	26.2%	27.5%	0.0%	5.6%
岡山市	0.3%	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.6%	0.1%	0.0%	0.1%	77.0%	5.6%	15.3%
倉敷市	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	73.0%	15.8%
その他市外	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	10.9%	6.1%	82.5%

- ・目的地は宇野・築港、岡山市が多く、市内では他に田井、玉・奥玉、荘内が他地域からのトリップが多い
- ・宇野・築港へは当地区周辺の地域からのトリップが多く、市東部、北部からは少ないが、岡山市への全市域から多い

議事③将来都市像 【都市計画マスタープラン】

- (1) 現都市計画マスタープランの検証
- (2) 玉野市の都市づくりに係る上位計画
- (3) 都市整備上の主要課題
- (4) 都市づくりの理念
- (5) 都市づくりの基本目標
- (6) 将来都市構造

(1) 現都市計画マスタープランの検証

■市街地フレームの検証

将来人口は、2022年6万人と想定していたが、56,485人（2022年3月31日時点）と想定値を約6%下回っている。また、市街地フレーム（市街化区域面積）は、2005年から変更なしである。

表 現都市マス策定時の将来人口推定と実績値

項目	策定時(2005年)	想定値(2022年)	実績値(2022年)
将来人口	67,047人	60,000人	(2022年度末) 56,485人
市街地フレーム (市街化区域面積)	1,767ha	1,800ha程度	1,767ha

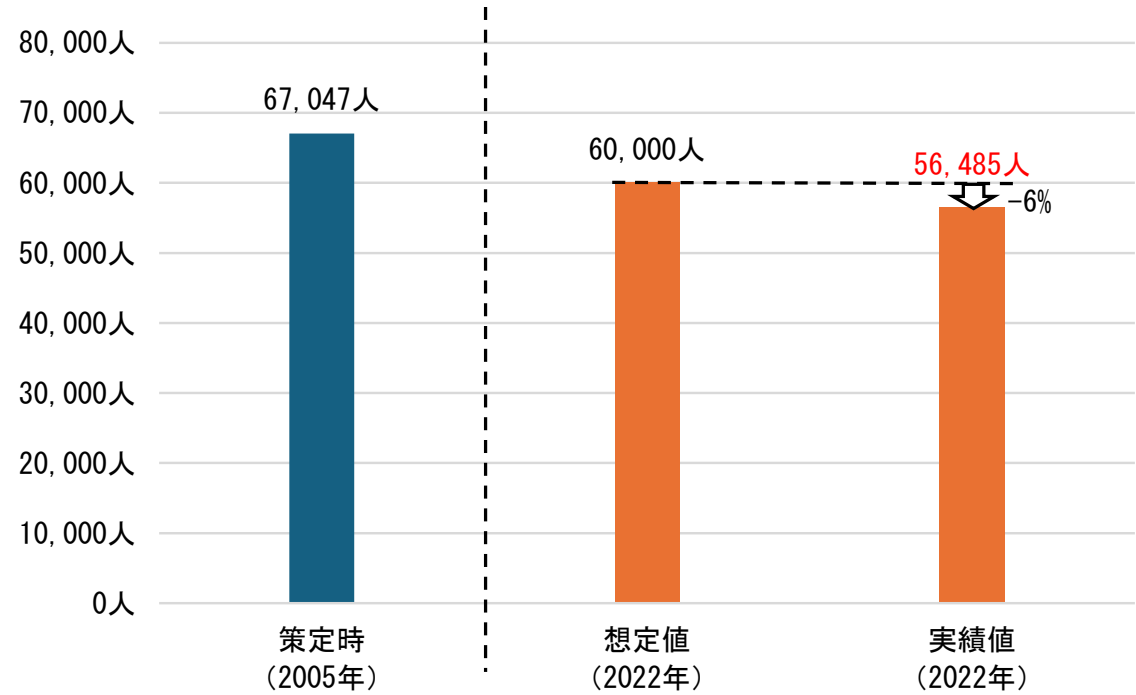


図 現都市マス策定時の将来人口推定と実績値

(1) 現都市計画マスタープランの検証

■主要課題の検証

主要課題① 明確な都市構造の形成

都市整備上の主要課題	現状	検証結果
都市形成のための都市拠点と、市民の生活の場となる地域拠点に対する、明確な位置づけと機能充実が必要となっている。	概ね各地域生活拠点に都市機能が集約している。一方で、コンビニエンスストアが増加したもののスーパーや銀行等の撤退が相次いでおり、各地域生活拠点の利便性が低下している。 第2回庁内検討会資料より	<u>今後一層の人口減少及び高齢化の進行が見込まれる中、都市拠点や市民の生活の場となる拠点の明確な位置づけとともに、各拠点の実態に応じた役割分担の見直しが求められる。</u>
	人口減少下で都市機能の維持等が困難になることが懸念される中、市民は、商店街やスーパーなどの店舗の撤退や、公共交通サービスの低下を特に心配している。 次頁左図参	
	今後25年で人口が2.1万人減少した場合、大型小売店が3～4施設の減少（現16施設）、病院・診療所が21施設の減少（現55施設）が見込まれる。 次頁右上図参	

(1) 現都市計画マスタープランの検証

■主要課題の検証

主要課題① 明確な都市構造の形成

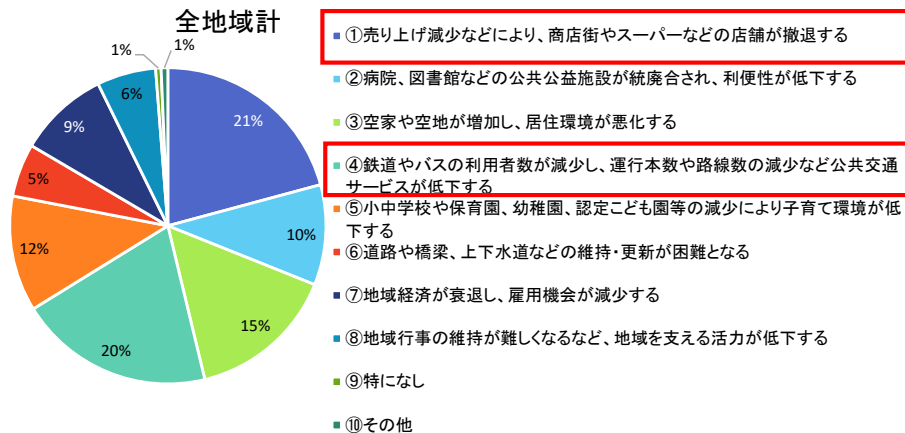


図 市民アンケート【問11】人口減少・少子高齢化の進行により、玉野市において特に心配されること

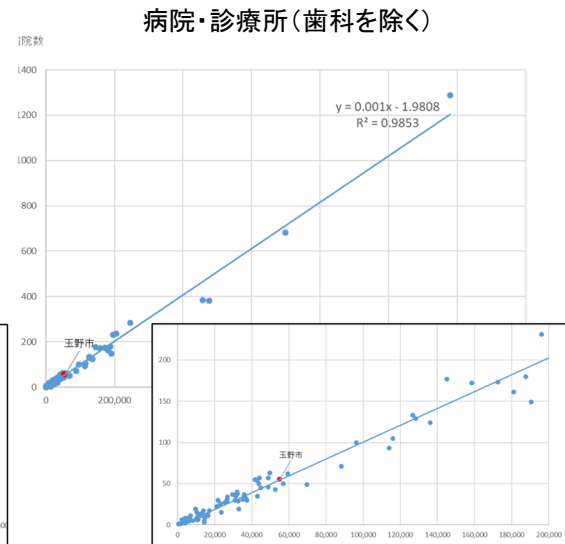
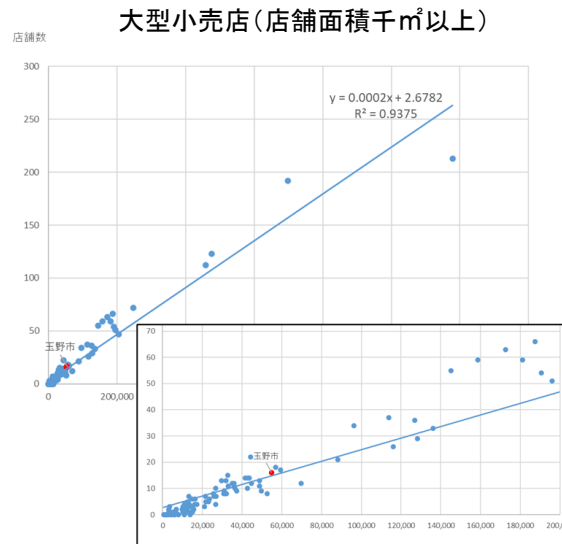


図 中国地方における都市人口と施設数の関係

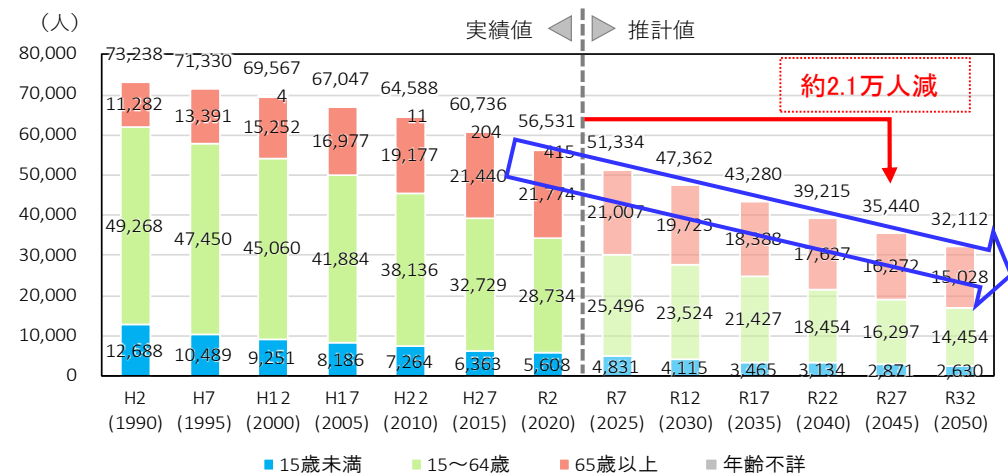


図 将来の人口見通し(全市)

出典: 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

(1) 現都市計画マスタープランの検証

■主要課題の検証

主要課題① 明確な都市構造の形成

拠点		都市機能の集積状況	アンケート調査による拠点性	(参考)PT調査による 拠点性	まとめ
都市 拠点	宇野・築港	医療施設、金融施設、商業施設の3施設の主要な施設がそろっている 加えて、その他の生活関連機能（行政、福祉、子育て、他）の主要な施設も集積	最寄り品、買回り品、医療など 外食・娯楽等を除き自地域が最多 外食・娯楽は岡山中心	買物、通院、私用（買物・通院を除く）いずれも市内全域から集客（拠点性が高い） 自地域からは通院以外自地域が最多 通院は荘内が最多	医療施設、金融施設、商業施設の3施設をはじめ、 <u>各機能の主要な施設がそろい、市内各地域から集客している</u>

現都市計画マスタープランの拠点設定

■都市拠点 宇野港から市役所周辺については、文化、医療、福祉、商業・業務、行政、交通結節などの都市機能の集積を促進し、<u>多様で高度なニーズに対応する都市サービスを提供する複合的な都市機能の充実を図り、「都市拠点」に位置づけます。</u>	都市拠点に位置付けられている宇野・築港地域は、医療施設、金融施設、商業施設の3施設をはじめ、各機能の主要な施設がそろい、市内各地域から集客していることから、都市拠点としての役割を果たしているといえる。
■地域生活拠点 各地域において、行政施設、文化・交流施設、商業・サービス施設など、日常生活における<u>地域コミュニティ機能や商業サービス機能の集積を促進し、地域の日常生活圏の拠点として、「地域生活拠点」に位置づけます。</u>	地域生活拠点は、医療施設、金融施設、商業施設の3施設が概ねそろっているものの小規模なものが中心であり、いずれも集客圏域が限定的で、岡山市への依存が顕著な地域もある（P39，40参考）。今後、一層の人口減少・高齢化が見込まれる中、 <u>地域ごとに全ての都市機能を集積促進することは難しい</u> と考えられる。現状は、地域において不足する機能を隣接する地域や都市拠点で補完している。一方、本市は <u>都市拠点から公共交通30分圏で概ね全域カバー</u> できるコンパクトな都市構造を有している（P68参照） ⇒P57参照

(1) 現都市計画マスタープランの検証

■主要課題の検証

主要課題① 明確な都市構造の形成

		拠点	都市機能の集積状況	アンケート調査による拠点性	(参考)PT調査による拠点性	まとめ
地域生活拠点	田井		医療施設、金融施設、商業施設の3施設はそろっているが、施設は2種類（医療・商業） その他の生活関連機能について、身近な施設を中心に集積	最寄り品は自地域中心 買回り品、外食・娯楽は宇野・築港と岡山 医療は自地域と宇野・築港	通院は山田、東児から集客 買物は山田から集客がみられる 行先は、いずれも宇野・築港へのトリップが最多（自地域が比較的高いが、同程度が岡山市に依存）	医療施設、金融施設、商業施設の3施設をはじめ、 <u>各機能がそろっているが、集客圏域は限定的</u> （主に東部） ただし、 <u>東部地域は岡山方面への依存度が高い</u>
	玉・奥玉		医療施設、金融施設、商業施設の3施設はそろっているが、主要な施設は2種類（金融・商業） その他の生活関連機能も主要な施設を含めて集積	最寄り品、買回り品、医療等は宇野・築港 外食・娯楽は岡山 軽スポーツ・レクリエーションは自地域	通院は自地域率が高く、玉原、荘内からも集客 買物は自地域を含めて集客力が低く、宇野・築港への依存が高い	医療施設、金融施設、商業施設の3施設をはじめ、 <u>各機能がそろっているが、集客圏域は狭く（自地域、玉原）、目的は医療が主と限定的※</u>
	和田		医療施設、金融施設、商業施設の3施設はそろっているが、主要な施設は2種類（金融・商業） その他の生活関連機能について、身近な施設を中心に集積	最寄り品、買回り品、医療等は宇野・築港 外食・娯楽は岡山（買回り品も比較的多い） 最寄り品、医療、福祉、子育て施設等は日比から集客（※日比は倉敷市への依存が高い）、最寄り品は玉原からも集客	買物、通院について、日々・渋川から一部集客 行先は、買物、私用が岡山、通院は日比・渋川、が最多	医療施設、金融施設、商業施設の3施設をはじめ、 <u>各機能がそろい、日比や玉原から一部集客しているものの、宇野・築港への依存度が高い</u>

※玉・奥玉地域はR7.1に病院が廃院

(1) 現都市計画マスタープランの検証

■主要課題の検証

主要課題① 明確な都市構造の形成

	拠点	都市機能の集積状況	アンケート調査による拠点性	(参考)PT調査による拠点性	まとめ
地域生活拠点	荘内	医療施設、金融施設、商業施設の3施設はそろっているが、主要な施設は1種類（商業） その他の生活関連機能について、身近な施設を中心に一定の集積あり ※集積地が2か所に分離（常山駅周辺と県道427沿い）市街化調整区域にも複数立地	最寄り品、医療、高齢者等福祉は自地域率が高く、最寄り品は玉原からも集客 買回り品、外食・娯楽は岡山	通院は宇野・築港、和田、東児など比較的集客している 買物、私用は少ないが広く集客している 行先は、岡山が多い	医療施設、金融施設、商業施設の3施設をはじめ、 <u>各機能がそろっているが、集客圏域は限定的（自地域、玉原ほか）で、岡山市への依存が顕著（一部倉敷市へも依存）</u>
	八浜	医療施設、金融施設、商業施設の3施設はそろっているが、主要な施設は立地無 ※集積地が2か所に分離（八浜駅周辺と県道405沿い）	いずれも岡山が最多 自地域での買い物はほぼ0で、岡山、次いで宇野・築港に依存 医療も岡山が多いが、次いで自地域	市内他地域からの集客は極めて少ない 行先は、岡山が多い	医療施設、金融施設、商業施設の3施設をはじめ、 <u>各機能がそろっているが、主要なものはなく集客圏域は限定的（自地域）で、岡山市への依存が顕著</u>
	東児・山田	医療施設、金融施設、商業施設の3施設はそろっているが、主要な施設は立地無	高齢者等福祉施設以外は岡山及び宇野・築港に依存 最寄り品は宇野・築港がやや多いが、他は岡山	市内他地域からの集客は極めて少ない 行先は、岡山が多い	医療施設、金融施設、商業施設の3施設をはじめ、 <u>各機能がそろっているが、集客圏域は限定的（自地域）で、岡山市への依存が顕著</u>

6つの地域生活拠点の内、田井及び荘内は、他の拠点に比して自地域を目的地とした移動（自地域率）がやや高い（P30参照）ものの、都市機能の集積状況や集客圏域の広がりについて大きな差異はない。（いずれの拠点も医療・金融・商業の3機能が揃っているが、集客圏域は限定的）

(1) 現都市計画マスタープランの検証

■主要課題の検証

主要課題② 都市の魅力の向上と定住環境の整備

都市整備上の主要課題	現状	検証結果
市内には市街地（集落）が分散し、その中で人口減少、少子高齢化も進展していることから、まちの活力の低下が懸念される。	人口減少、少子高齢化は継続的に進展。 下左図参	<u>いずれも解決には至っておらず</u> 、市街地の人口は今後も減少が見込まれるなど、厳しい状況が今後も継続すると見込まれる。このような中、 <u>中心市街地の活性化や低未利用地の活用促進は引き続き重要な課題といえる。</u>
商店街の衰退や中心市街地の衰退が進んでいる。	商店街や中心市街地の衰退、市街地の低未利用地の増加。 下右図参	
市街地（集落）では未利用地が生じるなど、土地利用上の問題が生じている。	市民は、人口減少・少子高齢化の進行により、玉野市において特に心配されることを防ぐために、市街地の空き家や空き地等の有効活用や公共交通ネットワークの充実等の取り組みが重要と考えている。	
生活・産業基盤の充実、地域特性に応じた定住環境の整備が必要になっている。	次頁左図参	
整備された都市施設の維持管理費の増大が懸念される。	建物系施設の維持管理・修繕費用として、年間平均して9億円程度かかっている。 次頁右図参	

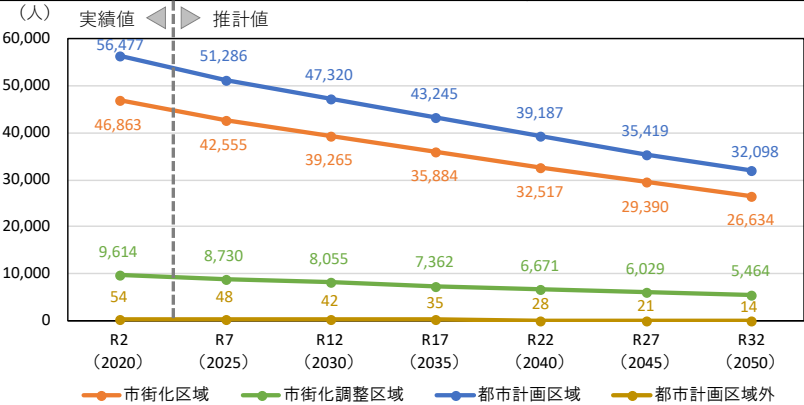


図 区域別人口の推移

出典：国土技術政策総合研究所将来人口・世帯予測ツール（R2国調対応版）



図 中心市街地の空洞化（空家の分布）の状況（○：空家）

出典：令和4年度都市計画基礎調査

(1) 現都市計画マスタープランの検証

■主要課題の検証

主要課題② 都市の魅力の向上と定住環境の整備

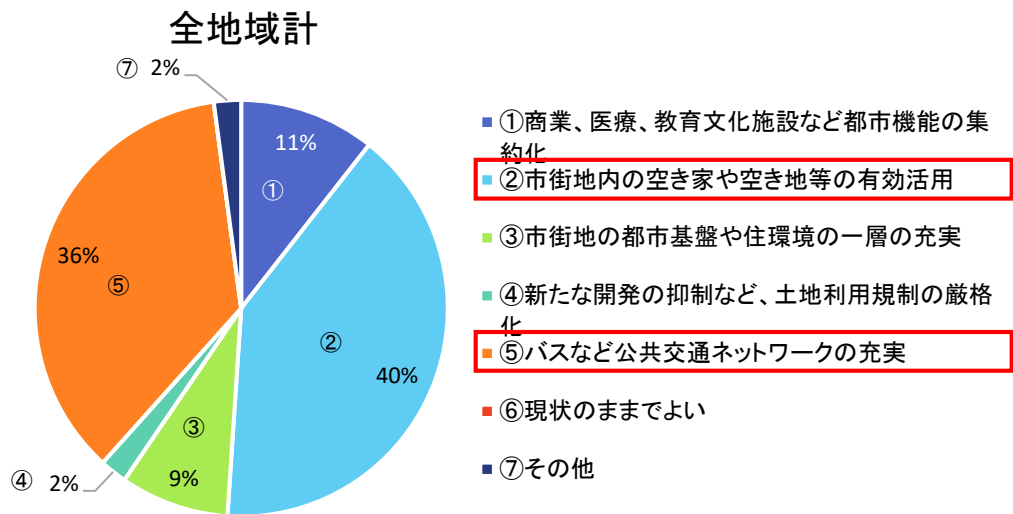


図 市民アンケート【問12】問11を防ぐために最も重要な取組

【建物系施設に係る維持管理経費の推移】 (単位：百万円)

	H29	H30	R01	R02	平均
維持管理・修繕	856	853	847	1,029	896
改修	466	552	591	1,423	575
更新等	4	7	617	959	576
合計	1,327	1,413	2,056	3,411	2,052

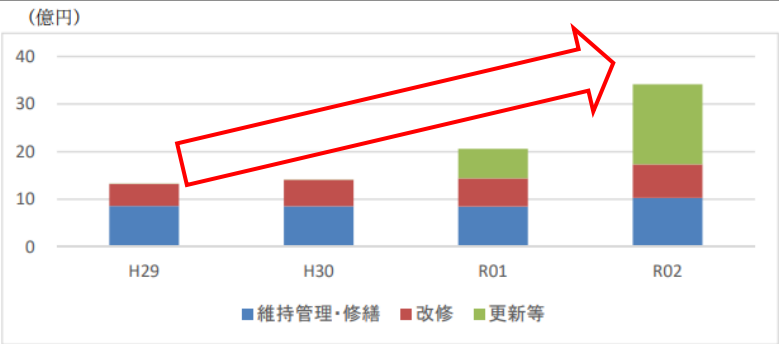


図 建物系施設に係る維持管理経費の推移
出典：玉野市公共施設等総合管理計画

(1) 現都市計画マスタープランの検証

■主要課題の検証

主要課題③ 自然や産業など玉野市の特性を活かしたまちづくり

都市整備上の主要課題	現状	検証結果
美しい景観や自然的土地利用、海浜リゾート、歴史的資源、造船業や港等、地域の特性や貴重な資源を積極的に活用したまちづくりを進めていくことが求められている。	市内に自然や歴史、産業などの多様な観光資源が分布しており、さらなる有効活用之余地がある。 下図参	地域の特性や貴重な資源を積極的に活用したまちづくりは、個性的なまちづくりや近年急速に伸びているインバウンドを含めた観光振興面においても重要な視点であり、<u>「瀬戸内の玄関口としての機能充実」(区域MP)が期待される本市において、引き続き重要な課題である。</u>



(参考) 国においては、気候変動対策や生物多様性の確保、幸福度 (Well-being) の向上等の課題解決に向けて、都市において緑地の質・量両面での確保等を推し進めるため、令和6年11月「都市緑地法等の一部を改正する法律」を施行

図 児島・玉野観光マップ 出典: 玉野市HP

(1) 現都市計画マスタープランの検証

■主要課題の検証

主要課題④ 安心・安全のまちづくり

都市整備上の主要課題	現状	検証結果
住工混在地や各集落地では、道路が狭く建物が密集していることから、火災や建物の倒壊による危険性が危惧される。	耐震基準を満たさない老朽住宅や空き家等が増加。 次頁左図参	自然災害が激甚化、頻発化し、各地で甚大な被害が発生している。加えて、自然災害は、南海トラフ地震の発生確率が2025年1月1日時点で30年以内に80%程度とされるなど、 <u>安全・安心のまちづくりの重要性が一層高まっているため、安全な住環境の整備は引き続き取り組むべき課題である。</u>
全国で自然災害が頻発していることから、災害に強い（減災）まちづくりが要請される。	平成30年7月豪雨により、全壊 2戸、半壊 2戸、一部損壊 11戸、床下浸水18戸の被害が発生。 市民アンケートでは、市街地におけるハザードエリアでは、新規の開発や建築を抑制すべきとの意見が多数を占めている。 次頁右図参	
地域の住民が主体となる自主防災組織の活動が求められている。	本市は「自主防災組織づくりの手引き」を発行し、「災害に強い安全なまちづくり」につながる自主防災組織づくりの啓発を行うとともに、「防災マップ」を作成する自主防災組織に対して、その作成費用を補助するなど、活動の支援を行っている。	

（参考）国においても、東日本大震災の教訓を踏まえて、平成25年12月「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」を施行し、国土強靱化計画の策定を推進した。また、令和3年7月、高度利用地区や地区計画等における規制緩和等の要件として、避難施設、避難路など安全・安心のまちづくりへの貢献度を評価対象に追加するなど、民間活力を活用した安全な市街地整備の促進に注力

(1) 現都市計画マスタープランの検証

■主要課題の検証

主要課題④ 安心・安全のまちづくり

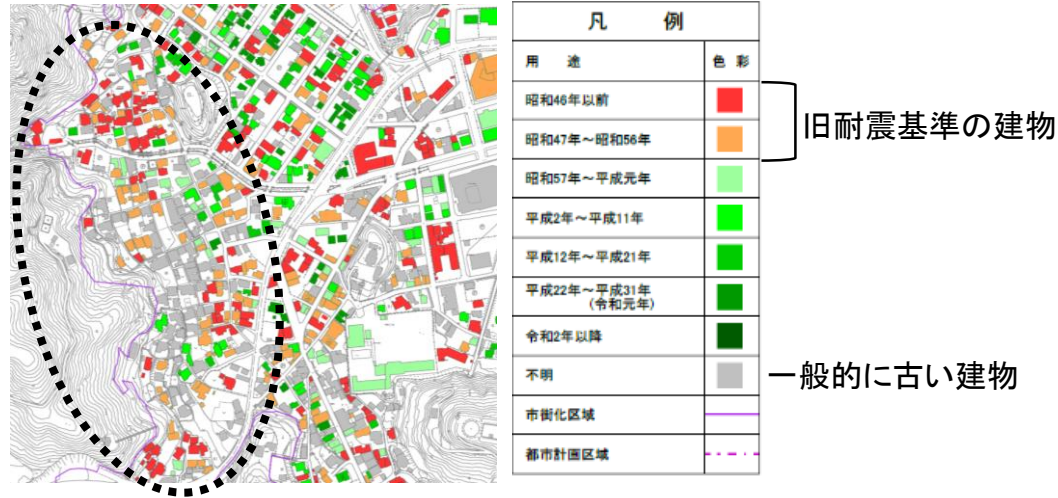


図 狭隘道路と新耐震基準(昭和56年)以前及び
建築年次不明の建築が密集する状況

出典: 令和4年度都市計画基礎調査

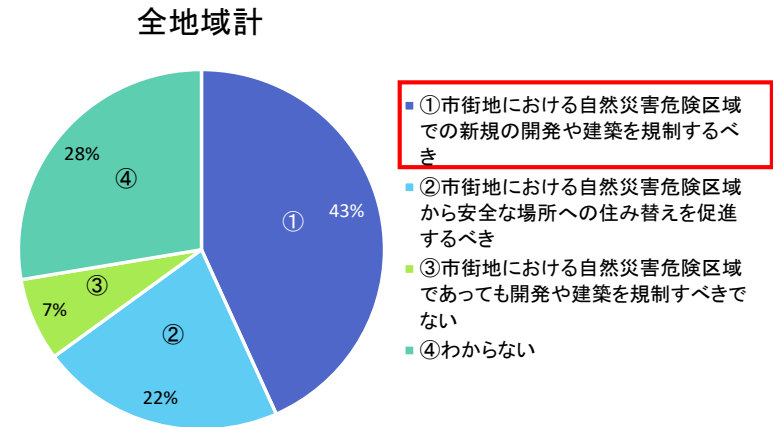


図 市民アンケート【問13】ハザードエリアでのまちづくり

(1) 現都市計画マスタープランの検証

■主要課題の検証

主要課題⑤ 地域住民との協働によるまちづくり

都市整備上の主要課題	現状	検証結果
今後のまちづくりにあっては地域住民、行政、及び関連団体との協働により、施設の維持管理、防災組織の強化等各方面での活動が重要になっている。	本市では、平成22年9月「玉野市協働のまちづくり基本条例」を定め、「玉野市協働のまちづくり事業」により、市民協働による地域の活性化と特色ある地域づくりを推進している。 下左図参 市民アンケートでは、地域のまちづくりに対して、「自分でやれることがあれば協力したい」という意向が強く、求められれば協力したいとの意向も含め、大半が協力的である。 下右図参	近年、 <u>協働によるまちづくり</u> は、施設の維持管理や防災組織の強化等に加え、都市再生特別措置法等に基づく公共空間の利活用に関する規定の弾力化などの取り組みも活発になり、 <u>より重要性を増している。</u> 自分が住んでいる地域のまちづくりなど、 <u>身近なまちづくりに対する参加が、安全なまちづくりや地域の魅力づくりを図るうえで重要である。</u>

5 対象となる市民活動の具体例は？

①社会福祉活動

＜事例：親子遊び事業＞
申請団体：〇ムボランティア
事業内容：核家族化が進み、子育ての相談相手が減っている中で、昔ながらのおもちゃ遊びや工作、親子体操、育児相談を通じて子育て世代をサポートする事業
補助経費：会場使用料、講師に支払う謝礼など

②地域活動の活性化

＜事例：つながりづくり事業＞
申請団体：〇ムコミュニティ協議会
事業内容：耕作放棄地を利用して、どろんこ遊びや農作物作り、草刈り練習会、イベントを実施
幼児～高齢者までが交流しながら、地域活動への参画、活性化に繋げる事業
補助経費：消耗品費、イベント保険など

③地域の歴史調査

＜事例：歴史資産の掘り起し事業＞
申請団体：〇ム研究会
事業内容：地区の歴史に詳しい住民を中心に“まち歩き”を行い、地図や冊子を作成。
作成した冊子などを活用して、地元の子ども達と親世代、祖父母世代と一緒に地区の歴史について再認識する事業
補助経費：消耗品費、印刷費など

公共用地保全事業

市が所有する遊休地＊を保全する活動に対する補助制度です。
◆遊休地とは…一般的に「何にも利用されていない土地、今後利用の予定がない土地」とされており、道路整備等で生じたいわゆる「残地」など、市が利用することを前提としていない土地のことをいいます。
※道路の植込み、公園、河川、港湾、緑地、土地の法面など、市が利用し、又は利用を予定している土地は遊休地ではありません。
※保安林は原則対象外です。

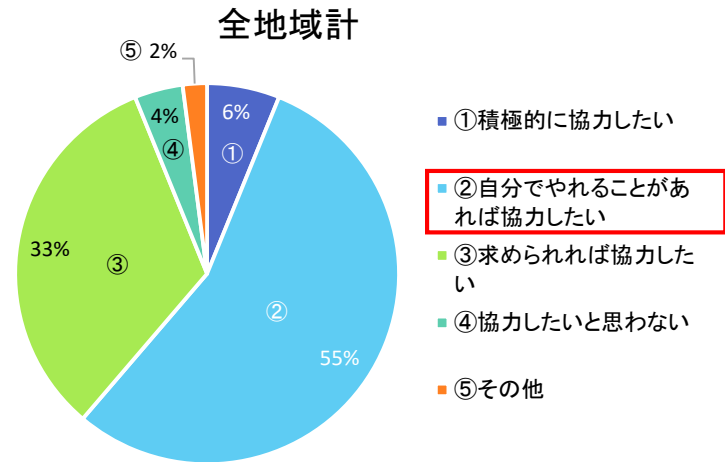


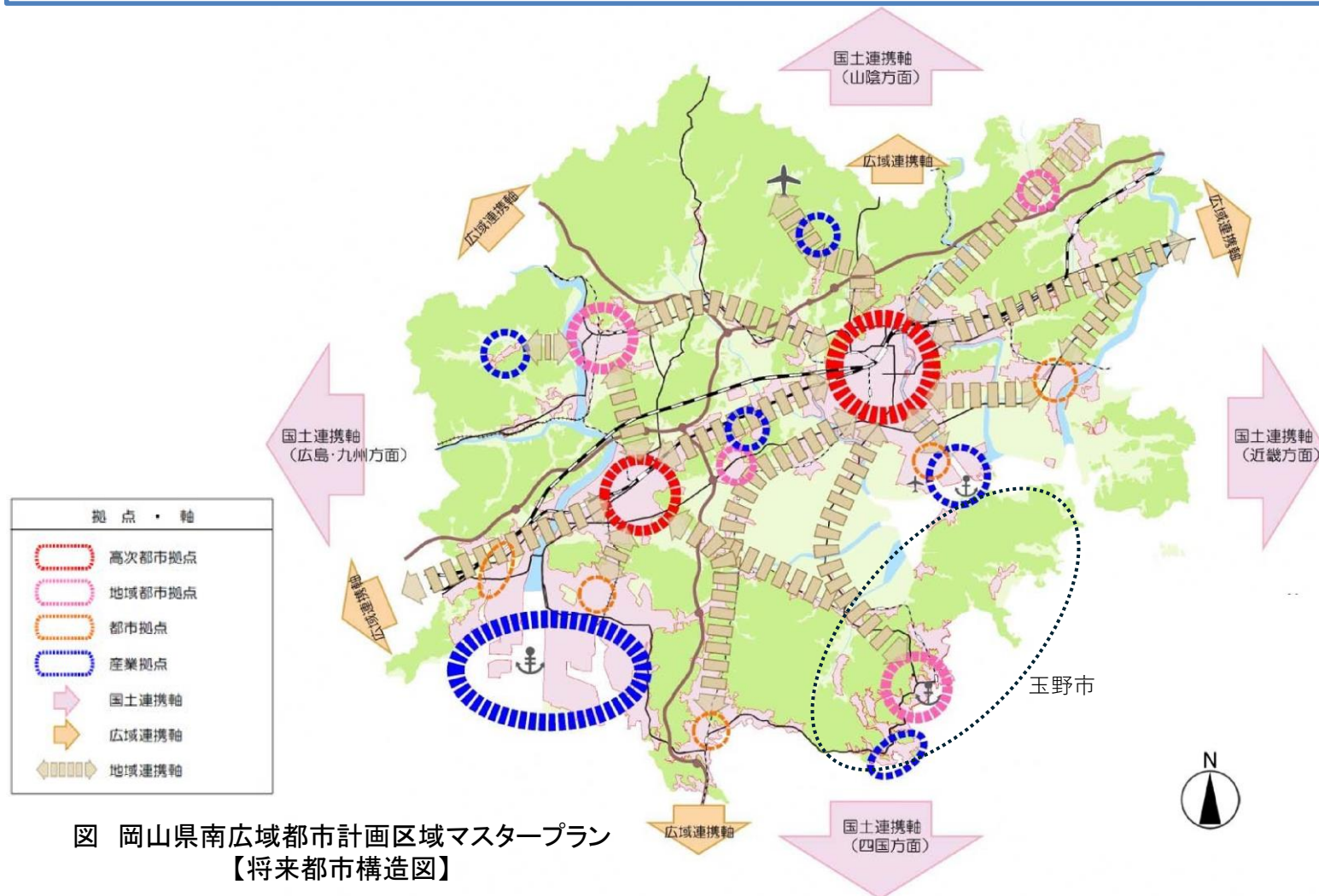
図 市民アンケート【問15】地域のまちづくりへの協力

(2) 玉野市の都市づくりに係る上位計画

岡山県南広域都市計画区域マスタープラン(R2年4月)

【玉野地域の市街地像】

- 本州と四国を結ぶ海上交通の要衝となっている玉野市は、既存の商業集積だけでなく観光資源等を生かし、**中心市街地の活性化**を図る。
- 地域の基幹産業となっている造船産業の操業環境の向上を促進し、**活力のあるまちづくり**を推進する。
- 海等の豊かな自然と港等を活用し、多様な人々がふれあう**交流拠点、瀬戸内海の玄関口としての機能充実**に努める。



(2) 玉野市の都市づくりに係る上位計画

玉野市総合計画2023(R5年4月)

【将来像】

「誰もが行ってみたい、住み続けたいまち ～たまので育つ、TAMANOが育つ～」

【まちづくりの基本方針】

- ・希望をもって安心して子育てできるまち【結婚・出産・子育て】
- ・心豊かな人生がおくれる文化が薫るまち【教育・文化・スポーツ】
- ・住み慣れた地域で、健康で元気に暮らせるまち【健康・福祉】
- ・自ら備え、支え合い、助け合う、安全安心のまち【安全・安心】
- ・来て、見て、住みたい、にぎわいあふれるまち【産業・観光】
- ・**美しい自然と快適な都市機能を未来につなぐまち【生活環境・都市基盤】⇒都市マスに関連の強い基本方針**
- ・みんなで創る一人ひとりの個性と能力が輝くまち【市民参加】
- ・市民から信頼され、時代のニーズに応える持続可能なまち【行政運営】

- ・安全で安心して暮らせる生活環境の保全

・安全で快適な生活空間の確保

- ・交通基盤の充実
- ・上・下水道施設の機能維持と効率的な運営管理
- ・ごみ処理施設と斎場・霊園の適正な運営

【目指すまちの姿】

都市機能が充実した良質な生活空間を確保します

【基本方針】

- ・市街地の拡散を抑制し、道路・公園などの都市基盤の質の維持を図るとともに、複数の拠点が公共交通を軸に連携するコンパクトシティの形成により、中心市街地と各生活拠点において都市空間の維持・向上を図ることで、快適で活力ある都市空間づくりを目指します。

(3) 都市整備上の主要課題

都市整備上の主要課題 現都市マス

- 主要課題① 明確な都市構造の形成
- 主要課題② 都市の魅力の向上と定住環境の整備
- 主要課題③ 自然や産業など玉野市の特性を活かしたまちづくり
- 主要課題④ 安全・安心のまちづくり
- 主要課題⑤ 地域住民との協働によるまちづくり

都市の現状

- 令和27（2045）年までの今後25年間で、人口が4割近く減少し、高齢化率が46%に達すると推計。
- 人口減少の要因は自然減（出産－死亡）に加え社会減（転入－転出）も顕著。
- 市街化区域内の人口密度が26.5人/haと低く、人口集中地区が大きく縮小。
- 市民の移動手段は自家用車が主で、公共交通利用率が低い。

都市整備上の主要課題 改定案

主要課題① 人口減少に対応した持続可能な都市構造の形成促進

- 人口減少・高齢化の進行を前提としたまちづくりを推進する必要がある。
- 過度に車に頼らずに生活することが可能なコンパクト・プラス・ネットワーク型都市構造の形成を推進する必要がある。
- 広域都市計画区域に属していることを踏まえ、隣接する岡山市等との連携にも留意する必要がある。
- コンパクト・プラス・ネットワーク型都市構造の実現は、ゼロカーボンシティ宣言都市である本市の二酸化炭素の排出削減に繋がる施策でもあることから、庁内一丸となって取り組む必要がある。

(3) 都市整備上の主要課題

都市整備上の主要課題 現都市マス

- 主要課題① 明確な都市構造の形成
- 主要課題② 都市の魅力の向上と定住環境の整備
- 主要課題③ 自然や産業など玉野市の特性を活かしたまちづくり
- 主要課題④ 安全・安心のまちづくり
- 主要課題⑤ 地域住民との協働によるまちづくり

都市の現状

- 人口1人当たりの年間小売業販売額が県平均の6割程度と少ないことから、玉野市民は4割程度の商品を市外で購入していると推察。
- 製造業は、造船業を中心として県内屈指の出荷額を有しているが、工場用地の拡張等の余地が乏しい。
- 年間250万人の観光客の入込があるものの、全国的な知名度を有する観光資源が乏しい中、「地域・日本の新たなレガシー形成事業」（観光庁所管）に採択され、アートと産業による観光振興によるインバウンドを含めた幅広い集客を目指している。

都市整備上の主要課題 改定案

- **主要課題② 都市の活力の維持・創出に資する土地活用・市街地整備の推進**
- 小売業に関しては、岡山市等に依存しつつも、食料品等の最寄り品については、市内の身近な場所で購入できるよう、維持・集約を図る必要がある。
- 地域経済の維持や活性化のため、多様な企業の誘致が可能な企業用地の確保について検討が必要である。
- 空家の利用促進や市街地内の低未利用地の有効活用を図ることが必要である。
- 観光について、近隣市町とのネットワーク化を図るとともに、公民が連携して、本市の自然環境や歴史的資源等の保全や、市街地の魅力づくり等に取り組む必要がある。
- アートと産業による観光振興等、新たな観光資源を活かしたまちづくりが期待される。

(3) 都市整備上の主要課題

都市整備上の主要課題 現都市マス

- 主要課題① 明確な都市構造の形成
- 主要課題② 都市の魅力の向上と定住環境の整備
- 主要課題③ 自然や産業など玉野市の特性を活かしたまちづくり
- 主要課題④ 安全・安心のまちづくり
- 主要課題⑤ 地域住民との協働によるまちづくり

都市の現状

- 公共下水道や都市公園等の整備水準は高く、県内でもトップクラス。
- 財政が厳しい中、今後は既存の都市施設の維持・更新等の費用が増加する見通し。
- 公共交通は、鉄道、路線バス、シーバス（コミュニティバス）、シータク（デマンドタクシー）により市域をカバーし、岡山駅方面との運行頻度は比較的高い。
- 公共交通の利用者数は総じて少なく、通勤通学者の移動手段は、自家用車が68.4%を占め、鉄道と乗り合いバスを合わせて7.5%と低い。

都市整備上の主要課題 改定案

主要課題③ 都市施設・公共交通の適正化及び有効活用の推進

- 公共施設等は、今後、大規模修繕等の維持・管理が継続的に必要となることから、将来の需要を見据えた適正配置や長寿命化等が一層重要になる。
 - 都市施設はすでに十分な整備水準に達していることから、今後は大規模自然災害等も念頭に置いた維持・管理や適正配置に加え、民間活力等を活用しつつ既存ストックの有効活用を図る必要がある。
- ※玉野市公共施設等総合管理計画では、「平成68年度末時点における建物系施設の総延床面積を平成26年度末との比較で36%削減（約99千㎡削減）を目指す」としている。
- 公共交通は、玉野市地域公共交通計画に即し、交通事業者等と連携・協力を図りながら、現状の利便性の維持・向上とともに、利用促進を図ることが必要である。

(3) 都市整備上の主要課題

都市整備上の主要課題 現都市マス

- 主要課題① 明確な都市構造の形成
- 主要課題② 都市の魅力の向上と定住環境の整備
- 主要課題③ 自然や産業など玉野市の特性を活かしたまちづくり
- 主要課題④ 安全・安心のまちづくり
- 主要課題⑤ 地域住民との協働によるまちづくり

都市の現状

- ・ 近年、気候変動に伴い自然災害が激甚化・頻発化しており、本市でも、平成30年豪雨により多大な建物被害が発生。
- ・ 市街地縁辺部を中心に土砂災害警戒区域が分布し、市街地の多くのエリアに高潮浸水や液状化等のハザードエリアが分布。
- ・ 市民アンケートでは、ハザードエリアでのまちづくりについて「市街地における自然災害危険区域での新規の開発や建築を規制するべき」との意見が最多。

都市整備上の主要課題 改定案

主要課題④ 安全な市街地の形成に向けた取組みの加速

- ・ ハザードエリアにおける新たな市街化の抑制等、土地利用規制の見直しや厳格化が必要である。
- ・ ハザードマップの市民への一層の周知や市民によるハザード点検等、住民参加による防災まちづくりの取組みを促進することが必要である。
- ・ 30年以内に80%程度の発生確率とされる南海トラフ大地震等に備え、建築物や構造物等の耐震化や避難ルートの確保等、防災・減災の観点から都市の安全対策を検討するとともに、大規模災害発生後、災害に対して脆弱な市街地の再建等を防止するための手順についても、検討が必要と考えられる。(下図参照)

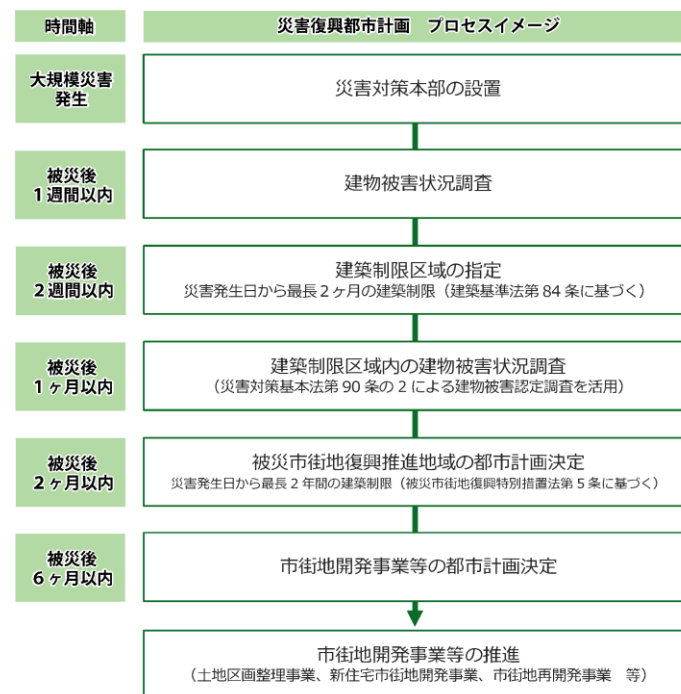


図 災害復興都市計画のプロセスイメージ

出典：山口県美祿市都市計画マスタープラン

(3) 都市整備上の主要課題

都市整備上の主要課題 現都市マス

- 主要課題① 明確な都市構造の形成
- 主要課題② 都市の魅力の向上と定住環境の整備
- 主要課題③ 自然や産業など玉野市の特性を活かしたまちづくり
- 主要課題④ 安全・安心のまちづくり
- 主要課題⑤ 地域住民との協働によるまちづくり

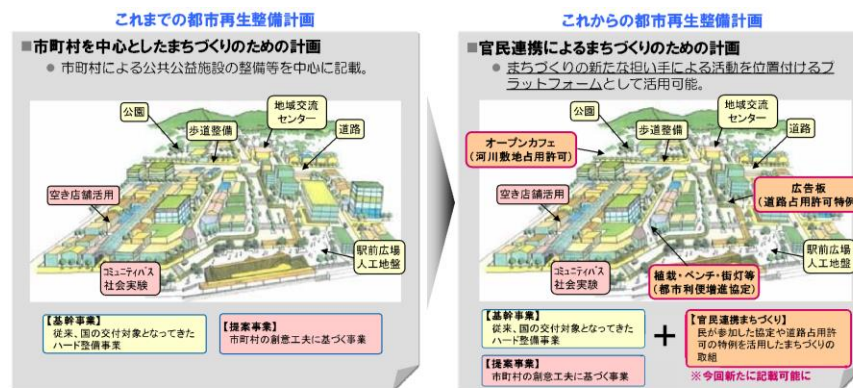
都市の現状

- 玉野市協働のまちづくり事業により、住民と行政の協働による地域の活性化と特色ある地域づくりを目指し、市内の自治会・町内会やNPO・ボランティア団体などが行う社会貢献活動に対して財政的な支援と伴走支援を実施。

都市整備上の主要課題 改定案

主要課題⑤ 多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進

- まちづくりの課題が多様化する中、玉野市協働のまちづくり事業の積極的な活用が引き続き期待される。
- 都市再生特別措置法等に基づく公共空間の利活用に関する規定の弾力化等を契機とした、多様な主体との協働・連携によるまちづくりの推進が期待される。(下図参照)



(手引き P.13)

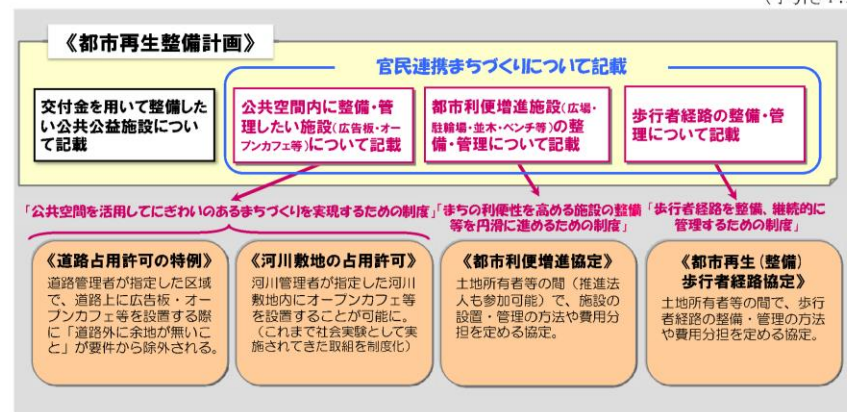


図 都市再生整備計画における官民連携まちづくりの支援の変化

(4) 都市づくりの理念

《将来都市像》

「誰もが行ってみたい、住み続けたいまち ～たまので育つ、TAMANOが育つ～」…総合計画より引用
…都市機能が充実した良質な生活空間の確保… ……追記

海・港・アートといった本市が誇る地域資源を再認識した上で、子育てのしやすい環境の整備（人を育てる）や様々な学びの場の充実（学校教育・生涯学習など人が育つ）など、「人が育つ」まちづくりを進めるとともに、玉野に愛着を持つ人を増やし（愛着のある人を育てる）、まちの活性化につなげることで、みんなでまちを育てていきます。

「まちが人を育て、人がまちを育てる。」そうした好循環を生み出し、誰もが見てみたい、行ってみたい、いつまでも住み続けたいと感じられる、将来にわたって魅力的なまちであり続けることを目指します。

一方、本市は、市制施行以降合併を経て市域を形成してきたことや、山地が多い地形上の制約等から、市街地が分散しています。**居住や都市機能の集積により市街地の拡散を抑制し、道路・公園などの都市基盤の質の維持を図るとともに、複数の拠点が公共交通を軸に連携する「コンパクト・プラス・ネットワーク型都市構造」の形成により、若者や子育て世代が住みたいと思い、将来にわたって住み続けることができる便利で快適な都市づくりを目指します。**

分野共通の内容として
総合計画より引用

都市計画に関する内容として追記

(5) 都市づくりの基本目標

都市づくりの基本目標 現都市マス	見直し方針	都市づくりの基本目標 改定案
基本目標(1) 快適に暮らせる身近な生活圏と都市構造づくり	人口減少、高齢化の進行により、ますます重要性が増す目標であることから、踏襲する。	基本目標(1) 快適に暮らし続けることができる都市構造づくり 人口減少及び高齢化が進む中、市民の日常生活を支えるサービス施設を維持するため、既存のコミュニティを踏まえつつ、すべての市民が多様な都市サービスを享受し、快適に暮らし続けることができるよう、将来人口を踏まえた都市拠点やコミュニティ拠点の維持・向上を目指します。 また、都市拠点と各拠点が公共交通を軸に連携するコンパクトシティの形成により、誰もが多様なニーズに対応する都市サービスを受けることができ、快適に暮らせる都市構造づくりを目指します。
基本目標(2) 生活・産業基盤が整った活力ある都市づくり	本市の都市基盤の整備水準は相対的に高く、一方で、市街地人口の減少が見込まれる中、今後は整備、充実の視点よりも、ストックの有効活用の視点がより重要となることから、「都市基盤等、既存ストックを活かした持続可能な都市づくり」に変更し、内容をタイトルに合わせて一部修正する。	基本目標(2) 都市基盤等、既存ストックを活かした持続可能な都市づくり 港湾や幹線道路等の産業基盤を活かし、製造業をはじめ、商業、農業等の振興を図るとともに、産業と観光の連携等を図り、産業基盤の一層の有効活用の推進を目指します。 さらに、鉄道・バスなどの陸上交通と、フェリーや大型客船バースなどの海上交通の結節点という立地条件を活かし、海の玄関口としての交通ターミナル機能の強化を図ります。 また、コンパクト・プラス・ネットワーク型都市づくりの考え方にに基づき、既存の都市施設や都市機能の集積を活かすとともに、適正配置を推進し、持続可能な都市づくりを目指します。

(5) 都市づくりの基本目標

都市づくりの基本目標 現都市マス	見直し方針	都市づくりの基本目標 改定案
基本目標(3) 瀬戸内海の自然・文化・風土を活かす環境都市づくり	自然や文化を活かすことは、本市の都市づくりにとって引き続き重要であることから、踏襲する。	基本目標(4) 瀬戸内の自然・文化・風土を活かした都市環境づくり 美しい瀬戸内海の自然環境、資源、景観、これと調和する緑豊かな山々の森林、市民に親しまれている海岸を守り育てることを目指します。 また、これらの資源を市民が再認識し、臨海のまちとして個性をはぐくむ環境都市づくりを目指します。 さらに、交通の結節点という地理的条件と、恵まれた瀬戸内の資源や産業資源を有効に活用し、活力ある産業、文化をはぐくみ、人々が行き交う活気あるまちの創造を目指します。
基本目標(4) 安全で災害に強い都市づくり	自然災害の激甚化、頻発化が顕在化してきたことから、安全で災害に強い都市づくりの重要性がますます高まっていることから、踏襲するとともに、順位を繰り上げ、内容を一部修正する。	基本目標(3) 安全で災害に強い都市づくり 甚大化、頻発化する自然災害に備えて、ハザード情報の一層の普及・啓発を図るとともに、ハザードエリアにおける新たな開発の抑制や、住宅、主要公共建築物などの不燃化、耐震化の促進、自然災害に対応できる治山・治水及び津波対策の充実など、甚大な被害を回避、軽減するための事前の防災・減災対策の推進を目指します。 また、有事に備えて、救援物資の輸送、復旧応援等の対応のため広域連携の強化を図るとともに、災害対策本部や救助活動の拠点となる施設及び体制の機能強化、避難路、避難地の確保により災害に強い都市づくりを目指します。
基本目標(5) 協働による個性を活かした都市づくり	- 市民や企業との協働は引き続き重要な視点であることから、踏襲する。 - ただし、都市づくりが、行政主導からパードナiership型に変わりつつあるなど、都市づくり全般において「協働」の必要性が高まっていることを踏まえ、「個性を活かした」を削除し、内容も修正する。	基本目標(5) 協働による都市づくり 都市づくりにおいて、行政だけでできることには限界があり、市民や企業の果たす役割が重要であるとの認識を共有し、市民や企業と行政がパートナーシップを築き、地域の課題を解決したり、まちの魅力や賑わいを創出したりする協働のまちづくりの推進を目指します。

（6）将来都市構造

都市機能の立地状況、市民の日常生活の移動状況、将来人口（人口密度）見通しを勘案して改定案を作成。

見直しの背景		改定案
急速に人口減少が進んでいることから、現都市マスで掲げる将来都市構造のように、都市拠点の他、6つの地域生活拠点を維持し、地域ごとに暮らしやすい生活に必要な様々な都市機能を集積促進することが困難になっている。 【現都市マス：地域生活拠点】各地域において、行政施設、文化・交流施設、商業・サービス施設など、日常生活における地域コミュニティ機能や商業サービス機能の集積を促進し、地域の日常生活圏の拠点として、「地域生活拠点」に位置づけます。	⇒	6つの地域生活拠点は、都市拠点と公共交通により結ぶネットワークの拠点として一定の人口を維持することで、暮らしやすい生活圏域の形成に不可欠な都市機能を維持するとともに、近隣地域と相互に必要な機能を補完し合う「コミュニティ拠点」と位置付ける。 ※コミュニティ拠点の位置についてはP58, 59参照
市民の移動先として岡山市が多く、市域を跨いだ生活圏が形成されている。一部の主要な都市機能においては岡山県南都市計画区域の中枢都市である岡山市に依存している。	⇒	以下の理由により県南広域都市計画区域における連携軸として重要であることから、岡山県道45号（岡山玉野線）を広域連携軸に設定する。 ・ 地域と都市拠点を公共交通で接続するコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを目指していること。 ・ 広域的な公共交通として鉄道のほか、路線バスが重要な役割を果たしていること。 ・ 路線バスとして運行頻度が高い路線が岡山玉野線であること。 ・ 岡山中心部と都市拠点である岡山市岡南、地域都市拠点である玉野市宇野を直結している路線であること。 ・ 広域路線であるとともに、玉野市を北南に縦断している路線であり地域と宇野周辺を接続する路線としての効果もあること。など
市街化区域内の拠点に都市機能を集約することを目指すことから、市街化調整区域への都市機能の立地は望ましくない。	⇒	人口減少下において、コンパクト・プラス・ネットワーク型都市構造の実現を目指すために、市街化調整区域の沿道サービスゾーンを廃止する。

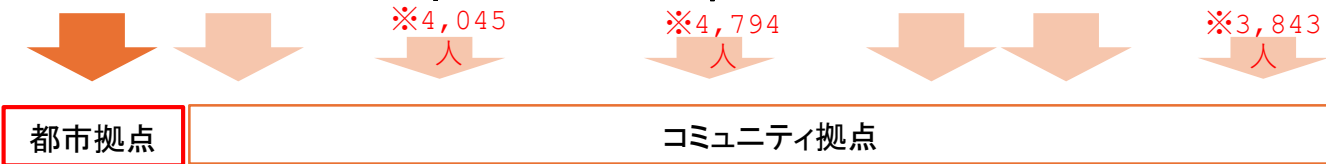
(6) 将来都市構造

- ・地域別将来人口(2045)では、玉・奥玉地域、玉原地域、和田地域、日比・渋川地域、山田地域、東児地域が3,000人を下回る見込み。
- ※コンビニが立地するための圏域人口が3,000人程度といわれており(P70参照)、上記地域ではコンビニの維持が困難と予測される。
- ・また、玉原地域には金融施設なし、山田地域には商業施設及び医療施設なし、など、生活に必需といわれている3機能が揃っていない地域がある。

・将来人口及び現状の都市施設の立地状況を踏まえ、「玉・奥玉地域＋玉原地域」、「和田地域＋日比・渋川地域」、「山田地域＋東児地域」をそれぞれ統合した6地域(都市拠点の宇野・築港を除く)をコミュニティ拠点に位置付ける。

地域別将来人口・都市施設

施設(大分類)	施設(小分類)	市全域		宇野・築港地域		田井地域		玉・奥玉地域		玉原地域		和田地域		日比・渋川地域		荘内地域		八浜地域		山田地域		東児地域	
		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)		(うち市街 化区域)	
人口	地域人口(2020)	56,477		7,611		7,313		3,511		3,905		4,119		4,050		14,172		5,353		2,760		3,683	
	将来地域人口(2045)	35,418		4,523		5,075		1,756		2,289		2,610		2,184		9,393		3,745		1,726		2,117	
商業施設	大規模小売店舗(店舗面積千㎡超)	16	16	8	8	2	2	1	1	0	0	1	1	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0
	スーパーマーケット	4	4	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	コンビニ	19	16	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	5	3	3	2	0	0	1	1
	その他の小売店舗	10	9	2	2	1	1	3	3	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0
	(小計)	49	45	17	17	5	5	5	5	2	2	2	2	3	3	10	8	3	2	0	0	2	1
医療施設	病院(救急告示)	3	3	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病院	4	4	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	診療所	35	30	9	9	3	3	3	3	0	0	3	3	1	1	12	10	2	1	0	0	2	0
	歯科診療所	30	28	10	10	2	2	2	2	2	2	3	3	1	1	6	6	2	1	0	0	2	1
	調剤薬局	36	34	13	13	6	6	2	2	1	1	3	3	2	2	7	6	1	1	0	0	1	0
	(小計)	108	99	36	36	13	13	7	7	3	3	9	9	5	5	25	22	5	3	0	0	5	1
金融施設	銀行	6	6	3	3	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	信用金庫	5	4	3	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	JAバンク	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
	郵便局	14	11	3	3	1	1	2	2	0	0	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	0
	(小計)	27	23	9	9	1	1	5	5	0	0	2	2	1	1	4	2	1	1	1	1	3	1



※2地域合計の将来人口

(6) 将来都市構造

《将来都市構造図》

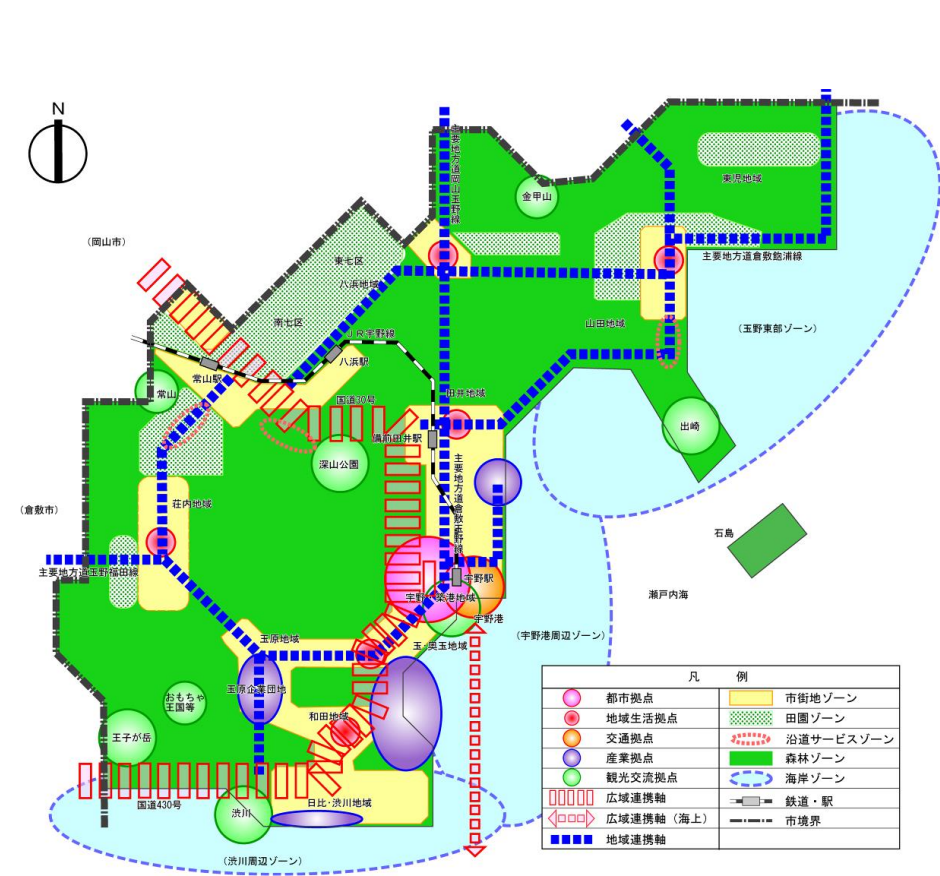


図 現都市マス 将来都市構造図

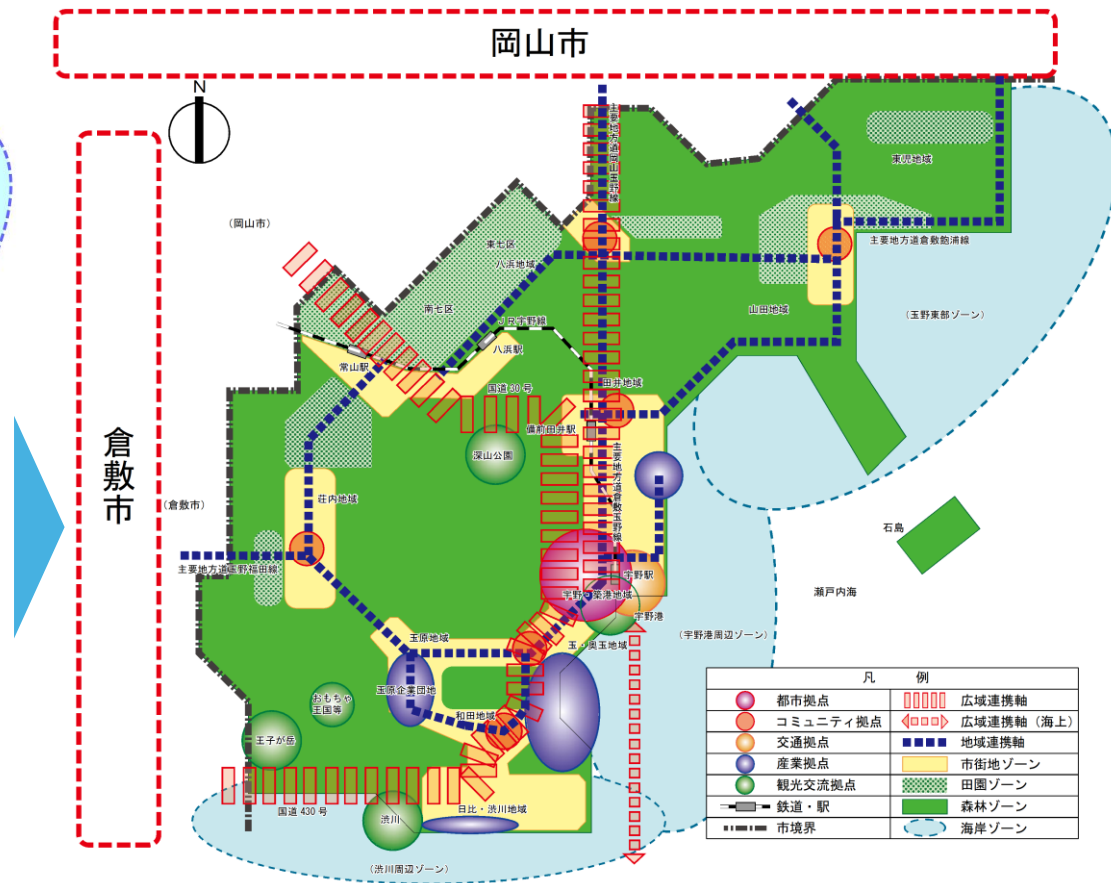


図 改定案 将来都市構造図

都市拠点 + 6つの地域拠点 → 都市拠点 + 6つのコミュニティ拠点

(6) 将来都市構造 ≪拠点・ネットワークの考え方≫

種 類		考 え 方	該 当 地 区 等
拠 点	都市拠点	多様で高度な市民ニーズに対応する都市サービスを提供する複合的な都市機能の充実を図り、都市基盤や交通基盤の充実を図ることで、全市民の生活を支えるとともに、都市の活性化をけん引する本市の顔となる拠点	宇野・築港地域(市役所周辺)
	コミュニティ拠点	都市拠点と公共交通で結ばれ、暮らしやすい生活圏域の形成に不可欠な都市機能を維持するとともに、近隣地域と相互に必要な機能を補完し合う拠点	田井地域、玉・奥玉・玉原地域、和田・日比・渋川地域、荘内地域、八浜地域、東部(山田・東児)地域
	産業拠点	本市の産業振興・経済活性化を支え、就業促進の拠点として、臨海工業地や企業団地を位置づける	玉地区・田井地区・日比地区の臨海工業団地、玉原企業団地
	観光交流拠点	インバウンドの促進も視野に、本市の自然を活かした観光・交流を促進する拠点	深山公園、渋川海岸、王子が岳、他
ネッ ト ワ ー ク	広域連携軸	行政区域を超えた広域的な交通・物流・交流を支えるネットワーク	
	地域連携軸	市民の日常生活における地域間の交通・交流を支えるネットワーク	
ゾ ー ン	市街地ゾーン 田園ゾーン 沿道サービスゾーン 森林ゾーン 沿岸ゾーン	現都市マスを踏襲 ただし、沿道サービスゾーンは廃止(理由:拠点に都市機能を集約するため)	

議事④都市づくりの方針 【立地適正化計画】

- (1)人口密度維持の考え方
- (2)都市機能の誘導の考え方
- (3)公共交通の充実の考え方

（１）人口密度維持の考え方

- ・本市の市街化区域の人口密度は令和2年国勢調査ベースで26.5人/ha。
- ・工業系用途地域（工業専用地域、工業地域）を除外した場合（面積：1,463ha）でも31人/ha。
- ・市街化区域に占めるDID面積は35%。
- ・いずれも岡山県南広域都市計画区域内で最も低い水準である（早島町はDIDなし）。

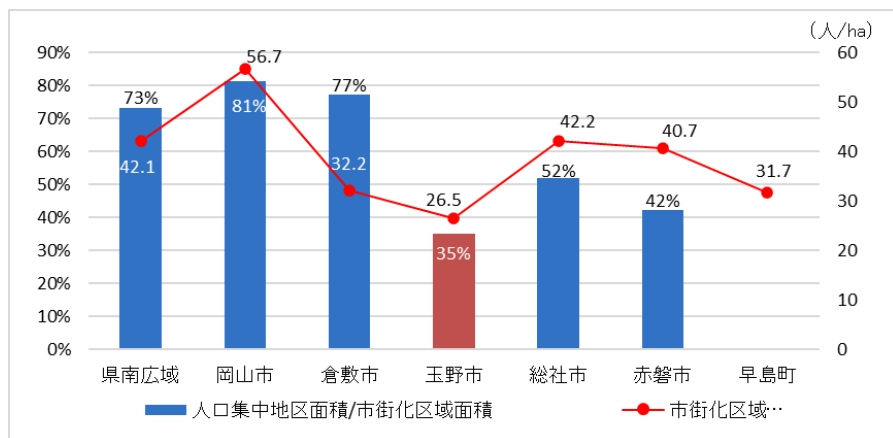


図 岡山県南広域都市計画区域の人口密度、他(令和2年国勢調査ベース)

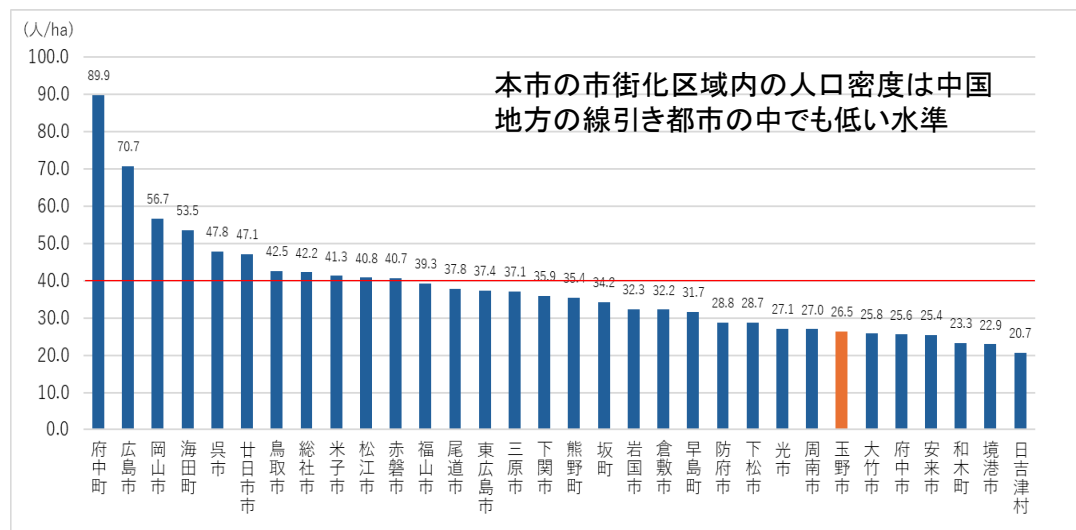


図 中国地方の整備既都市の人口密度、他(令和2年国勢調査ベース)

令和27年（2045年）には、市街化区域内の人口が約4割減少すると見込まれることから、現在の市街化区域全体で人口密度を維持することは不可能である。このため、人口密度を維持、又は減少を抑制するエリアを設定し、人口減少下にあっても生活サービスやコミュニティが持続的に確保される市街地の維持を図る必要がある。⇒居住誘導区域の設定

※居住誘導区域の人口密度維持の考え方:工業系用途地域(工業専用地域、工業地域)を除外した市街化区域の現状人口密度:31人/haを維持

（理由：市街化区域内人口が、今後25年間で約4割減少見込み。その中であって、公共交通及び都市施設を維持するため、現在人口密度を維持するエリアを設定する。なお、市街化区域面積に対する可住地面積割合が67%（1,187.5/1,769 R5都市計画基礎調査）であり、これに基づくと、31人/haは可住地面積ベースで約46人/haに相当する。）

（１）人口密度維持の考え方

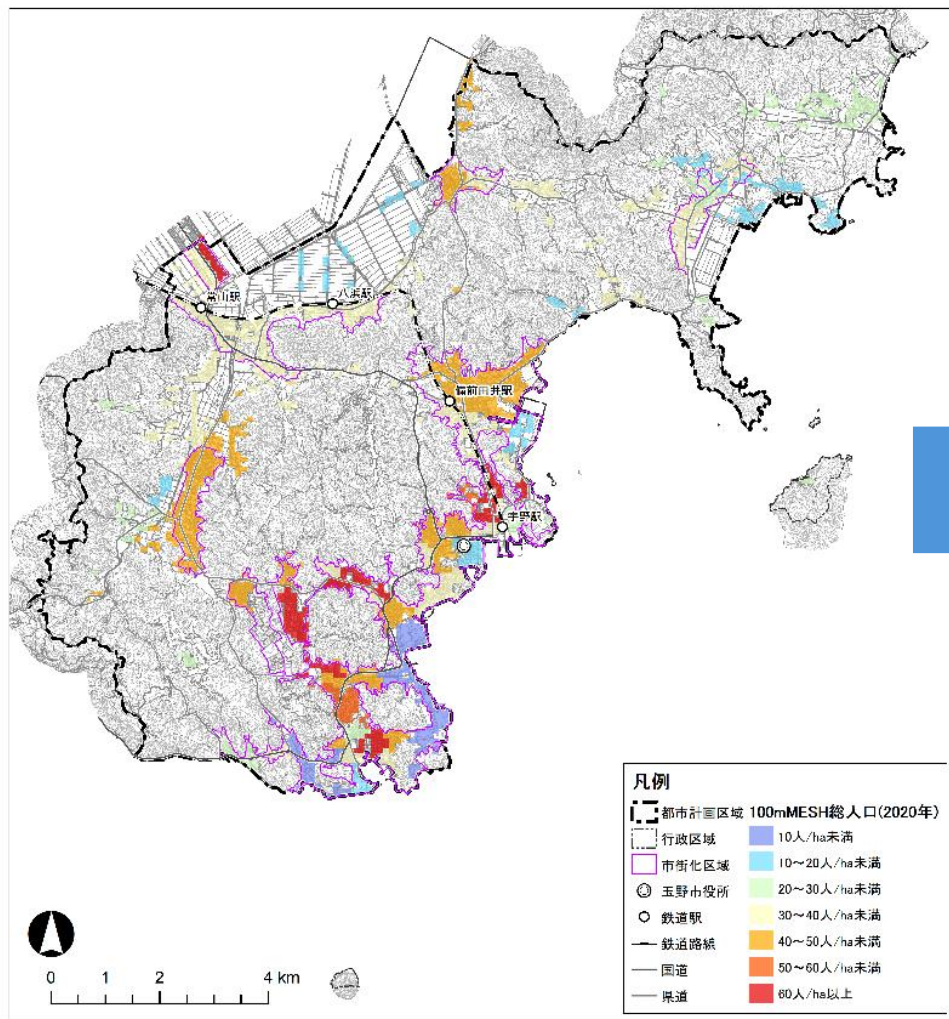


図 区域別人口の予測100mメッシュ別人口
令和2（2020）年

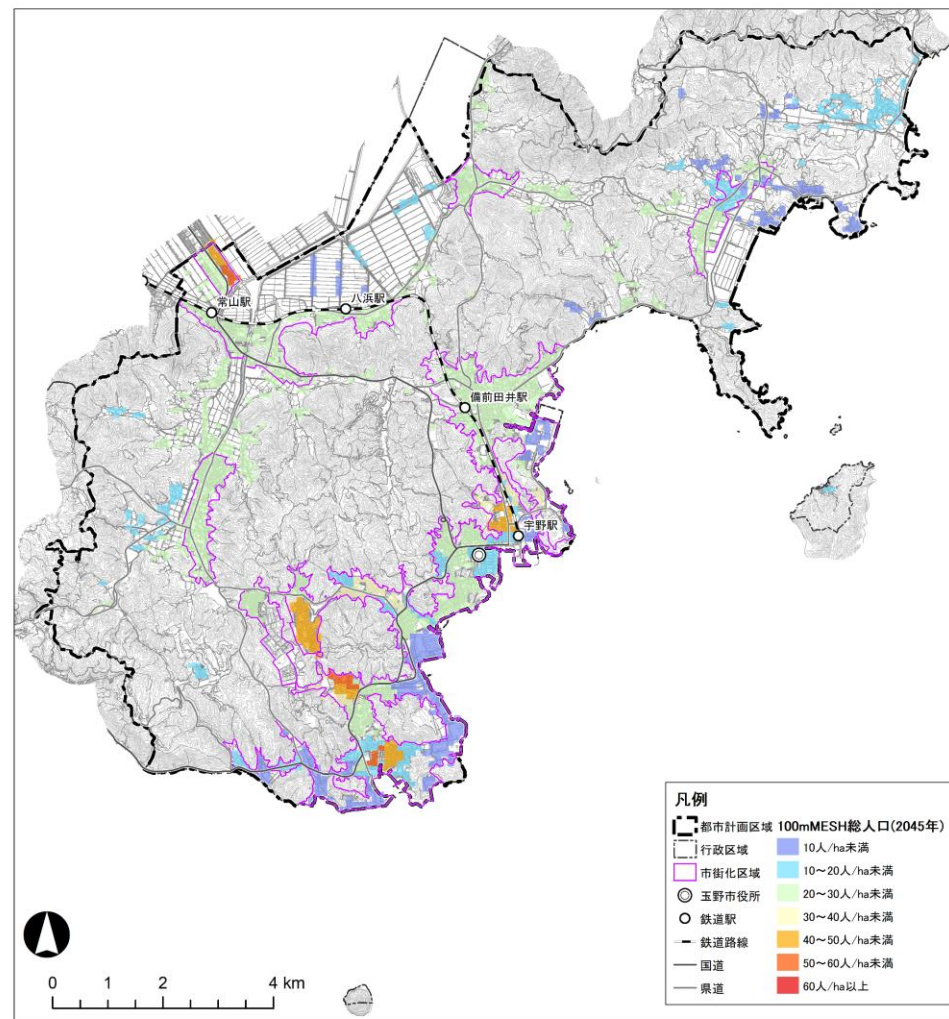


図 区域別人口の予測100mメッシュ別人口
令和27（2045）年

出典：国土技術政策総合研究所将来人口・世帯予測ツール（R2国調対応版）

(1) 人口密度維持の考え方

R27年における居住誘導区域で現在（R2年時点）の市街化区域内人口密度（約31人/ha：工業地域・工業専用地域を除く）を維持するためには、最低でも居住誘導区域面積を911ha以下に設定する必要がある。

居住誘導区域面積／市街化区域面積（工業地域・工専地域を除外：1,463ha）＝62％
 （62％：R2～R27の市街化区域（工業系除外）の人口減少率（38％）より仮定）

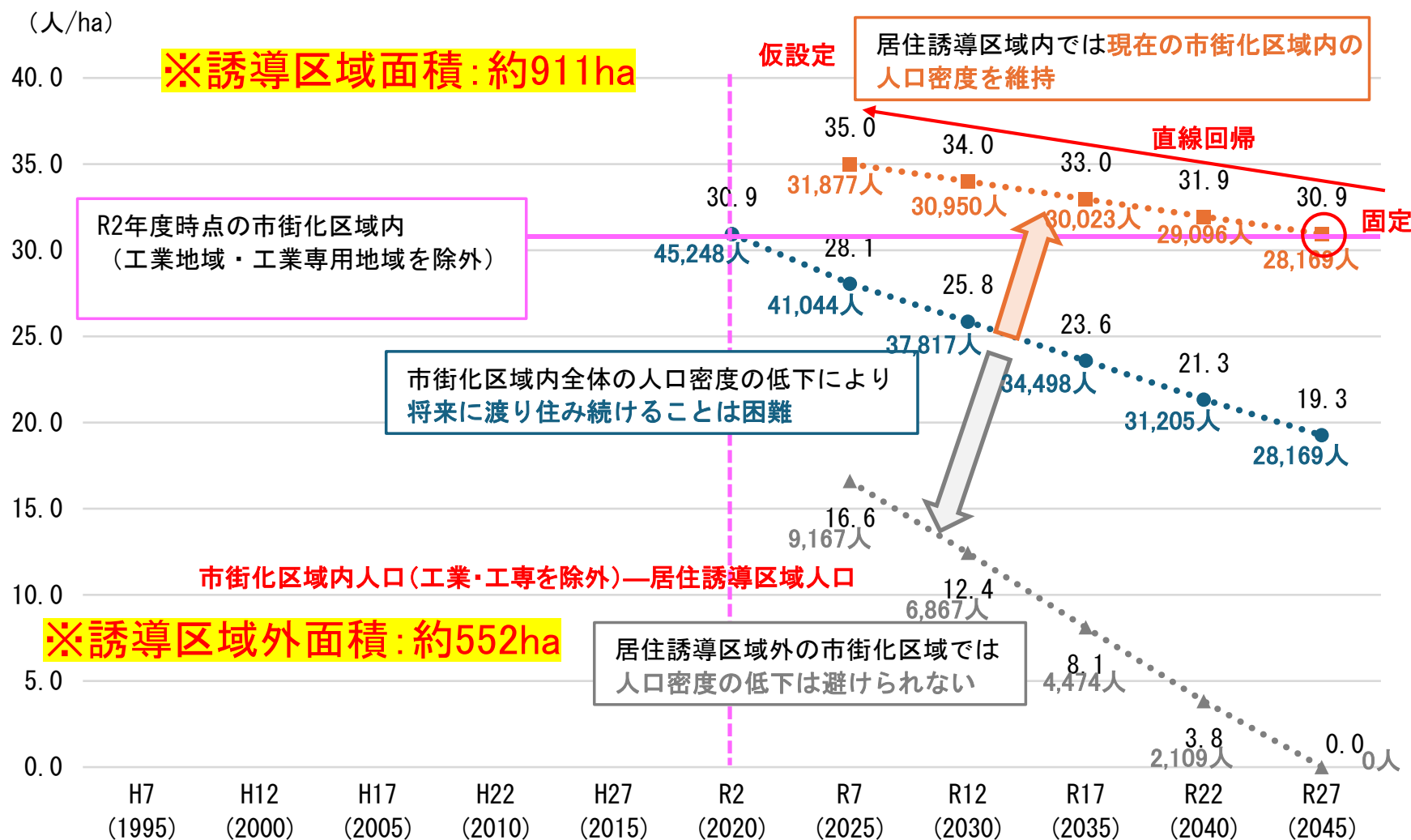


図 居住誘導区域(仮設定)内外の人口シミュレーション①

(1) 人口密度維持の考え方

参考)市街化区域面積(工業地域・工業専用地域を除く)の30%(約439ha)を居住誘導区域に設定する場合
(居住誘導区域外にも一定の人口が残ることを想定)

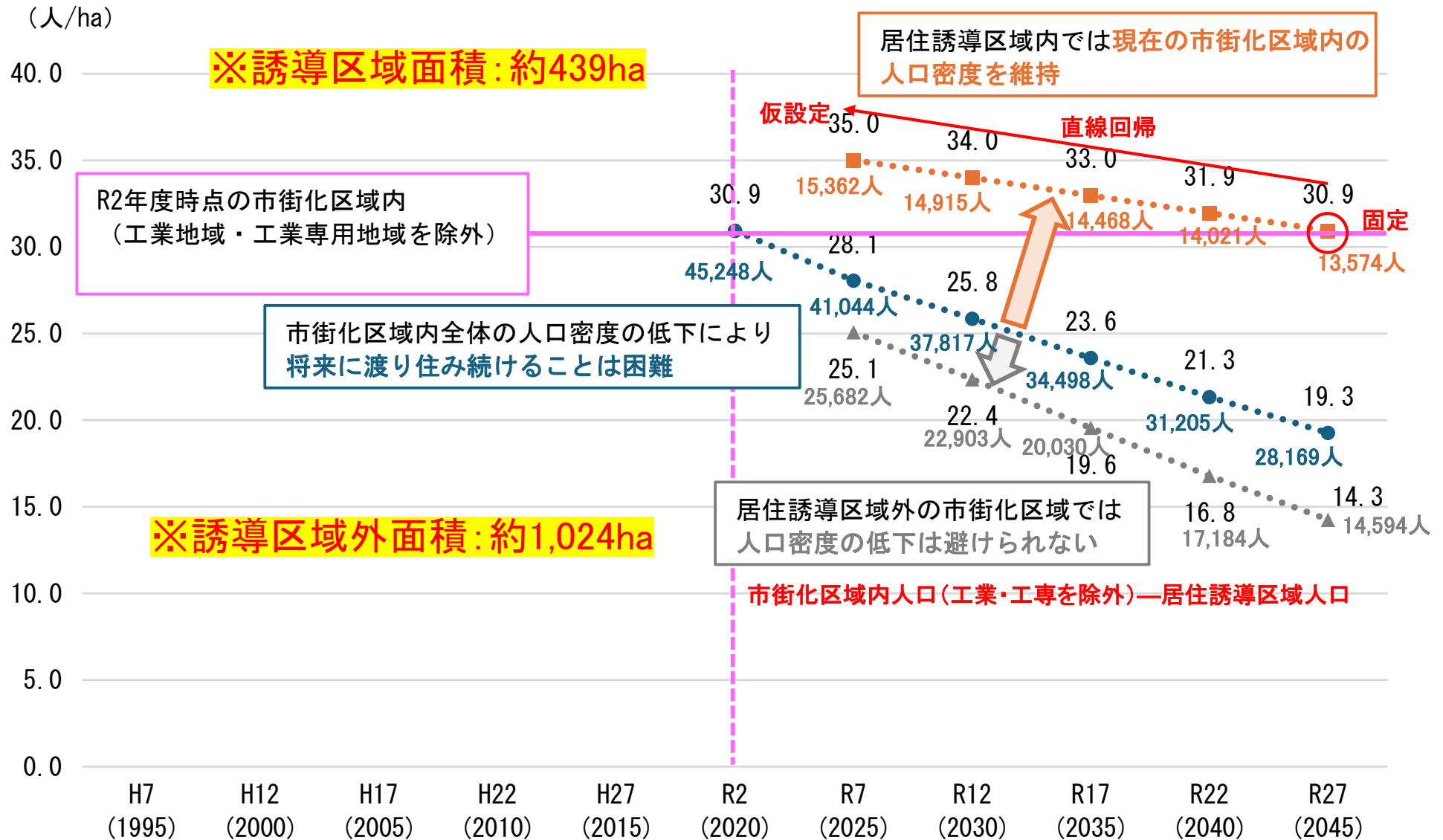
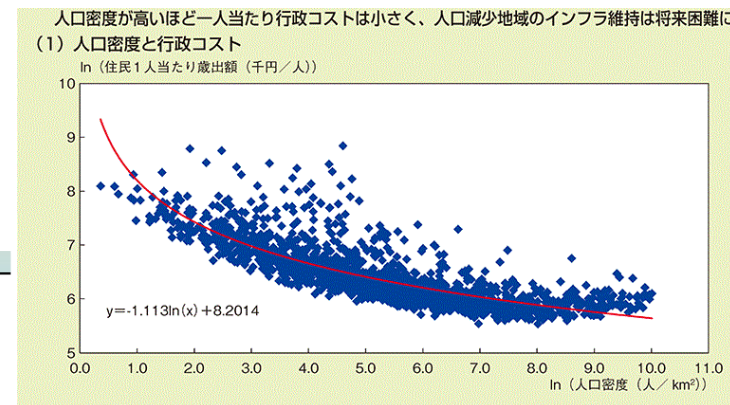
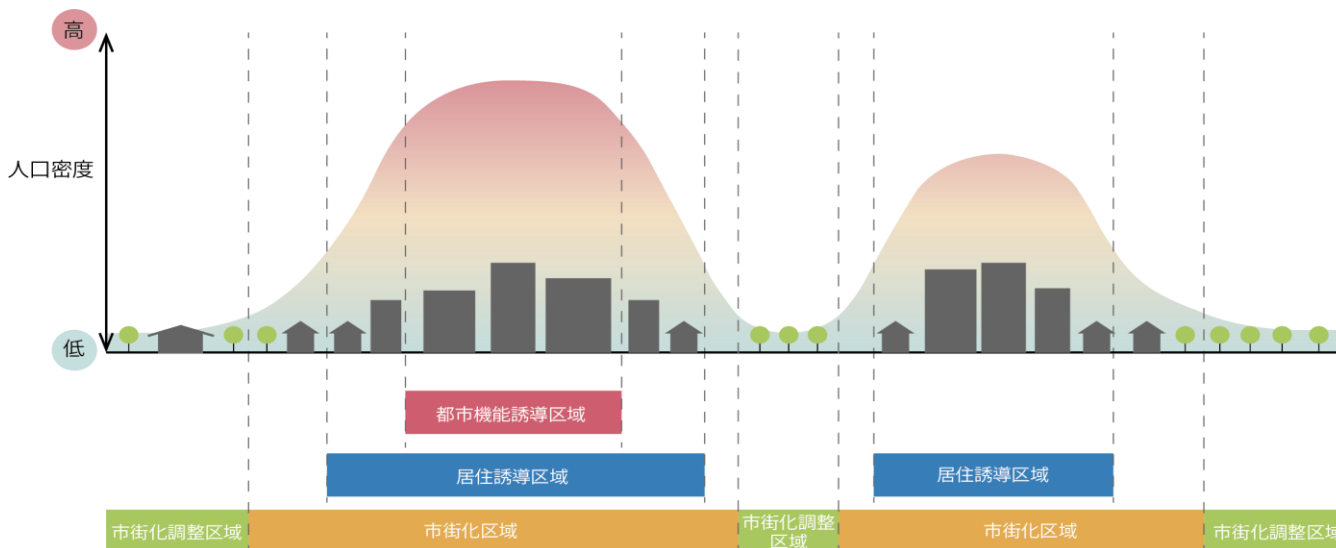


図 居住誘導区域(仮設定)内外の人口シミュレーション②

(1) 人口密度維持の考え方



(参考) 人口密度と行政コスト

出典: 内閣府HP

図 市街地の人口密度のイメージ

区 域	地域イメージ	人口密度の考え方
都市機能誘導区域	公共交通の利便性が高く、市民や市外からのアクセスが容易な箇所、医療・福祉・商業等の都市機能の集積を図り、市民生活や都市活動の拠点となる市街地。	都市機能と住宅の双方が立地あるいは近接する利便性の高い市街地で、市街化区域内で相対的に高い人口密度を維持・誘導する市街地
居住誘導区域	徒歩や利便性の高い公共交通により、便利な日常生活を過ごすことができる地域。自動車を利用しなくても日常生活サービスを楽しむことができ、子育て世代や高齢者にとって便利で快適な市街地。	
居住誘導区域外 (市街化区域内)	マイカーが自由に使える若い世代や元気な高齢者、農のある暮らし志向者など、多様なライフスタイルに応じて快適に暮らすことが出来る市街地。	工場や農地等と共存しながら、低層住宅等を中心とする市街地で、市街化区域内では相対的に人口密度が低い
市街化調整区域	自然環境や営農環境の保全を基本とし、無秩序な市街化を抑制する地域。 ※集落環境の維持、生活交通等の確保等により、住み続けることができる地域形成を目指す。	無秩序な宅地化を抑制し、自然環境や営農環境との調和を図る場であり、人口密度は低い

(2) 都市機能の誘導の考え方

本市には、現在店舗面積が千㎡を超える大規模小売店舗が16店舗、病院・診療所が合計43施設（歯科診療を除く）あり、人口当たり施設数としては平均的な水準である。ただし、大規模小売店舗は人口が5,000人減少するごとに1店舗、病院・診療所は1,000人減少するごとに1施設減少すると見込まれる。

今後20年（25年）で人口が1.7万（2.1万）減少（P31参）した場合、大型小売店が3～4施設の減少（現16施設）、病院・診療所が17（21）施設の減少（現55施設）が見込まれる

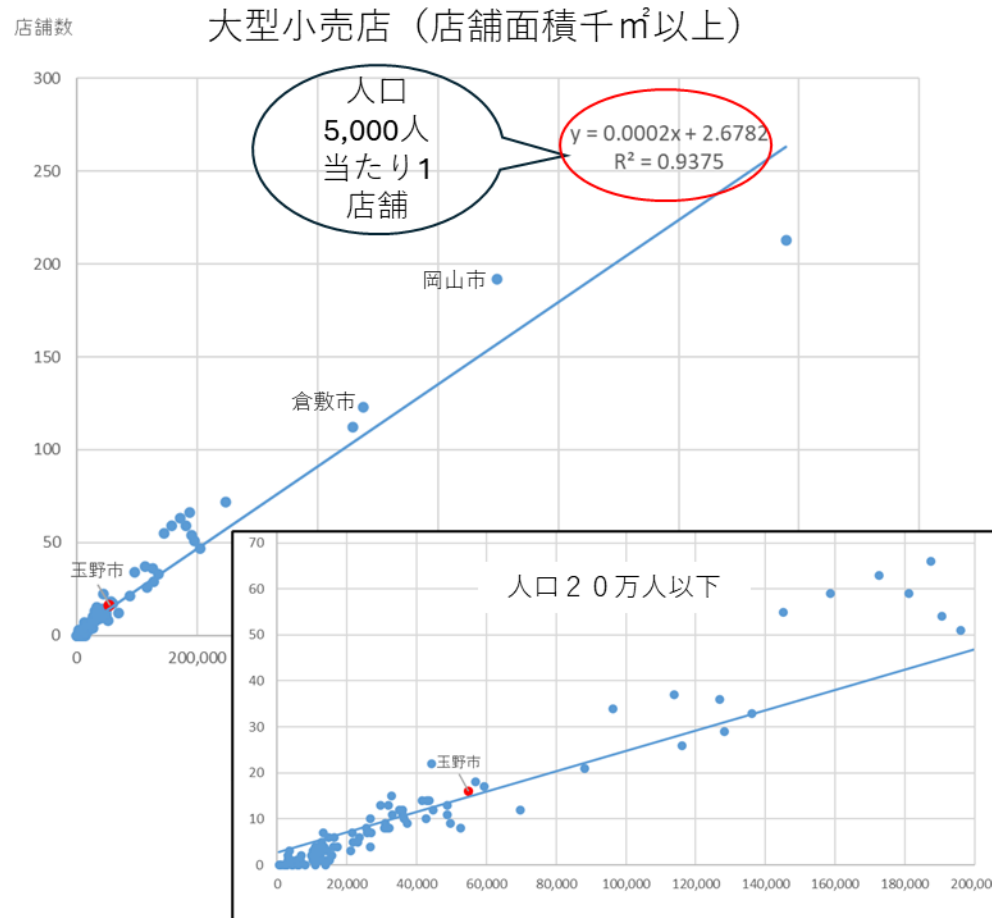


図 中国地方の都市における人口と大型小売店舗数の関係

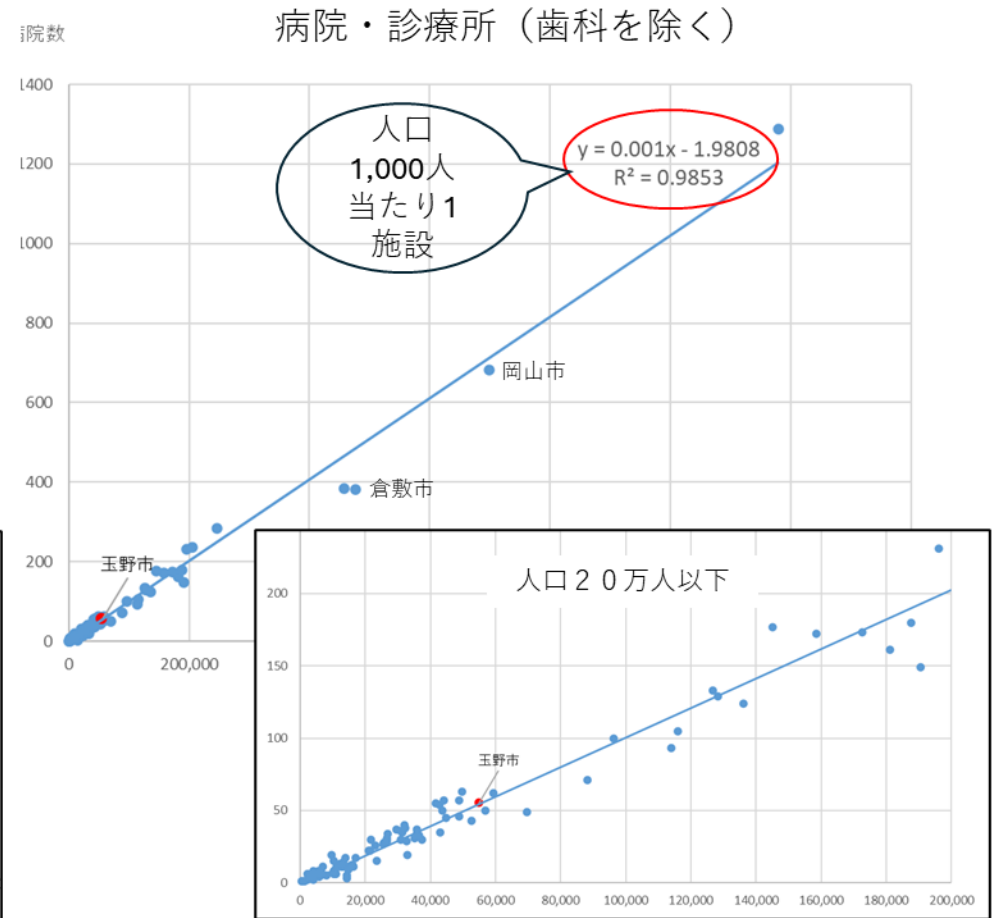


図 中国地方の都市における人口と病院・診療所数の関係

(2) 都市機能の誘導の考え方

誘導施設の設定の考え方

① 全市民を対象とする都市機能を誘導施設に位置付け、都市拠点に集約する。

※都市拠点内の宇野駅前から概ね市内全域バス30分圏域（右図参照）であり、宇野駅周辺に都市機能を集約することで、市民の利便性向上及び都心の賑わい創出を図る。

②全市民を対象としていない都市機能は、小規模な施設が多く、地域ごとに立地状況が異なる。このような施設は、都市機能誘導区域に限らず、各居住地に近接した日常生活圏に分散して立地することで身近で利用しやすい環境が形成されることから、誘導施設に位置付けない。

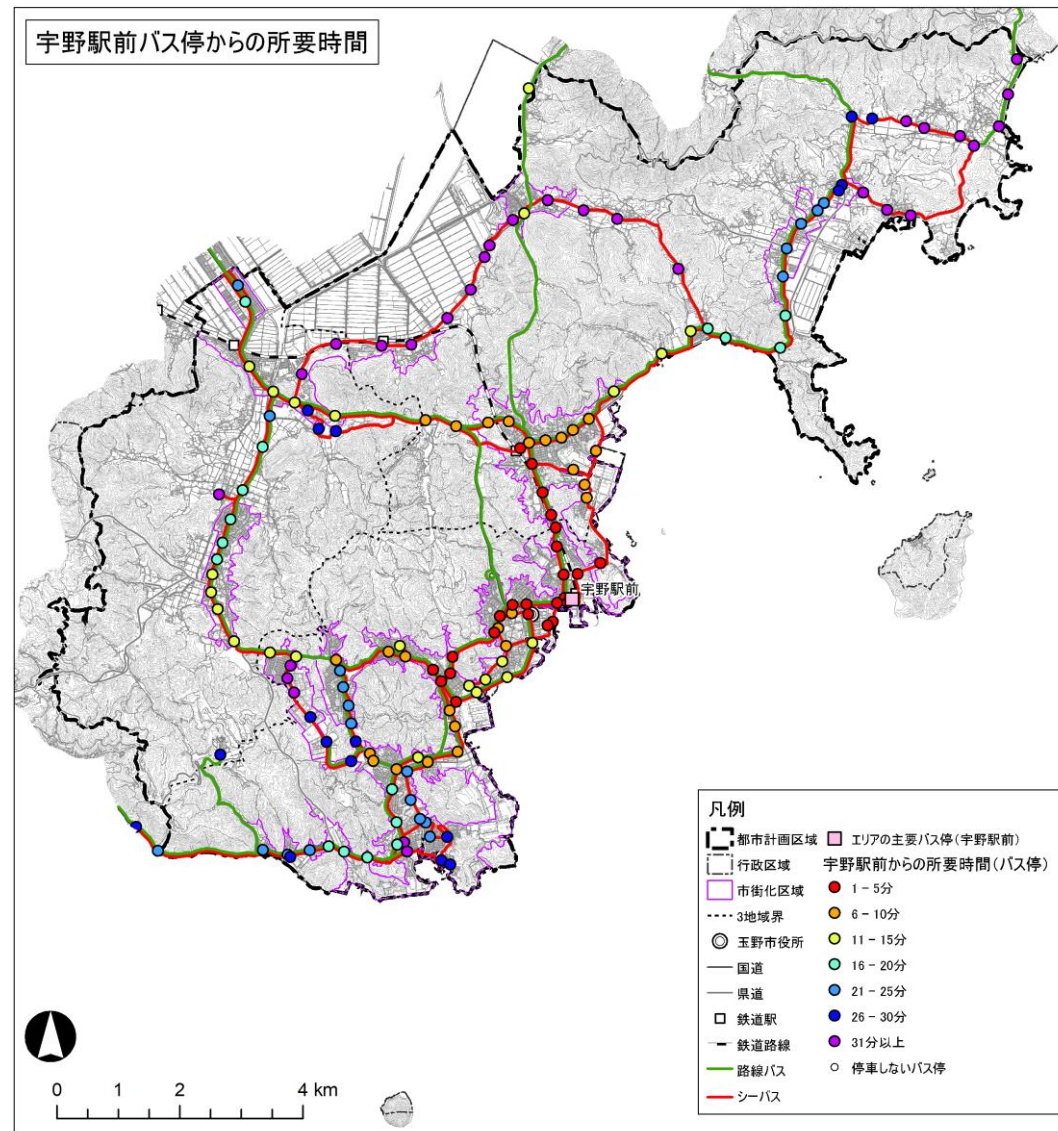


図 宇野駅前バス停からの所要時間

(2) 都市機能の誘導の考え方

参考) 誘導施設の設定の考え方①

全市民を対象する都市機能(主要な施設等)は、都市拠点に集約し、市民の利便性向上及び都心のにぎわい創出を図る。

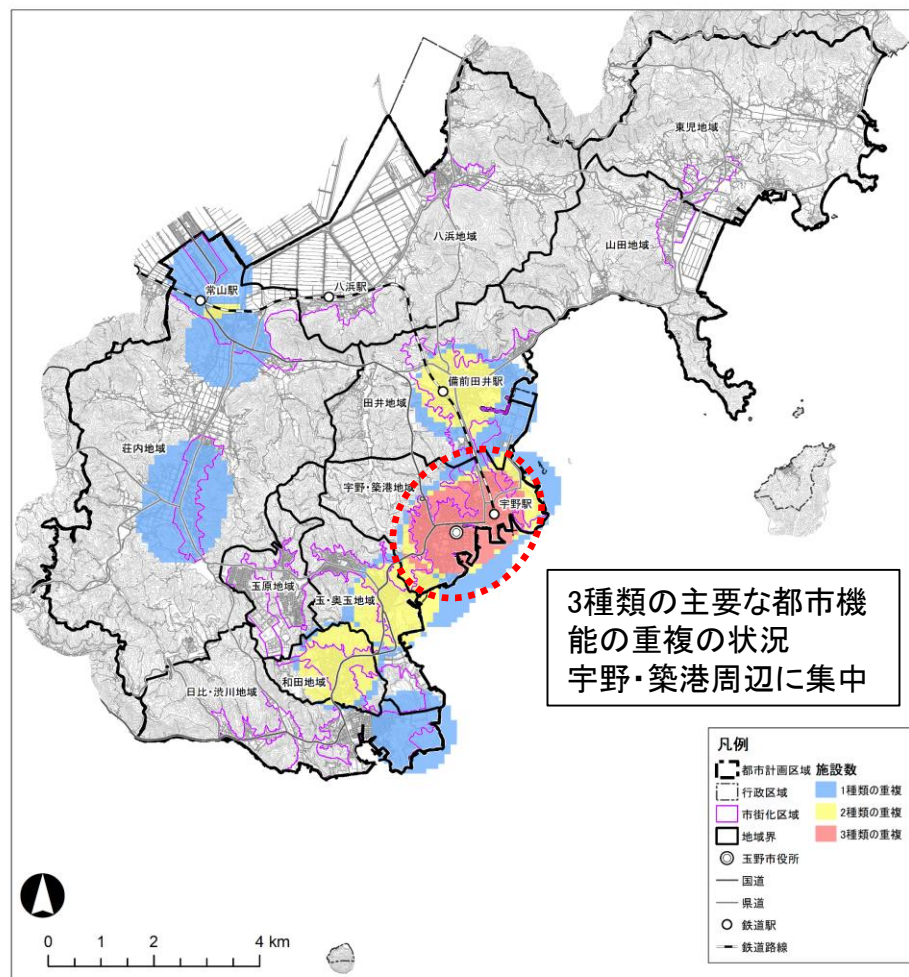


図 都市機能の立地状況(商業、医療、金融の3機能のうち**主要な施設のみ**)
(大型店舗・スーパー、病院、銀行・信用金庫)

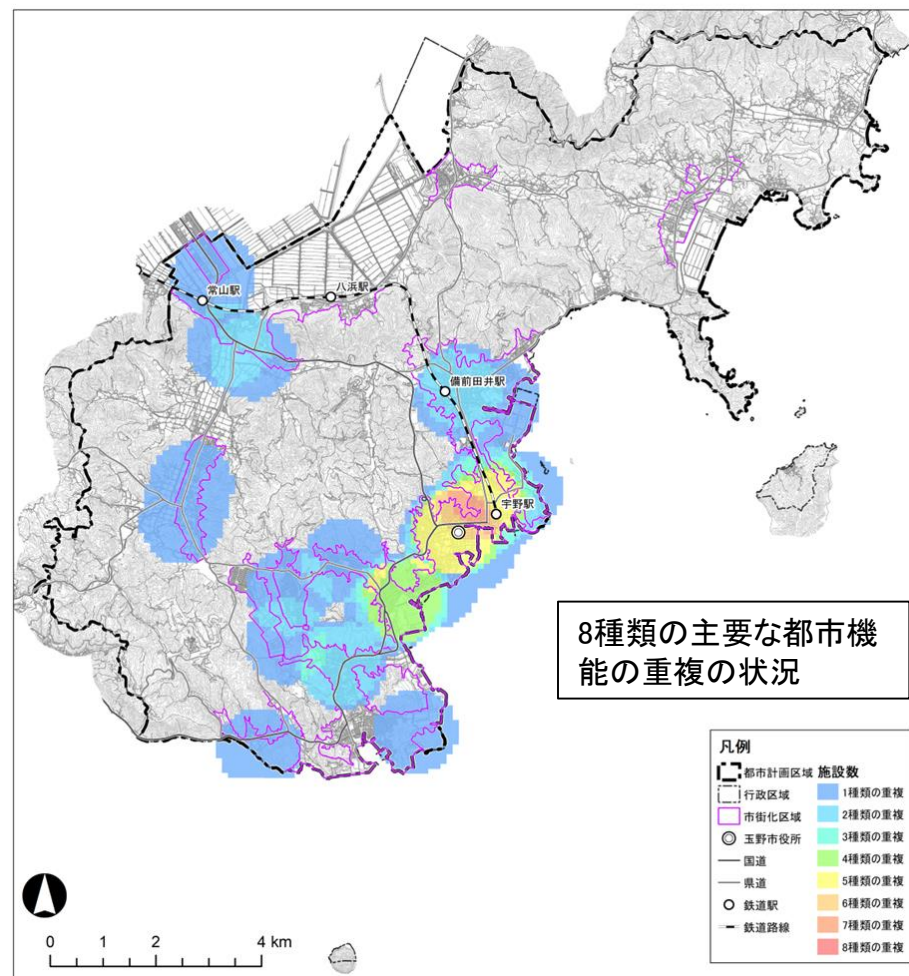


図 都市機能の立地状況(全8機能のうち**主要な施設のみ**)
(大型店舗・スーパー、病院、銀行・信用金庫、専修学校、総合保健福祉センター、地域子育て支援センター、市役所、図書館・体育施設)

(2) 都市機能の誘導の考え方

参考) 岡山県南都市計画区域内他市町の誘導施設

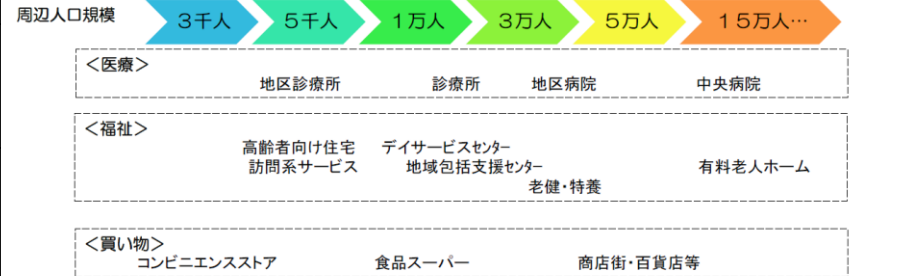
		岡山市			倉敷市	総社市	赤磐市	早島町
	誘導施設	都心	都市圏点	地域圏点	高次都市機能	交流や暮らしやすさを創出する機能		計画なし
医療機能	特定機能病院	●						
	高次医療施設				●			
	地域医療支援病院	●	●					
	一般病院	●	●	●		●		
福祉機能	ふれあいセンター	●	●					
	総合保健福祉センター				●			
	保健福祉センター					●		
	障がい者支援センター					●		
	老人福祉センター					●		
	子育て支援センター				●	●	●	
	乳幼児一時預かりサービス施設					●		
	児童館					●		
	サービス付き高齢者向け住宅						●	
商業機能	大規模商業施設（店舗面積10,000㎡以上）	●	●		●	●		
	商業施設（一定規模の食品スーパー等）	●	●	●		●	●	
	オフィスビル	●						
	娯楽施設（映画館、劇場等）					●		
金融	銀行・信用金庫等					●		
教育機能	大学・大学院・短期大学	●	●	●	●			
	専修学校	●	●	●	●			
文化機能	ホール	●						
	美術館・博物館・博物館類似施設	●			●			
	図書館	●	●	●	●	○		
	全市的な市民交流施設				●	○	●	
	全市的な文化施設				●	○		
	健康増進施設・屋内スポーツ施設					●	●	
	コンベンション施設	●			●			
行政機能	市役所	●						
	区役所、支所、地域センター	●	●	●				
交通	交通ターミナル						●	
その他	複合施設（市街地再開発事業で整備された複合施設）				●			

○：地域の施設

※総社市、赤磐市は都市機能誘導区域が1か所（都市拠点を設定）

参考) 都市施設と周辺人口規模

○ 商業・医療・福祉等の機能が立地し、持続的に維持されるためには、機能の種類に応じて、以下のような圏域人口が求められる。



※人口規模と機能の対応は概ねの規模のイメージであり、具体的には条件等により差異が生じると考えられる。
出典：都市再構築戦略検討委員会専門家プレゼンテーションより国土交通省作成

商業施設の商圏と施設規模

商品の性質や業態の組み合わせ等で、商圏や立地戦略は様々

- *コンビニエンスストア
大都市住宅地⇒商圏：半径500メートル、周辺人口：3,000人、流動客
その他の地域⇒商圏：半径2～3キロメートル（幹線道路沿いに立地）、周辺人口：3,000人～4,000人、流動客
- *食品スーパー（2,000～3,000㎡規模）⇒周辺人口1～3万人
- *ドラッグストア（1,000～1,500㎡規模）⇒周辺人口1～3万人

国土交通省 都市局 第2回都市再構築戦略検討委員会
有限会社 リティルワーク 代表 服部年明 氏 プレゼン資料より抜粋

10

(3) 公共交通の充実の考え方

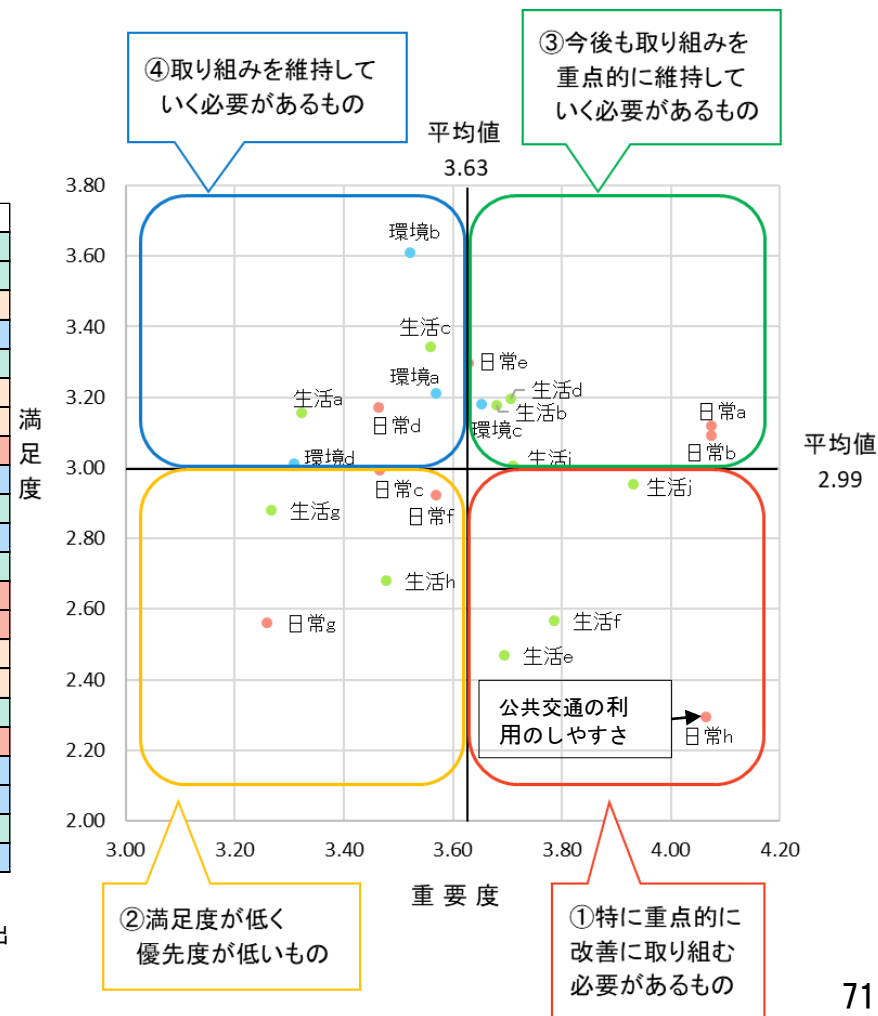
- ・市民の日常生活の移動手段に占める公共交通の割合は4.6%（平日）であり、81.9%（平日）が乗用車に依存している。（パーソントリップ調査より）
 - ・本市の公共交通を取り巻く環境は厳しく、将来にわたって乗用車が重要な移動手段であり続けることが見込まれるが、高齢化の進行に伴い、公共交通の重要性が高まるものと考えられる。
 - ・アンケート調査では、**買物への行きやすさ、病院への行きやすさと並んで、公共交通の利用のしやすさが最も重要**となっている。
- ※公共交通の利用のしやすさは、満足度が最も低い

アンケート問10 現状の満足度と今後の重要度

日常（h）公共交通の利用のしやすさは、満足度が最も低いが、重要度が最も高く、今後の都市づくりにおいて重要な事項である。

区分	設問	満足度	重要度	分類
日常生活の利便性	日常a (a) 買い物への行きやすさ	3.12	4.07	③
	日常b (b) 病院への行きやすさ	3.09	4.07	③
	日常c (c) 高齢者福祉施設への行きやすさ	2.99	3.47	②
	日常d (d) 市役所窓口への行きやすさ	3.17	3.46	④
	日常e (e) 職場や学校への行きやすさ	3.30	3.63	③
	日常f (f) 子育てに関する施設の便利さ	2.92	3.57	②
	日常g (g) 娯楽・レクリエーション施設の充実状況	2.56	3.26	②
	日常h (h) 公共交通の利用のしやすさ	2.29	4.07	①
生活基盤・産業基盤	生活a (a) 公園や広場、緑地の充足状況	3.15	3.32	④
	生活b (b) 宅地周辺の雨水等の排水状況	3.18	3.68	③
	生活c (c) 騒音・振動・悪臭などの公害対策の状況	3.34	3.56	④
	生活d (d) ごみ処理に伴う環境問題対策の状況（不法投棄、海洋ごみ、公害など）	3.20	3.71	③
	生活e (e) 商業地の充実度	2.47	3.69	①
	生活f (f) 働く場の充実度	2.57	3.79	①
	生活g (g) 優良農地の保全や農業基盤整備の充実度	2.88	3.27	②
	生活h (h) 既存の観光施設・名所の内容等の充実度	2.68	3.48	②
	生活i (i) 国道や県道の幹線道路の快適性	3.01	3.71	③
	生活j (j) 身近な生活道路の安全性	2.95	3.93	①
環境・景観	環境a (a) まちなみの美しさ	3.21	3.57	④
	環境b (b) 田園や山並みなどの自然風景の美しさ	3.61	3.52	④
	環境c (c) 河川や海岸などの水辺環境	3.18	3.65	③
	環境d (d) 史跡や祭りなどの地域文化の保全や伝承	3.01	3.31	④
全体平均		2.99	3.63	

満足度・重要度の数値は回答を5点満点に換算して算出



(3) 公共交通の充実の考え方

- ・宇野・築港－荘内間は、自動車交通量が多いが、バスによる連携が弱い。

■拠点間のバスの運行状況

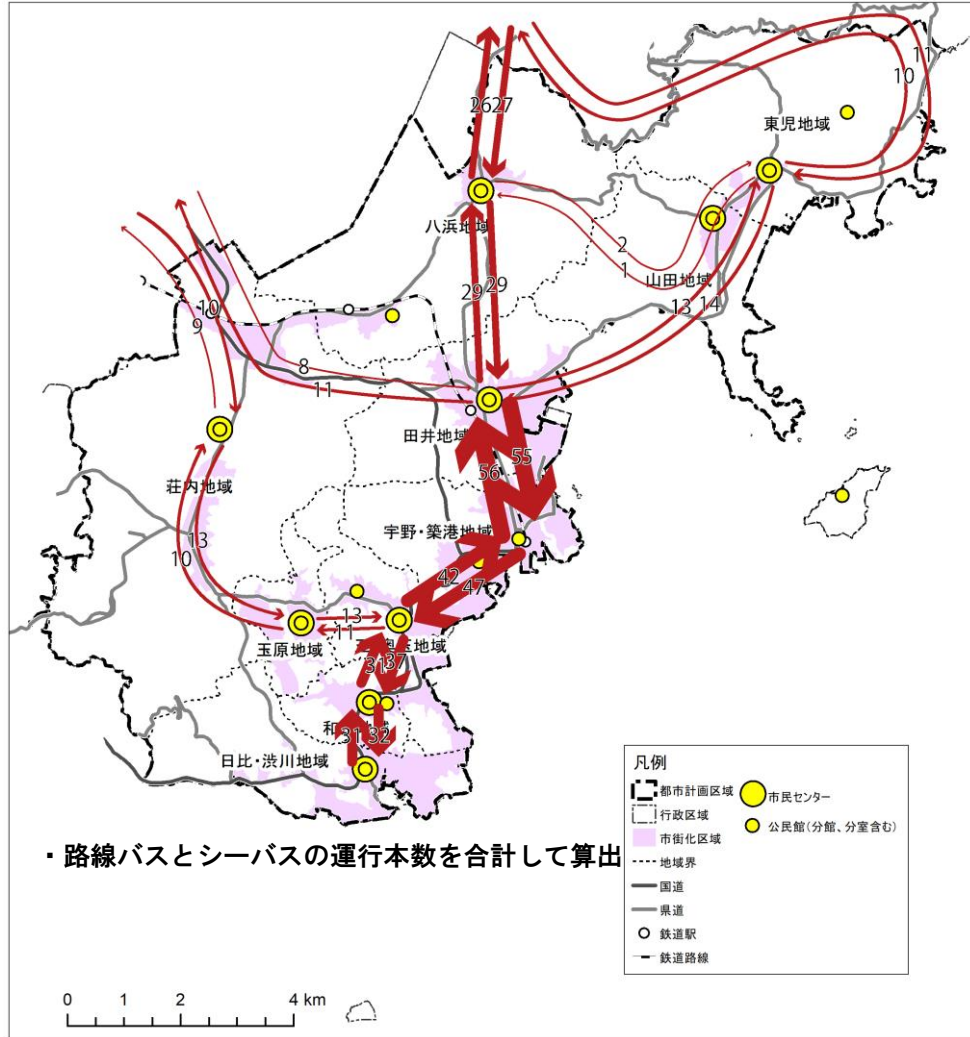


図 路線バス及びシーバスの合計運行本数

■主要道路の交通量



図 24時間自動車交通量(全車・上下計)

出典: 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査結果WEBマップ (可視化ツール)

(3) 公共交通の充実の考え方

■ 拠点間のバスの運行状況

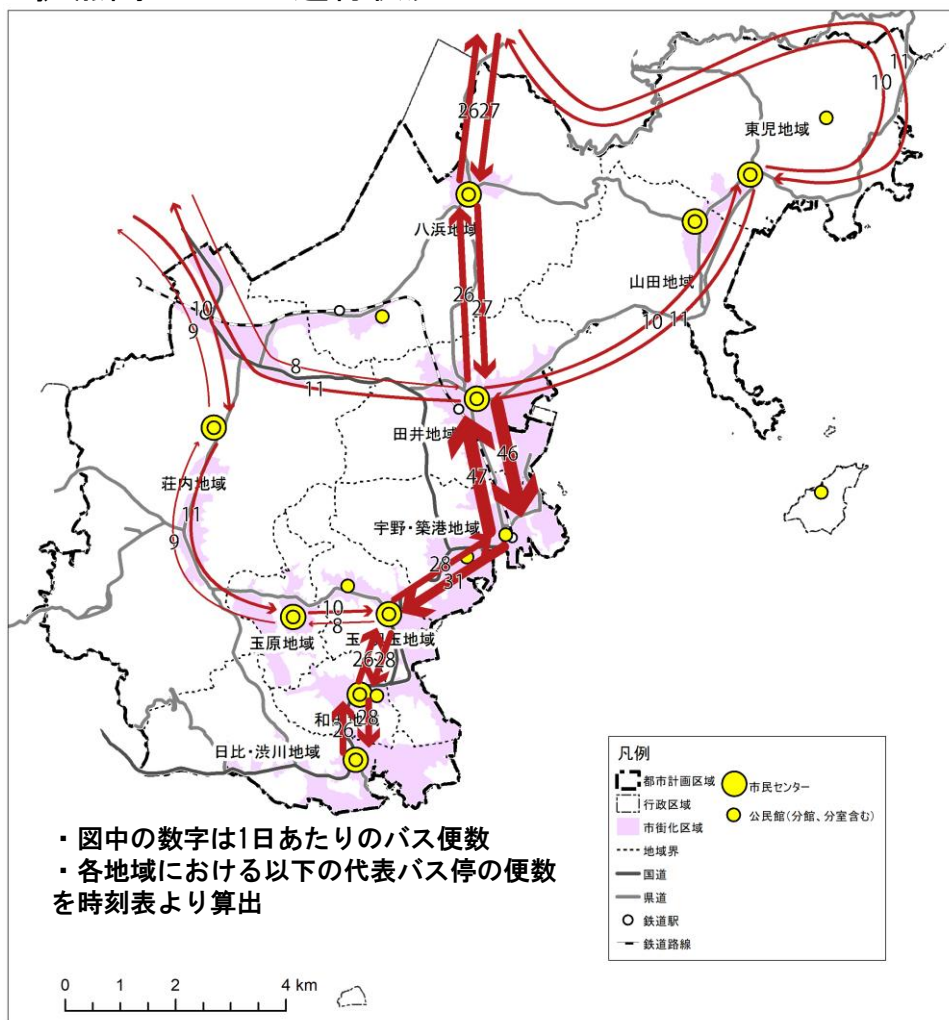


図 路線バスの運行本数

【路線バスの代表バス停】

田井地域: 田井 宇野・築港地域: 宇野駅 玉・奥玉地域: 玉比咩神社前
玉原地域: 玉原 和田地域: 和田社宅前 日比・渋川地域: 日比
荘内地域: 荘内支所前 八浜地域: 八浜市民センター 東児・山田地域: 梶岡
岡山市都心: 岡山駅 岡山市岡南: 築港新町

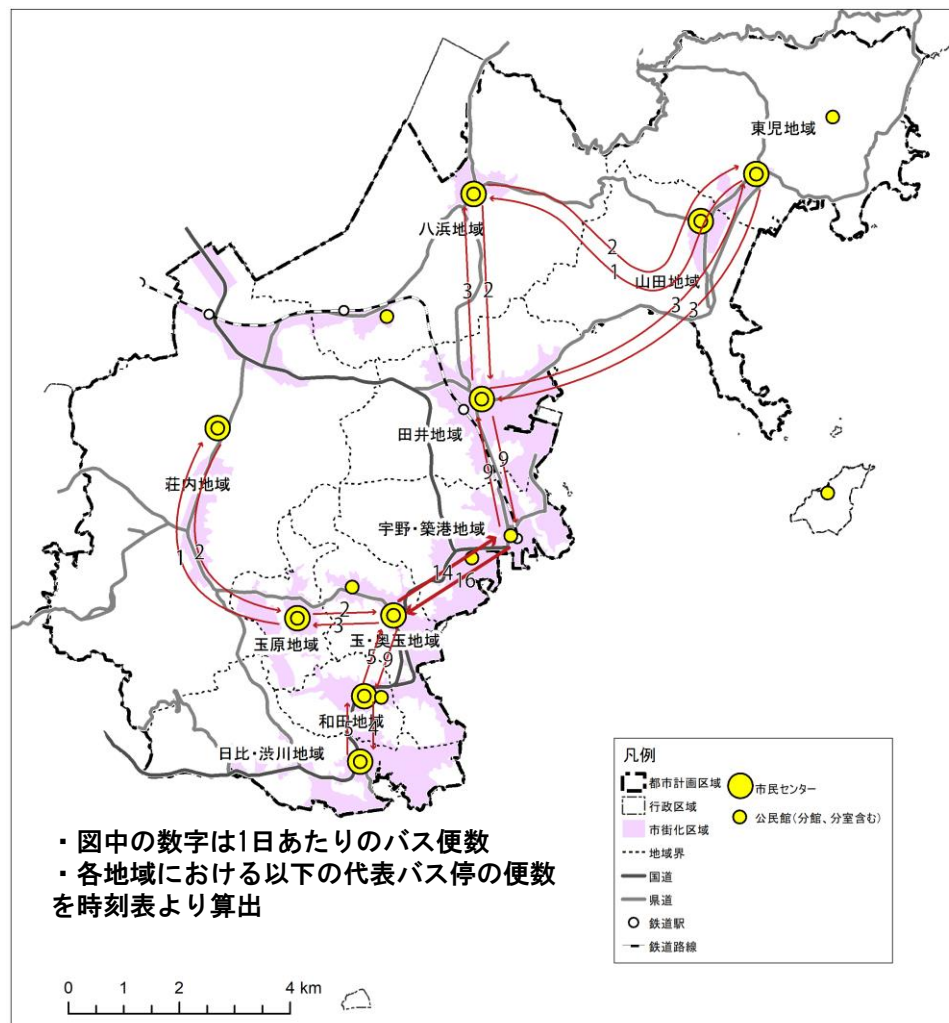


図 シーバスの運行本数(大型シーバス線を除く)

【シーバスの代表バス停】

田井地域: 田井 宇野・築港地域: 宇野駅前 玉・奥玉地域: 玉比咩神社前
玉原地域: 玉原 和田地域: 和田社宅前 日比・渋川地域: 日比市民センター
荘内地域: 荘内支所前 八浜地域: 八浜市民センター
東児・山田地域: 東児市民センター

(3) 公共交通の充実の考え方

将来都市構造を念頭に置いた利便性の高い公共交通の充実の考え方

①拠点間連携ネットワークの利便性向上と利用促進

- ・都市拠点とコミュニティ拠点のネットワーク強化に資する公共交通の利便性の維持・向上。
- ※持続可能な公共交通とするため、利用促進を合わせて行う必要がある。

②各地域の状況に応じた生活交通の確保

- ・シータクの維持など。



【生活交通】

- ・市民の移動手段を確保するため、民間交通事業者と協力しながら、都市拠点とコミュニティ拠点のネットワーク強化に資する公共交通の利便性の向上を図る。
- ・高齢者等の交通弱者が外出の際の移動手段を確保できるよう、地域に応じた運行を図るとともに、交通機関同士の結節にも配慮し、公共交通全体の充実を目指す。
- ・移動ニーズや地域特性を踏まえ、交通不便の解消を図る。
- ・新たな技術を活用し、既存の交通サービスの向上や、新しい交通サービスの導入により、移動の利便性を高める。

【広域交通】

- ・県南広域都市圏で高次都市拠点と位置付けられている岡山市中心部と本市を結ぶ広域幹線は、本市の都市拠点とコミュニティ拠点を結ぶ役割も持つ重要路線でもあるため、駅、バス停の周辺への居住の誘導や交流人口拡大等により維持・向上を図る。